

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
18	1	敲石	下位	完形	13.7	4.9	2.7	255.9	変安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		253
19	1	石錐	覆土	完形	3.6	1.5	0.7	2.8	黒曜	両面に調整加え細い刃部作出。調整は刃部に集中。	426	253
19	2	石核	覆土	完形	7.7	11.3	4.1	323.4	硬泥	剥片の両面で少数の剥片剥離。		253
19	3	石核	覆土	完形	4.3	5.8	2.4	45.9	硬泥	剥片の腹面側で少数の剥片剥離。		253
19	4	石棒	覆土	破片	13.9	10.5	9.0	1266.7	デイ	頭部破片。器表面かなり風化。	426	253
19	5	砥石	覆土	3/4	14.6	9.0	3.0	447.4	砂岩	盤状の垂角礫。表裏に研磨・敲打痕。下部欠損。	426	253
23	1	石核	中位	完形	12.6	8.3	5.1	544.5	硬泥	石核の主に表面で少数の剥片剥離。		253
23	2	石核	下位	完形	14.5	11.1	4.2	746.7	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		253
28	1	打斧	覆土	完形	11.9	5.8	3.8	242.1	硬泥	II b類。		253
28	2	敲石	覆土	2/3	10.0	4.4	3.4	214.4	変安	棒状の円礫。両面・両側・上端に敲打。下部欠損。		253
28	3	敲石	覆土	ほぼ完	10.8	7.9	4.9	516.8	粗安	盤状の円礫。両面・両端・両側に敲打痕。		253
31	1	磨石	床直	完形	13.7	6.6	5.4	656.5	砂岩	両側面取り。表裏に研磨、両端に敲打痕。	427	253
40	1	打斧	覆土	完形	10.3	4.8	2.6	127.4	砂岩	両側に一部敲打痕。II b類。		253
40	2	磨石	下位	1/2	9.7	7.4	6.4	649.7	粗安	棒状の円礫。表裏に研磨・敲打痕。下部欠損。		253
44	1	打斧	覆土	完形	9.8	5.0	1.4	77.4	細安	刃部磨耗。II b類。		253
44	2	打斧	覆土	1/3	7.5	5.1	1.6	57.3	細安	刃部破片。形状不明。		253
44	3	石核	覆土	完形	7.8	10.3	2.4	218.7	粗安	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		253
45	1	打斧	覆土	完形	9.8	4.7	2.1	79.8	珪頁	調整粗く未製品の可能性あり。III類。		254
45	2	打斧	覆土	完形	7.7	5.3	1.6	59.0	硬泥	刃部破損後に再調整。II b類。		254
45	3	凹石	下位	完形	13.7	7.1	6.1	724.1	デイ	両側面取り。表面に凹み・研磨、裏面研磨。	427	254
45	4	砥石	床直	破片	22.1	22.4	3.1	1697.0	砂岩	盤状の垂角礫。表面に使用面。	427	254
49	1	石核	覆土	完形	11.1	11.6	8.1	1043.1	硬泥	礫の分割面打面とし、周辺で剥片剥離。		254
49	2	凹石	下位	完形	10.7	9.5	4.5	568.4	粗安	左側面取り。表裏凹み・研磨、両端・右側に敲打。		254
51	1	打斧	覆土	破片	5.5	4.7	2.5	38.3	硬泥	基部破片。形状不明。		254
54	1	石鏃	覆土	完形	2.1	1.6	0.5	1.1	黒曜	平基無茎鏃。	427	254
56	1	敲石	下位	完形	12.0	7.1	4.0	515.2	粗安	盤状の円礫。表面・両端・両側に敲打痕。		254
56	2	敲石	中位	完形	13.2	6.3	3.7	407.4	デイ	盤状の円礫。両端に敲打痕。		254
64	1	打斧	覆土	完形	11.3	4.7	2.0	124.3	粗安	刃部磨耗。III類。		254
64	2	打斧	覆土	2/3	9.0	4.4	1.6	78.6	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。III類。		254
64	3	打斧	覆土	1/2	7.9	4.9	1.7	71.6	細安	基部欠損。III類。		254
64	4	打斧	覆土	一部欠	6.9	3.8	1.0	30.7	細安	細身の撥形。両端一部欠損。		254
80	1	台石	床直	破片	23.6	15.7	6.0	182.9	粗安	表面に弱い使用面。裏面欠損。		254
82	1	石核	下位	完形	9.4	8.2	4.0	358.5	硬泥	薄い盤状礫の主に片面で少数の剥片剥離。		254
82	2	石核	下位	1/2	7.7	5.8	3.1	156.9	粗安	薄い盤状礫の一端片面で少数の剥片剥離。		254
82	3	石核	覆土	完形	10.5	6.8	4.7	394.4	硬泥	剥片の腹面打面とし周辺で剥片剥離。		254
82	4	磨石	下位	一部欠	12.3	8.8	5.7	680.1	粗安	両側面取り、表裏に研磨面。裏面一部欠損。	427	254
82	5	台石	下位	破片	20.6	18.6	6.5	3750.0	砂岩	盤状の垂角礫。表面に敲打痕。		254
85	1	台石	下位	完形	23.5	13.7	6.2	4360.0	デイ	盤状の円礫。表裏に敲打痕。		255
85	2	多孔	床直	1/2	20.0	13.3	10.6	4140.0	デイ	盤状の円礫。表裏に凹み。下半欠損。		255
86	1	石錐	覆土	完形	2.8	2.1	0.5	2.4	黒曜	横長剥片の側に調整加え刃部形成。	427	255
92	1	石核	床直	完形	10.2	8.0	5.3	438.8	硬泥	賽子状。打面・作業面90° 転移しながら剥片剥離。		255
100	1	石核	覆土	完形	9.8	10.7	3.9	457.6	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		255
100	2	磨石	覆土	完形	16.4	7.1	4.9	821.8	ひん	表面研磨・敲打、裏面・両端・右側敲打。		255
100	3	石皿	覆土	1/2	28.6	15.2	4.3	1828.0	緑片	内面平滑。裏面平坦に整形、小さな凹みあり。	427	255
103	1	石核	覆土	完形	7.5	6.1	3.1	140.5	硬泥	剥片の腹面先端で小型の剥片剥離。		255
109	1	SS	覆土	完形	11.7	8.0	1.4	172.6	硬泥	剥片のほぼ全周に調整。		255
109	2	打斧	覆土	完形	11.6	4.7	1.5	89.1	細安	II b類。		255
110	1	打斧	覆土	完形	10.7	4.2	1.7	78.5	硬泥	刃部磨耗。III類。		255
111	1	石核	下位	完形	8.3	9.0	3.1	261.5	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。		255
113	1	凹石	下位	完形	20.2	10.9	7.3	1794.9	粗安	盤状の円礫。表面1、裏面3個の凹み。両端敲打。		255
113	2	磨石	下位	完形	14.0	9.0	5.3	998.5	砂岩	両側・両端を面取り。表裏に研磨面。	428	255
115	1	SS	下位	完形	14.2	13.9	4.7	907.6	硬泥	剥片の側に調整加え弧状の刃部形成。		256
115	2	多孔	下位	破片	17.6	15.8	7.1	2400.0	粗安	盤状の円礫。表面に凹み。		256
117	1	磨石	覆土	完形	6.6	6.5	3.9	216.1	粗安	円盤状の円礫。表裏に研磨面。		256
117	2	敲石	覆土	完形	9.2	8.3	6.6	600.8	粗安	球状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		256
129	1	凹石	下位	1/2	8.6	7.0	3.5	189.7	粗安	表面に凹み。裏面・下半欠損。		256
132	1	磨石	下位	完形	11.4	6.7	3.5	536.5	変玄	盤状の垂円礫。表裏に敲打・研磨面。	428	256
133	1	打斧	覆土	2/3	8.3	4.6	2.1	105.5	変玄	刃部欠損。III類。		256
135	1	打斧	中位	ほぼ完	11.4	5.0	1.4	79.1	硬泥	II b類。	428	256
136	1	敲石	上位	完形	11.3	3.8	2.3	167.9	緑片	棒状の円礫。表面・両端に敲打痕。		256

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
					長さ	幅	厚さ	重量				
136	2	砥石	床下	破片	15.6	9.6	5.2	837.7	砂岩	盤状の円礫。表裏に使用面。裏面に浅い溝。	428	256
143	1	打斧	下位	完形	16.7	5.2	3.5	258.0	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。Ⅲ類。	428	256
146	1	石核	床直	完形	7.2	8.5	4.0	248.2	硬泥	剥片の腹面を打面とし周辺で剥片剥離。		256
148	1	石鏃	覆土	一部欠	2.3	1.5	0.4	0.9	黒曜	凹基無茎鏃。裏面に素材面残す。	428	256
148	2	打斧	覆土	完形	11.3	5.5	2.2	143.0	珪頁	Ⅱb類。		256
156	1	SS	中位	完形	9.3	4.9	4.5	260.8	硬泥	薄手の円礫両面全周に調整。下部に刃部形成。		256
156	2	磨石	床下	一部欠	13.0	9.7	5.2	753.0	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨面。		256
156	3	敲石	床下	完形	11.5	9.3	3.6	509.6	粗安	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		256
157	1	石鏃	覆土	完形	2.9	1.6	0.4	1.4	黒曜	凹基無茎鏃。全体に磨耗している。	428	256
157	2	打斧	中位	完形	11.8	4.5	2.5	152.6	硬泥	薄い盤状礫素材。Ⅲ類。	428	256
160	1	磨斧	覆土	2/3	5.2	2.3	0.8	11.8	変蛇	非常に小型。基部欠損。	428	256
162	1	打斧	覆土	完形	13.2	4.8	2.6	166.5	硬泥	Ⅲ類。		256
162	2	打斧	覆土	完形	8.7	4.7	2.2	87.9	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。Ⅱb類。		256
162	3	石核	上位	完形	9.2	10.9	5.2	566.8	硬泥	剥片の腹面側で周辺から剥片剥離。		257
162	4	敲石	下位	完形	13.1	9.0	6.3	1073.4	粗安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		257
163	1	敲石	下位	完形	16.7	7.7	5.3	842.7	デイ	盤状の円礫。両端に敲打痕。		257
163	2	石皿	床下	破片	14.9	13.8	5.5	1233.6	粗安	表裏に使用面。外縁肥厚。皿部分使用により平滑。	428	257
164	1	石核	中位	完形	8.0	8.3	3.1	267.6	硬泥	剥片の腹面側で相対する2方向から剥片剥離。		257
164	2	磨石	中位	完形	8.1	8.6	4.6	419.8	粗安	円盤状の円礫。表裏研磨・敲打、ほぼ全周敲打。		257
166	1	礫器	床直	完形	8.8	7.5	3.1	238.0	粗安	薄い盤状の垂円礫の一端に調整加える。		257
166	2	敲石	床直	完形	8.3	9.1	2.9	322.0	石閃	盤状の垂円礫。ほぼ全周に敲打痕。		257
167	1	打斧	覆土	完形	10.0	6.3	2.0	126.3	硬泥	刃部磨耗。Ⅱa類。		257
167	2	打斧	覆土	2/3	9.9	4.9	2.9	111.3	硬泥	基部欠損。Ⅱa類。		257
167	3	打斧	覆土	完形	9.6	4.4	1.7	86.3	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		257
168	1	打斧	中位	完形	13.1	5.2	2.3	144.5	硬泥	刃部かなり薄手。Ⅲ類。	429	257
168	2	打斧	下位	完形	13.1	3.6	1.9	111.3	緑片	棒状礫の周辺に調整。側面一部敲打。Ⅲ類。		257
169	1	磨石	覆土	完形	8.1	8.7	4.1	354.0	変安	円盤状の円礫。表裏に研磨、両側・上端に敲打痕。		257
170	1	敲石	覆土	完形	12.9	7.6	4.4	494.0	変安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		257
170	2	磨石	覆土	完形	21.1	12.6	7.7	2400.0	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨面。両端に敲打痕。		257
171	1	凹石	下位	3/4	13.4	8.4	4.5	680.4	砂岩	両側面取り。表面研磨・線状痕、裏面凹み・研磨。	429	257
171	2	敲石	下位	2/3	7.3	7.4	3.6	236.6	粗安	棒状の円礫。表裏・上端に敲打痕。下部欠損。		257
172	1	SS	中位	ほぼ完	6.9	8.3	2.0	147.5	硬泥	剥片端部に調整加え刃部形成。		257
172	2	SS	中位	完形	8.8	16.8	2.0	267.0	硬泥	剥片の側面側に調整加え刃部形成。	429	257
172	3	打斧	中位	1/2	9.1	6.2	3.1	194.6	硬泥	刃部欠損。Ⅲ類。		257
172	4	石核	下位	完形	7.6	8.4	5.2	305.8	硬泥	原石の両端で両面交互に剥片剥離。		257
172	5	磨石	中位	完形	9.3	6.6	4.3	360.3	変安	盤状の円礫。表裏に研磨面。		257
173	1	打斧	下位	完形	10.3	5.2	2.4	137.1	硬泥	刃部磨耗。Ⅱb類。	429	258
173	2	磨石	覆土	完形	7.9	5.7	3.1	174.5	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		258
177	1	多孔	覆土	1/3	22.5	14.8	8.3	2790.0	砂岩	盤状の角礫。表裏に大小の凹み。	429	258
178	1	打斧	下位	完形	11.1	4.9	2.6	153.9	硬泥	刃部磨耗。Ⅱa類。		258
179	1	石皿	中位	1/3	27.8	12.0	4.1	2030.0	緑片	盤状の円礫。内面は使用により平滑、裏面未加工。	430	258
180	1	多孔	不明	完形	22.7	25.0	8.5	550.1	粗安	盤状の円礫。表面1、裏面2個の凹み。表裏敲打。		258
181	1	石匙	覆土	完形	3.9	5.4	1.0	14.8	黒安	剥片の周辺両面に調整。右側を尖頭状に作り出す。	429	258
181	2	磨石	中位	完形	14.3	8.2	4.8	896.6	変安	右側面取り。表裏研磨、上端に敲打痕。	429	258
181	3	磨石	中位	2/3	11.9	6.8	5.6	640.2	デイ	棒状の円礫。右側面取り、表裏研磨。下部欠損。		258
182	1	石錐	覆土	完形	2.3	1.9	0.4	1.2	黒曜	剥片ほぼ全周背面に調整。刃部のみ腹面にも調整。	430	258
182	2	凹石	中位	1/2	6.7	7.3	2.8	195.0	変輝	盤状の円礫。表面に凹み・敲打痕。下部欠損。		258
182	3	磨石	下位	1/2	10.9	7.9	6.4	696.5	粗安	両側を面取り。表裏に研磨面。上端に敲打痕。	430	258
182	4	敲石	上位	2/3	10.1	5.7	4.3	336.8	粗安	棒状の円礫。表裏に敲打痕。下部欠損。		258
183	1	多孔	中位	2/3	17.6	10.6	5.3	1130.6	変安	盤状の円礫。表裏に少数の凹み。		258
183	2	台石	下位	破片	14.3	14.9	5.3	1435.0	粗安	盤状の円礫。表裏磨耗。		258
184	1	石鏃	覆土	完形	2.0	1.4	0.6	1.2	黒曜	平基無茎鏃。調整は周辺のみ。	430	258
185	1	楔	覆土	完形	2.5	2.1	0.7	3.1	黒曜	表面ほぼ全周・裏面下半に調整。		258
188	1	打斧	下位	完形	10.7	6.1	2.0	127.1	珪頁	刃部磨耗。Ⅱb類。	430	258
191	1	打斧	下位	1/2	9.7	7.1	2.5	279.0	変玄	基部欠損。Ⅲ類。		258
193	1	楔	覆土	完形	2.0	0.7	0.4	0.6	黒曜	右側に一部不規則な調整。両端に剝離痕。		258
193	2	SS	覆土	ほぼ完	6.3	9.1	1.6	113.3	硬泥	剥片の両側に調整。先端わずかに欠損。		258
193	3	打斧	下位	ほぼ完	9.9	5.0	2.1	114.7	珪頁	刃部一部欠損。Ⅱb類。		258
193	4	石核	覆土	1/2	8.9	5.8	5.4	308.7	硬泥	礫の一端片面で剥片剥離。		258
193	5	石核	覆土	完形	12.1	8.9	4.1	539.3	硬泥	剥片の腹面側一側で剥片剥離。		258

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特 徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
193	6	石核	中位	完形	11.9	9.6	4.0	472.9	硬泥	剥片の腹面側で剥片剥離。		259
193	7	磨石	覆土	1/2	7.9	5.8	4.9	336.9	デイ	両側面取り。表裏研磨・敲打、上端敲打。		259
197	1	石核	中位	完形	12.2	8.8	6.1	594.7	硬泥	剥片の腹面側一端で少数の剥片剥離。		259
197	2	敲石	下位	1/2	9.0	8.9	5.4	619.7	閃緑	盤状の垂円礫。上端と表面・両側の上部に敲打痕。		259
197	3	磨石	下位	完形	12.0	6.4	3.7	367.8	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		259
197	4	砥石	中位	一部欠	9.4	3.6	1.0	39.7	砂岩	薄い板状。両面研磨、中央溝状に浅くくぼむ。	430	259
199	1	打斧	覆土	1/3	6.3	5.3	1.9	54.2	硬泥	刃部欠損。形状不明。		259
199	2	打斧	覆土	破片	5.4	7.0	3.5	136.6	硬泥	両端欠損。II b類。		259
200	1	打斧	中位	3/4	10.7	3.8	1.5	77.0	黒片	刃部欠損。III類。		259
200	2	石核	中位	完形	9.5	11.8	5.2	631.9	硬泥	厚手の剥片の腹面側で周辺から剥片剥離。		259
200	3	磨石	中位	1/2	8.4	8.3	4.1	397.4	砂岩	盤状の円礫。表面敲打・研磨、横方向の線状痕。	430	259
201	1	打斧	覆土	1/3	6.4	4.2	2.0	61.9	細安	刃部欠損。形状不明。		259
201	2	打斧	覆土	2/3	8.1	4.8	1.7	85.1	砂岩	刃部磨耗。基部欠損。III類。		259
207	1	磨石	下位	完形	12.7	8.2	5.4	694.3	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		259
208	1	打斧	覆土	1/3	8.7	5.8	2.3	94.0	珪頁	刃部破片。形状不明。		259
208	2	打斧	覆土	3/4	9.6	7.3	2.0	153.6	硬泥	両端欠損。II b類。		259
211	1	打斧	覆土	一部欠	8.9	4.9	1.3	60.3	硬泥	刃部磨耗。基部わずかに欠損。III類。		259
211	2	多孔	床下	完形	23.1	16.7	4.4	2780.0	閃緑	盤状の円礫。表面に凹み。		259
215	1	SS	覆土	完形	3.3	1.4	0.7	3.0	黒曜	剥片の右側背面に調整。左側に微細剥離痕。		259
217	1	SS	下位	完形	11.8	11.8	3.6	634.4	硬泥	剥片先端背面に調整。打面側にも調整。	430	259
217	2	SS	覆土	完形	8.4	4.4	1.5	42.5	珪頁	剥片の両側に調整。右側は薄く、左は厚い。		259
217	3	打斧	覆土	1/2	9.1	6.1	1.4	82.1	珪頁	刃部磨耗。基部欠損。II a類。		259
218	1	打斧	覆土	完形	10.8	4.1	1.3	58.3	珪頁	刃部磨耗。器表面風化激しい。III類。		259
221	1	打斧	下位	一部欠	17.1	6.7	3.4	399.4	硬泥	刃部一部欠損。II b類。	430	259
221	2	石皿	床直	1/3	33.2	24.4	4.6	3400.0	砂岩	表面皿状に浅くくぼむ。裏面に凹みと弱い研磨。	431	260
225	1	敲石	下位	完形	19.8	7.7	6.2	1442.3	変安	棒状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		260
226	1	石鏃	覆土	一部欠	1.8	1.5	0.5	1.0	黒曜	凹基無茎鏃。先端・左脚欠損。	431	260
226	2	敲石	不明	1/2	9.5	5.5	3.8	288.6	砂岩	棒状の円礫。表裏・上端に敲打痕。下部欠損。		260
226	3	凹石	不明	一部欠	12.7	9.4	4.8	819.6	緑片	盤状の円礫。表裏凹み、両側敲打。	431	260
226	4	敲石	不明	完形	11.1	5.7	4.3	373.7	流紋	棒状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		260
230	1	SS	床下	完形	5.9	10.2	1.5	80.2	硬泥	横長剥片の端部に調整加え刃部形成。		260
230	2	SS	覆土	完形	6.4	3.4	0.7	22.9	変玄	縦長剥片の両側に調整加える。		260
230	3	磨斧	床直	1/2	8.3	5.5	3.7	265.0	変玄	基部破片。裏面上部に剥離痕。	431	260
230	4	凹石	覆土	一部欠	11.2	7.0	3.5	382.2	砂岩	盤状の円礫。表裏に凹み。両端に敲打痕。	431	260
230	5	磨石	下位	ほぼ完	17.1	7.1	5.1	914.2	デイ	盤状の円礫。表面に研磨面。	431	260
230	6	石皿	下位	破片	14.7	9.0	3.9	648.0	緑片	内面使用により平滑。		260
230	7	台石	床直	完形	22.0	18.6	8.4	4790.0	粗安	盤状の円礫。表裏に敲打痕。	432	260
233	1	打斧	不明	2/3	8.2	4.0	1.0	47.4	砂岩	刃部欠損。III類。		260
234	1	打斧	不明	2/3	9.4	6.7	3.3	168.0	硬泥	基部欠損。II b類。		260
235	1	打斧	覆土	2/3	7.3	3.9	1.9	51.5	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。II b類。		260
235	2	打斧	不明	完形	10.1	4.2	2.1	95.3	硬泥	刃部磨耗。III類。	432	260
235	3	打斧	不明	1/2	10.9	3.5	1.9	94.8	細安	刃部磨耗。左半欠損。III類。		260
235	4	石核	覆土	完形	8.6	9.4	4.7	357.4	硬泥	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		260
235	5	磨石	覆土	完形	8.3	7.4	5.3	469.8	粗安	盤状の円礫。表裏研磨・敲打、両端・両側に敲打。		260
235	6	磨石	不明	完形	10.9	7.3	4.0	454.9	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両側に敲打痕。		260
235	7	磨石	不明	完形	13.1	9.6	6.2	1009.6	デイ	盤状の円礫。両側を面取り。表裏に研磨面。	432	260
238	1	打斧	覆土	一部欠	10.7	4.9	1.6	92.4	珪頁	刃部一部欠損。II b類。	432	260
238	2	打斧	覆土	2/3	9.4	4.4	3.0	110.9	硬泥	刃部欠損。III類。		261
238	3	打斧	不明	2/3	8.2	5.4	2.4	107.4	細安	刃部欠損。III類。		261
238	4	敲石	覆土	1/2	10.8	5.6	5.4	435.4	粗安	両側面取り。表裏・上端に敲打痕。下半欠損。		261
238	5	敲石	覆土	完形	15.2	9.9	7.3	1526.6	粗安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		261
238	6	敲石	覆土	一部欠	12.4	5.3	2.8	264.0	変安	盤状の円礫。両端・両側に敲打痕。下端欠損。		261
239	1	打斧	覆土	完形	6.7	3.3	1.6	36.7	硬泥	小形のIII類。		261
239	2	打斧	覆土	2/3	10.7	5.5	2.5	150.9	細安	刃部欠損。II b類。		261
239	3	磨石	不明	破片	5.4	6.1	4.1	182.1	粗安	両側・上面を面取り。表裏に研磨面。	432	261
239	4	磨石	不明	一部欠	6.9	6.2	5.0	105.0	テ凝	球状の円礫。ほぼ全面弱い研磨。熱により破損。		261
241	1	SS	中位	完形	5.2	9.8	2.0	104.8	砂岩	横長剥片両端に調整。両側折り長方形に整形。	432	261
241	2	SS	下位	完形	13.0	5.8	1.9	175.0	硬泥	縦長剥片の側面に調整加え刃部形成。	432	261
242	1	打斧	覆土	完形	10.9	5.2	2.5	169.1	硬泥	刃部磨耗。II b類。	432	261
242	2	打斧	上位	2/3	8.7	4.6	3.4	130.2	細安	刃部欠損。III類。		261

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
					長さ	幅	厚さ	重量				
242	3	打斧	上位	1/2	5.0	2.5	1.1	13.7	硬泥	小形の皿類。刃部欠損。		261
242	4	磨石	上位	2/3	15.1	7.4	5.6	984.3	粗安	両側を面取り。表裏に研磨面、上端に敲打痕。	433	261
242	5	敲石	中位	完形	14.2	9.7	6.8	1196.3	粗安	盤状の円礫。両端・両側に敲打痕。		261
242	6	敲石	上位	完形	16.9	7.2	4.9	837.4	変安	盤状の円礫。上端に敲打痕。		261
243	1	SS	上位	完形	4.4	11.1	1.3	48.2	珪頁	横長剥片の先端背面側に調整加え刃部形成。	433	261
243	2	SS	覆土	破片	4.5	8.1	1.5	50.0	硬泥	器体の下辺に調整。右側・上部欠損。		261
243	3	打斧	覆土	破片	5.5	4.3	1.5	34.6	硬泥	両端欠損。形状不明。		261
243	4	打斧	上位	完形	11.3	4.6	1.5	101.9	変玄	刃部磨耗。II b類。	433	261
243	5	打斧	上位	完形	9.5	4.3	1.7	72.2	硬泥	刃部磨耗。III類。		261
243	6	磨石	中位	1/3	6.1	7.9	5.1	299.6	砂岩	右側面取り。表裏に研磨、上端に敲打痕。		261
245	1	打斧	覆土	ほぼ完	9.2	3.8	1.3	36.5	硬泥	器表面熱により一部剥落。II b類。		261
245	2	打斧	中位	2/3	10.9	5.6	2.5	209.3	珪頁	両端欠損。III類。		261
245	3	打斧	中位	完形	9.7	4.4	1.3	69.2	珪頁	刃部斜状。再調整によるものか。II b類。	433	261
245	4	石核	中位	完形	6.3	6.7	2.5	110.3	硬泥	剥片の側背面側で少数の剥片剥離。		261
245	5	石核	中位	完形	12.8	9.7	5.5	601.3	硬泥	厚手の剥片の腹面を打面とし周辺で剥片剥離。		261
245	6	石核	覆土	完形	6.4	9.6	4.5	325.8	硬泥	剥片端部腹面で少数の剥片剥離。		262
245	7	磨石	覆土	3/4	10.2	9.1	4.1	496.0	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		262
245	8	磨石	中位	完形	12.2	7.2	2.9	336.5	砂岩	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		262
248	1	磨石	上位	一部欠	13.5	10.7	6.6	1112.5	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨面。裏面大きく欠損。		262
248	2	敲石	上位	完形	12.8	7.3	4.3	641.9	デイ	盤状の亜円礫。右側面取り。表裏・下端に敲打痕。		262
248	3	敲石	上位	破片	4.9	8.7	5.5	254.1	粗安	表面に敲打痕。裏面・下部欠損。		262
249	1	打斧	上位	1/2	7.8	5.2	2.3	105.5	変玄	刃部欠損。III類。		262
249	2	打斧	上位	完形	9.9	5.2	3.2	174.4	硬泥	II b類。	433	262
253	1	磨石	覆土	完形	10.5	7.5	4.3	480.2	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		262
256	1	石核	覆土	完形	7.7	5.0	2.2	64.6	砂岩	剥片端部両面で少数の小型剥片剥離。		262
256	2	石核	床直	1/3	6.2	10.0	5.3	385.1	砂岩	礫の両面で周辺から少数の剥片剥離。下部欠損。		262
256	3	石核	下位	完形	10.8	10.1	4.0	410.2	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		262
256	4	磨石	下位	完形	9.6	7.3	5.1	617.2	粗安	両側を面取り。表裏に研磨、両端に敲打痕。	434	262
256	5	磨石	下位	1/3	6.1	8.9	5.5	469.2	閃緑	両側を面取り。表裏に弱い研磨。		262
256	6	磨石	下位	完形	12.1	9.4	4.6	684.1	粗安	盤状の円礫。表裏研磨・敲打。ほぼ全周に敲打。		262
256	7	石皿	床直	完形	17.2	12.3	2.3	585.9	砂岩	盤状の亜角礫。表裏に使用面。		262
256	8	石皿	覆土	1/2	20.4	23.4	6.5	4600.0	緑片	盤状の円礫素材。裏面に多数の凹み。		262
256	9	砥石	下位	1/3	30.4	21.5	5.4	251.8	砂岩	盤状の亜角礫。表裏に使用面。	433	262
257	1	磨石	中位	完形	8.2	6.1	5.6	331.2	デイ	棒状の円礫。表裏に弱い研磨。		262
261	1	楔	覆土	完形	3.2	1.8	0.9	3.7	黒曜	両端に剥離痕。裏面側に調整。		262
263	1	楔	覆土	完形	2.1	2.0	1.0	3.5	黒曜	両端に剥離痕。裏面側に調整。		262
264	1	打斧	中位	完形	12.5	5.8	2.3	136.6	変安	刃部かなり薄手。II b類。	434	262
264	2	打斧	上位	完形	11.7	4.6	2.8	149.8	変玄	刃部磨耗。III類。	434	262
264	3	打斧	中位	1/2	8.4	4.7	1.6	78.3	硬泥	刃部欠損。III類。		263
267	1	打斧	中位	完形	11.9	4.9	1.8	164.8	変玄	刃部磨耗。III類。	434	263
267	2	石核	下位	完形	12.8	6.7	3.4	356.5	硬泥	剥片の一端両面で剥片剥離。		263
267	3	石核	中位	破片	3.8	5.9	2.3	48.9	硬泥	剥片の両面で剥片剥離。		263
267	4	石核	下位	完形	7.6	4.4	2.9	81.8	硬泥	剥片の腹面打面とし剥片剥離。		263
273	1	石匙	下位	完形	6.8	3.0	1.0	18.7	黒頁	縦形。調整の頻度は低い。	434	263
273	2	磨石	下位	完形	8.9	6.7	4.2	336.1	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		263
273	3	石皿	下位	1/3	22.9	18.1	4.9	2850.0	緑片	盤状の円礫。内面使用により平滑。裏面に凹み。	434	263
277	1	石核	床直	1/2	8.9	12.0	5.2	494.1	変安	剥片の両面で周辺から少数の剥片剥離。下半欠損。		263
278	1	石核	覆土	完形	10.2	9.1	3.2	263.2	硬泥	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		263
279	1	打斧	覆土	2/3	10.9	5.7	2.1	108.1	細安	刃部欠損。II b類。		263
280	1	打斧	覆土	3/4	8.9	4.6	2.3	102.8	硬泥	刃部欠損。II b類。		263
280	2	打斧	覆土	完形	13.0	4.4	1.8	131.8	変玄	刃部磨耗。II b類。	434	263
280	3	打斧	覆土	完形	13.3	5.3	2.2	152.8	細安	刃部磨耗。II b類。	434	263
280	4	打斧	覆土	1/2	8.8	5.3	1.7	87.7	珪頁	刃部欠損。形状不明。		263
280	5	打斧	覆土	一部欠	11.2	4.0	2.2	83.5	硬泥	刃部一部欠損。III類。		263
280	6	磨石	覆土	3/4	11.5	9.2	4.9	720.2	変安	両側面取り。表裏に弱い研磨。両端欠損。		263
280	7	磨石	覆土	2/3	12.8	5.9	4.2	446.7	変輝	両側面取り。表裏研磨・線状痕、上端に敲打痕。	434	263
284	1	凹石	覆土	ほぼ完	10.6	8.2	3.3	408.7	砂岩	表裏に凹み・研磨面。側面全面に敲打痕。	435	263
289	1	敲石	不明	完形	12.0	8.1	5.7	736.1	変安	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		263
290	1	磨石	覆土	完形	10.0	7.6	5.5	680.3	粗安	盤状の円礫。表面に研磨面。	435	263
291	1	打斧	床直	完形	11.5	4.7	2.3	106.7	変玄	刃部磨耗。II b類。	435	263

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特 徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
291	2	打斧	中位	完形	10.9	5.0	1.9	123.5	変玄	刃部磨耗切って再調整。側面一部敲打。II類。	435	263
291	3	打斧	覆土	2/3	9.1	4.5	1.8	74.4	硬泥	刃部欠損。III類。		264
291	4	打斧	覆土	破片	5.1	4.2	0.8	13.1	硬泥	刃部破片。かなり磨耗。形状不明。		264
291	5	磨石	床直	完形	12.1	8.0	4.9	613.3	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨面、両端に敲打痕。	435	264
291	6	台石	下位	破片	17.9	14.0	5.5	1492.7	砂岩	盤状の角礫。表面研磨、裏面敲打痕。		264
296	1	打斧	上位	2/3	10.9	6.0	2.3	168.8	珪頁	刃部磨耗。II a類。	435	264
300	1	磨石	床直	完形	12.6	9.3	4.9	805.5	変安	盤状の円礫。両側を面取り、表裏に研磨面。	435	264
301	1	SS	覆土	2/3	2.0	3.7	0.6	4.6	黒曜	剥片の先端両面と折れ面に調整。左側欠損。	435	264
301	2	石核	上位	完形	12.5	13.2	6.8	1423.4	硬泥	盤状石核の表裏で周辺から剥片剥離。		264
301	3	磨石	上位	2/3	7.8	10.2	5.6	617.0	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨・敲打痕。下部欠損。		264
307	1	打斧	不明	1/3	6.6	4.5	2.1	78.3	硬泥	刃部欠損。III類。		264
307	2	打斧	覆土	1/3	6.3	4.2	1.1	29.9	黒安	刃部欠損。II b類。		264
307	3	SS	不明	完形	12.1	4.6	1.2	73.7	細安	横長剥片の両端に調整。端部薄い。		264
310	1	打斧	下位	完形	12.4	6.3	2.7	220.2	硬泥	刃部磨耗。II b類。	435	264
317	1	打斧	覆土	完形	12.7	5.4	2.5	166.6	変安	刃部先端磨耗。II b類。		264
317	2	打斧	覆土	完形	12.4	4.5	1.7	105.6	硬泥	刃部磨耗。III類。		264
320	1	石核	中位	完形	9.7	7.6	4.7	365.7	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。		264
320	2	磨石	中位	完形	12.9	5.9	3.7	368.3	砂岩	表面敲打・研磨、裏面弱い研磨、両端に敲打。	436	264
321	1	打斧	下位	破片	9.4	4.9	2.2	118.6	硬泥	刃部欠損。形状不明。		264
321	2	打斧	覆土	2/3	10.1	5.1	2.2	115.7	細安	刃部磨耗を切って再調整。III類。	436	264
321	3	磨斧	覆土	1/2	11.1	8.6	5.2	866.8	変は	表面一部研磨されるが、裏面剥離痕残す基部欠損。		264
334	1	打斧	下位	完形	10.3	4.7	1.4	93.7	変玄	刃部磨耗。III類。	436	264
334	2	石核	中位	1/2	6.9	5.0	2.6	107.0	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。左側欠損。		264
334	3	磨石	中位	完形	16.3	8.1	3.5	652.5	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両側に敲打痕。		264
335	1	SS	上位	一部欠	4.5	8.5	1.5	59.7	硬泥	横長剥片の両端に調整。左側一部欠損。	436	264
335	2	石核	上位	完形	8.6	8.2	4.3	307.4	硬泥	円盤状の石核の両面で周辺から剥片剥離。		264
335	3	石核	上位	完形	9.7	5.5	2.6	153.5	細安	盤状の礫の一端で交互に少数の剥片剥離。		265
335	4	石棒	上位	破片	12.8	4.2	2.4	209.8	変玄	表面敲打による整形後研磨。破損により形状不明。		265
335	5	凹石	中位	ほぼ完	9.6	8.7	3.4	411.1	溶凝	円盤状の円礫。表面凹み、裏面・ほぼ全周敲打痕。		265
335	6	凹石	中位	完形	10.7	6.3	3.7	328.2	デイ	盤状の円礫。表裏凹み各2個・研磨、両端敲打痕。		265
335	7	磨石	中位	2/3	12.0	5.7	4.6	435.6	閃緑	棒状の円礫。表裏に弱い研磨・敲打痕。下部欠損。		265
335	8	磨石	下位	1/2	10.5	7.0	5.5	568.8	粗安	両側を面取り。表裏に研磨面。	436	265
338	1	石核	中位	完形	10.5	9.8	4.8	483.0	硬泥	剥片の一端背面側で少数の剥片剥離。		265
338	2	石核	中位	完形	10.5	8.3	4.7	375.8	硬泥	剥片の一端腹面側で剥片剥離。形状は片刃礫器状。		265
338	3	敲石	上位	完形	15.0	7.7	4.6	750.0	珪準	盤状の円礫。両端に敲打痕。		265
340	1	打斧	中位	2/3	10.7	6.6	3.5	356.2	粗安	刃部磨耗。側面一部敲打により整形。III類。	436	265
340	2	石核	中位	完形	6.3	7.9	4.4	207.6	硬泥	剥片の両面で少数の剥片剥離。		265
340	3	凹石	下位	完形	13.5	11.6	10.1	176.0	デイ	球状の円礫。表面に凹み。		265
341	1	凹石	床直	完形	39.2	8.7	4.2	2750.0	緑片	棒状の円礫。表裏に凹み。両側を敲打により整形。	436	265
342	1	打斧	中位	完形	8.9	4.1	1.7	69.0	硬泥	III類。	436	265
342	2	打斧	覆土	完形	13.4	4.6	2.3	131.5	硬泥	III類。	436	265
342	3	石核	覆土	完形	10.4	5.7	3.8	242.3	硬泥	剥片両端の主に腹面側で少数の剥片剥離。		265
342	4	磨石	下位	完形	15.4	13.0	8.1	2150.0	粗安	盤状の円礫。表面弱い研磨。器表面荒れ激しい。		265
345	1	打斧	中位	完形	15.7	4.0	2.7	258.0	変玄	表面に一部敲打痕。細長い盤状礫素材。III類。	437	265
347	1	打斧	覆土	1/3	7.3	6.2	2.8	115.6	硬泥	基部破片。形状不明。		265
347	2	磨石	中位	一部欠	12.7	7.2	6.0	745.7	粗安	棒状の円礫。表面研磨・敲打。裏面・両端敲打痕。		265
349	1	石核	下位	完形	8.3	11.8	5.5	521.1	硬泥	礫の分割面打面とし側面一部で剥片剥離。		265
349	2	石核	下位	完形	13.1	8.3	3.3	422.8	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。		265
351	1	石核	覆土	完形	9.4	8.4	3.1	296.1	硬泥	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		
352	1	楔	覆土	完形	1.4	1.1	0.4	0.7	黒曜	両端に剥離痕。		266
352	2	磨石	下位	ほぼ完	7.1	6.8	5.0	285.6	粗安	円盤状の円礫。表裏弱い研磨。熱により一部破損。		266
352	3	磨石	覆土	1/2	9.0	6.4	3.5	257.4	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。下部欠損。		266
353	1	楔	覆土	完形	2.2	2.0	0.7	3.9	黒曜	表面右側・裏面両端に調整。		266
353	2	磨斧	中位	1/3	8.6	6.6	3.4	273.9	変玄	未製品の刃部破片。剥離・敲打による整形途中。	437	266
353	3	磨石	中位	完形	11.4	5.3	3.2	285.9	変安	盤状の円礫。表裏に敲打・研磨面。両端を面取り。	437	266
354	1	磨石	不明	一部欠	8.7	8.1	5.5	517.3	粗安	円盤状の円礫。表裏に研磨面。周辺に一部敲打痕。		266
356	1	磨石	不明	1/2	9.1	6.5	3.5	264.6	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		266
356	2	磨石	不明	完形	12.6	7.9	5.9	826.2	デイ	盤状の円礫。両側を面取り、表裏に研磨面。	437	266
360	1	打斧	覆土	完形	11.5	4.8	2.5	146.2	硬泥	刃部磨耗。II b類。		266
366	1	SS	不明	完形	10.7	14.2	2.8	373.5	硬泥	横長剥片の先端背面に調整加え刃部形成。	437	266

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
368	1	打斧	不明	完形	12.6	5.3	1.8	120.7	砂岩	刃部磨耗を切って再調整。Ⅲ類。	437	266
368	2	打斧	不明	完形	10.7	5.1	1.8	103.6	粗安	Ⅱb類。	437	266
368	3	打斧	覆土	完形	11.5	4.6	2.5	141.3	輝凝	Ⅲ類。		266
368	4	敲石	不明	完形	13.1	7.2	4.1	519.4	変安	盤状の円礫。両端・両側に敲打痕。		266
368	5	敲石	不明	完形	16.1	6.7	5.0	708.5	デイ	棒状の円礫。両端・両側に敲打痕。		266
368	6	磨石	不明	完形	11.5	8.4	4.2	477.5	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		266
371	1	楔	覆土	完形	2.4	2.0	0.5	2.5	黒曜	表面左側・裏面両端に調整。		266
372	1	石核	覆土	完形	7.5	9.3	3.9	259.8	変安	盤状礫の一端で交互に剥片剥離。		266
379	1	石匙	不明	ほぼ完	6.5	6.6	1.1	54.6	珪頁	周辺両面に調整。	437	266
380	1	打斧	中位	破片	8.0	5.4	2.9	148.5	硬泥	両端欠損。形状不明。		266
380	2	磨斧	中位	完形	23.6	6.6	4.9	1132.2	変は	全面丁寧に研磨。基部の断面形状は円形に近い。	438	266
380	3	石核	上位	完形	8.7	11.7	4.9	457.3	硬泥	剥片の腹面を打面として剥片剥離。		266
380	4	多孔	中位	完形	27.5	14.3	12.7	6526.0	デイ	棒状の円礫。表裏に凹み各2個。		267
383	1	凹石	中位	完形	11.9	6.1	4.1	529.5	粗安	両側面取り、表裏凹み・研磨面、両端に敲打痕。	438	267
384	1	石核	覆土	完形	8.3	11.3	6.5	594.1	硬泥	賽子状。打面・作業面90° 転移しながら片剥離。		267
388	1	打斧	下位	2/3	9.9	4.9	2.1	119.5	硬泥	刃部欠損。Ⅲ類。	438	267
388	2	打斧	下位	2/3	9.0	4.7	1.4	94.4	変玄	基部欠損。Ⅲ類。	438	267
388	3	石核	床下	破片	12.3	7.7	4.0	352.7	変安	礫の一端両面で交互に剥片剥離。右半欠損。		267
388	4	石皿	床下	1/4	18.1	13.6	4.8	1544.4	粗安	内面使用により平滑。裏面に凹み。	438	267
390	1	打斧	覆土	一部欠	9.3	5.0	2.0	123.9	細安	刃部欠損。Ⅲ類。		267
390	2	打斧	覆土	2/3	8.2	4.4	1.2	50.5	珪粘様	刃部欠損。Ⅲ類。	438	267
390	3	石核	覆土	完形	6.9	4.3	3.0	65.0	細安	剥片の腹面側で少数の小型剥片剥離。		267
390	4	石核	覆土	完形	7.4	6.9	2.8	89.4	硬泥	剥片の腹面打面とし周辺で剥片剥離。		267
390	5	石核	下位	完形	9.2	10.1	3.7	415.1	硬泥	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		267
390	6	敲石	中位	完形	9.3	8.3	7.2	709.0	流紋	球状の円礫。両端に敲打痕。		267
390	7	磨石	上位	完形	13.8	9.3	5.3	938.5	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨面。	438	267
391	1	石核	中位	完形	7.9	5.5	3.0	177.8	硬泥	剥片の主に背面側で周辺から少数の剥片剥離。		267
391	2	磨石	中位	1/2	9.1	8.1	4.8	433.5	変安	左側を面取り、右側は剥落。表裏に敲打・研磨。	439	267
396	1	石核	不明	完形	8.8	7.2	3.6	232.7	硬泥	器体の右側表面・左側裏面で少数の剥片剥離。		267
396	2	磨石	不明	完形	10.8	8.7	4.6	547.7	粗安	盤状の円礫。表裏に敲打・研磨面。	439	267
401	1	打斧	下位	完形	11.0	5.0	2.9	179.3	変玄	Ⅲ類。		267
401	2	打斧	下位	完形	10.7	5.3	1.7	124.8	硬泥	刃部磨耗。Ⅱb類。		267
401	3	磨石	中位	完形	12.1	9.2	6.4	1006.3	粗安	盤状の円礫。表裏研磨・敲打、両端・両側敲打。		267
404	1	楔	覆土	完形	7.2	3.2	1.7	31.6	硬泥	縦長剥片の両端両面に調整。両側は未加工。		267
404	2	打斧	覆土	破片	6.1	5.2	1.2	46.2	珪頁	両端欠損。形状不明。		267
404	3	打斧	覆土	破片	4.6	4.8	1.1	29.3	珪頁	両端欠損。形状不明。		267
407	1	石核	不明	完形	10.1	8.7	5.2	448.9	硬泥	剥片の一端両面で少数の剥片剥離。		267
407	2	石核	不明	完形	8.6	5.4	4.6	215.4	硬泥	剥片の一端両面で少数の剥片剥離。		268
407	3	石棒	不明	破片	17.2	9.1	8.5	1665.6	デイ	頭部破片。全体粗く整形。胴部断面隅丸の三角形。	439	268
408	1	石鏃	覆土	一部欠	2.2	2.1	0.8	3.3	黒曜	平基無茎鏃。先端欠損。	439	268
408	2	磨石	不明	1/2	10.1	6.3	5.7	423.7	粗安	左側面取り、右側欠損。両面研磨。上端に敲打痕。	439	268
414	1	打斧	不明	ほぼ完	14.1	5.4	1.9	186.8	変輝	Ⅲ類。	439	268
414	2	石核	不明	完形	9.8	13.6	5.3	610.0	硬泥	剥片の端部腹面で少数の剥片剥離。		268
415	1	敲石	床直	完形	12.8	7.3	4.3	587.7	デイ	盤状の円礫。表面・両端に敲打痕。		268
420	1	打斧	不明	破片	5.5	4.8	1.2	40.8	硬泥	両端欠損。形状不明。		268
423	1	敲石	覆土	2/3	10.1	7.0	3.1	297.7	粗安	盤状の円礫。両面に敲打痕。		268
423	2	敲石	覆土	1/3	8.6	7.3	6.2	425.0	粗安	表裏・上端に敲打痕。		268
427	1	SS	床直	完形	15.7	7.9	2.1	362.3	硬泥	横長剥片の左側～端部に調整。		268
427	2	石核	覆土	完形	8.9	8.9	3.1	282.9	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		268
430	1	石核	覆土	完形	9.8	10.6	3.7	445.1	硬泥	剥片の腹面側で周辺から剥片剥離。		268
433	1	石鏃	覆土	一部欠	2.5	1.8	0.5	1.5	黒曜	凹基無茎鏃。先端・左脚欠損。	439	268
433	2	打斧	覆土	2/3	8.5	5.8	2.3	132.4	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。Ⅱb類。		268
433	3	石核	覆土	完形	8.6	5.4	2.9	154.0	硬泥	剥片端部腹面側で小型の剥片剥離。		268
433	4	磨石	覆土	一部欠	9.6	7.6	5.6	489.7	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨面、ほぼ全周に敲打痕。		268
438	1	打斧	覆土	1/2	8.6	5.6	2.0	130.4	砂岩	刃部欠損。Ⅱb類。		268
442	1	打斧	中位	完形	10.5	5.4	2.4	205.6	変玄	刃部磨耗。Ⅱb類。	439	268
443	1	石核	下位	完形	7.6	8.8	4.1	256.0	硬泥	剥片端部両面で剥片剥離。		268
443	2	石核	下位	完形	13.5	10.6	4.5	647.9	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		268
443	3	敲石	下位	完形	14.6	6.8	3.9	448.5	デイ	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		269
443	4	敲石	下位	完形	11.9	6.2	4.0	380.2	珪頁	盤状の円礫。表裏に研磨面、両端に敲打痕。		269

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
					長さ	幅	厚さ	重量				
444	1	楔	覆土	完形	3.8	2.1	0.7	5.5	黒曜	両端に剥離痕。		269
444	2	石核	覆土	完形	6.7	7.1	2.5	152.0	珪頁	薄い盤状礫の両面で周辺から剥片剥離。		269
444	3	磨石	中位	完形	13.1	9.3	6.7	999.9	粗安	盤状の円礫。両側を面取り、表裏に研磨面。	439	269
445	1	磨石	覆土	完形	7.0	6.5	2.8	172.5	砂岩	円盤状の円礫。表裏に弱い研磨面。	440	269
448	1	打斧	中位	1/2	7.0	5.5	1.6	61.4	硬泥	刃部欠損。II b類。		269
448	2	石皿	床下	1/2	16.8	12.8	3.5	846.3	緑片	盤状の円礫。内面使用により平滑、裏面に凹み。	440	269
448	3	多孔	覆土	完形	36.9	15.5	12.6	860.0	デイ	棒状の円礫。表裏に大小の敲打痕。		269
448	4	台石	下位	一部欠	31.3	23.2	4.3	486.0	粗安	盤状の円礫。表裏使用により平滑、敲打痕あり。		269
450	1	打斧	覆土	ほぼ完	11.4	4.8	1.7	106.2	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。III類。		269
453	1	打斧	覆土	完形	14.0	5.5	2.1	174.5	細安	II b類。		269
453	2	打斧	覆土	ほぼ完	9.2	4.3	1.6	52.7	珪頁	器表面かなり風化。II b類。		269
453	3	打斧	覆土	1/2	9.5	6.2	2.6	178.3	粗安	刃部欠損。III類。		269
453	4	磨石	覆土	1/2	9.6	7.8	6.5	639.5	粗安	右側面取り。表裏研磨、表面・上端敲打。		269
453	5	敲石	覆土	ほぼ完	9.5	8.5	5.1	639.5	粗安	円盤状の円礫。三角形の形態。頂点部分に敲打。		269
458	1	敲石	覆土	完形	8.3	7.2	5.4	445.3	粗安	円盤状の円礫。両端に敲打痕。		269
458	2	敲石	覆土	完形	7.5	5.0	4.0	164.1	粗安	棒状の円礫。両端に敲打痕。		269
458	3	磨石	覆土	2/3	13.5	9.5	5.5	1027.3	デイ	両側面取り。表裏研磨。下部欠損。	440	269
460	1	打斧	覆土	1/2	6.5	5.7	1.6	63.0	硬泥	基部欠損。II b類。		269
460	2	磨石	中位	1/2	15.3	7.7	3.6	557.9	粗安	両側を面取り。表面研磨、裏面欠損。		269
461	1	打斧	覆土	完形	13.9	6.1	2.1	187.7	輝凝	II b類。		269
461	2	SS	覆土	完形	4.9	5.0	0.8	20.8	珪準	薄い板状に分割。周辺に不規則な調整。下辺磨耗。		269
466	1	打斧	下位	完形	12.6	6.5	2.0	158.1	硬泥	調整は主に両側の表面に加えられる。II b類。	440	270
466	2	石核	床下	完形	9.3	8.6	5.0	357.1	硬泥	剥片の主に腹面側で剥片剥離。		270
466	3	磨石	下位	完形	9.0	7.9	4.3	43.1	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		270
467	1	磨石	不明	完形	11.6	6.8	4.2	486.8	デイ	両側面取り、表裏に敲打痕・研磨。下端に敲打痕。	441	270
468	1	打斧	覆土	2/3	10.4	5.3	2.3	120.4	変安	刃部欠損。III類。		270
469	1	打斧	覆土	完形	12.4	4.5	1.6	96.1	硬泥	刃部磨耗。III類。		270
469	2	砥石	床直	完形	31.2	27.1	4.4	4310.0	砂岩	表面研磨、裏面大小の凹みと敲打・弱い研磨。	440	270
478	1	SS	覆土	完形	6.9	4.3	1.0	35.1	珪頁	横長剥片端部に調整加え刃部形成。		270
478	2	打斧	覆土	1/3	6.5	4.4	1.9	63.7	硬泥	基部破片。形状不明。		270
482	1	敲石	下位	完形	14.2	8.3	3.4	699.2	粗安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		270
482	2	磨石	下位	完形	11.6	9.2	5.2	887.3	粗安	両側を面取り。表裏に研磨、上端に敲打痕。	441	270
482	3	磨石	床下	完形	13.9	7.3	5.3	748.4	砂岩	両側を面取り。表面研磨、裏面研磨・敲打痕。	441	270
483	1	打斧	下位	2/3	8.7	4.8	2.2	78.6	硬泥	刃部欠損。II b類。		270
483	2	石核	床直	完形	6.8	8.8	5.9	402.6	硬泥	賽子状。打面・作業面90° 転移しながら片剥離。		270
483	3	敲石	床直	完形	12.8	8.8	6.6	817.6	粗安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		270
483	4	磨石	床直	2/3	11.2	5.8	3.6	281.6	デイ	棒状の円礫。表裏研磨・敲打、上端敲打。		270
483	5	磨石	覆土	ほぼ完	16.7	8.9	4.0	898.2	デイ	両側を面取り。表裏に研磨、上端に敲打痕。	441	270
485	1	打斧	上位	完形	11.8	5.6	1.7	108.7	硬泥	刃部磨耗。II b類。		270
485	2	石核	中位	完形	6.8	8.4	3.7	244.0	硬泥	両面で周辺から剥片剥離。		270
489	1	打斧	覆土	2/3	8.0	4.2	1.4	49.5	珪頁	刃部やや磨耗。基部欠損。III類。		270
489	2	砥石	覆土	破片	14.1	11.5	2.6	372.8	砂岩	盤状の角礫。表面に使用面。		270
491	1	磨石	覆土	完形	13.2	7.8	5.5	796.8	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨面、両端・左側に敲打痕。		270
491	2	凹石	覆土	完形	13.5	10.6	6.1	1017.9	デイ	盤状の円礫。表面に凹み・研磨面、裏面に研磨面。		270
491	3	敲石	上位	1/2	17.7	9.7	6.8	1930.2	閃緑	棒状の円礫。表面・右側・上端に敲打痕下半欠損。		271
491	4	台石	上位	完形	36.4	28.0	8.8	12.5kg	粗安	表面敲打、中央部大きく凹む。裏面に凹み。	442	271
493	1	打斧	覆土	完形	11.0	5.8	1.4	96.0	硬泥	III類。		271
495	1	石核	覆土	完形	12.5	11.8	4.6	952.2	硬泥	剥片の主に腹面側で少数の剥片剥離。		271
496	1	磨石	下位	完形	15.7	6.8	6.3	868.6	砂岩	両側面取り。表面研磨と線状痕。裏面・下端敲打。	441	271
498	1	打斧	上位	完形	11.6	5.1	2.4	162.6	硬泥	III類。	441	271
498	2	打斧	上位	破片	8.0	5.5	1.5	79.2	変安	刃部破片。形状不明。		271
498	3	石核	中位	1/2	8.9	8.9	4.5	321.7	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。上部欠損。		271
498	4	凹石	上位	完形	11.2	7.8	5.9	698.1	デイ	盤状の円礫。表裏に浅い凹みと研磨。	442	271
498	5	敲石	上位	完形	12.3	4.5	3.9	308.4	粗安	棒状の円礫。両端に敲打痕。		271
498	6	敲石	上位	2/3	10.0	3.8	4.0	266.5	デイ	棒状の円礫。上端に敲打痕。下半欠損。		271
498	7	砥石	上位	完形	13.1	9.8	2.1	359.4	砂岩	盤状の重角礫。表裏に使用面。	442	271
499	1	石鏃	覆土	完形	2.2	1.7	0.3	0.8	黒曜	凹基無茎鏃。	442	271
500	1	石核	下位	完形	11.8	11.6	4.5	564.0	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から少数の剥片剥離。		271
500	2	石核	中位	完形	13.2	7.8	3.6	444.3	硬泥	剥片の両面で一部周辺から少数の剥片剥離。		271
500	3	磨石	中位	完形	5.9	4.9	3.9	117.2	デイ	小型盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		271

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
500	4	台石	下位	破片	14.7	8.7	7.9	1764.1	砂岩	表面に使用面。		271
502	1	石皿	中位	3/4	41.0	30.1	4.1	3960.0	砂岩	表面浅く凹み内面平滑。周辺に凹み。		272
503	1	石錐	覆土	一部欠	2.7	1.2	0.8	2.2	黒曜	両面に調整。先端欠損。	442	272
503	2	石核	下位	完形	12.2	8.6	3.4	333.1	硬泥	剥片の腹面側で少数の剥片剥離。		272
503	3	凹石	中位	完形	10.3	6.8	4.9	408.3	デイ	盤状の円礫。表裏に凹み・研磨面。	443	272
505	1	石皿	下位	破片	13.6	16.7	2.6	679.6	砂岩	盤状の亜角礫。表面使用により平滑。		272
511	1	敲石	下位	完形	10.8	8.7	5.5	681.1	粗安	盤状の円礫。上端に敲打による剥離痕。		272
512	1	打斧	中位	完形	11.0	5.4	1.6	116.2	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		272
512	2	打斧	中位	1/2	9.0	5.0	1.5	57.4	珪頁	基部欠損。Ⅲ類。		272
513	1	楔	覆土	完形	2.2	2.2	0.3	1.5	黒曜	両端に剥離痕。		272
515	1	打斧	中位	3/4	10.4	4.9	2.6	145.5	砂岩	刃部欠損。両側に一部敲打痕。Ⅲ類。		272
516	1	打斧	覆土	1/2	7.5	5.4	1.5	71.1	粗安	刃部再調整により斜状。基部欠損。Ⅱb類。		272
516	2	石核	覆土	完形	8.3	9.7	4.0	373.5	硬泥	盤状の石核両面で周辺から剥片剥離。		272
516	3	石核	覆土	完形	5.7	7.7	2.6	145.1	硬泥	盤状の礫の一端で少数の剥片剥離。		272
516	4	石核	下位	完形	6.9	10.2	3.5	232.5	硬泥	剥片の一端両面で少数の剥片剥離。		272
516	5	磨石	中位	完形	7.2	7.1	5.2	303.8	デイ	円盤状の円礫。表裏に研磨面。		272
516	6	砥石	下位	破片	23.2	11.2	5.1	1200.0	砂岩	盤状の亜角礫。表裏に弱い使用面。		272
518	1	打斧	覆土	一部欠	9.3	4.2	1.9	59.8	硬泥	刃部裏面欠損。Ⅱb類。		272
519	1	石核	下位	完形	7.8	10.3	3.7	243.7	硬泥	剥片の腹面側で周辺から剥片剥離。		272
519	2	石核	下位	完形	11.3	17.7	8.3	1630.2	硬泥	礫の一端両面で交互に剥片剥離。		273
519	3	多孔	下位	完形	26.7	11.8	6.7	3000.0	デイ	盤状の円礫。表面に凹み2個。	443	273
519	4	磨石	下位	2/3	12.4	6.2	4.3	284.0	粗安	左側面取り。表面に研磨面。右側・裏面欠損。		273
519	5	凹石	下位	ほぼ完	11.6	10.0	3.2	483.4	砂岩	盤状の角礫。表面に2、裏面に1個の凹み。	443	273
520	1	凹石	覆土	完形	9.4	7.1	4.1	353.3	変安	盤状の円礫。両側を面取り、表裏に凹み・研磨面。	443	273
520	2	敲石	覆土	1/2	9.3	4.9	4.2	269.8	デイ	棒状の円礫。上端に敲打痕。下半欠損。		273
521	1	打斧	覆土	一部欠	10.3	4.3	2.2	88.5	硬泥	刃部磨耗、一部欠損。Ⅲ類。		273
524	1	石錐	覆土	一部欠	2.3	0.6	0.4	0.3	黒曜	全周両面に調整。刃部先端欠損。裏面素材面残す。	443	273
524	2	石錐	覆土	一部欠	2.0	0.8	0.4	0.4	黒曜	全周両面に調整。裏面素材面残す。刃部先端欠損。	443	273
524	3	石錐	覆土	完形	2.1	0.5	0.3	0.2	黒曜	全周両面に調整加えるが裏面に素材面残す。	443	273
524	4	石錐	覆土	一部欠	1.6	0.8	0.4	0.3	黒曜	調整は左側両面のみ。両端欠損。	443	273
524	5	石錐	覆土	完形	1.7	0.5	0.3	0.3	黒曜	剥片の一端両側背面側に調整。断面三角形。		273
524	6	石錐	覆土	破片	1.6	0.4	0.3	0.1	黒曜	刃部破片。調整は背面のみ。	443	273
524	7	石錐	覆土	破片	1.7	0.4	0.3	0.2	黒曜	刃部破片。両面に調整。基部欠損。	443	273
524	8	石錐	覆土	破片	1.1	0.3	0.1	0.1	黒曜	刃部先端破片。両面に調整。断面三角形。		273
524	9	石錐	覆土	破片	1.8	0.3	0.3	0.1	黒曜	刃部破片。両面両側に調整。	443	273
524	10	石錐	下位	破片	1.7	0.4	0.3	0.1	黒曜	刃部破片。両面両側に調整。	443	273
524	11	石錐	覆土	破片	1.0	0.5	0.2	0.2	黒曜	両面全面に調整。両端欠損。		273
524	12	石錐	覆土	一部欠	1.6	0.5	0.2	0.1	黒曜	両側に調整。調整は周辺のみ。先端欠損。	443	273
524	13	石錐	覆土	一部欠	2.3	0.9	0.4	0.6	黒曜	両面周辺に調整。刃部先端欠損。	443	273
524	14	石錐	覆土	破片	2.0	0.4	0.3	0.2	黒曜	刃部破片。両面に調整。表面に弱い磨耗両端欠損。	443	273
524	15	楔	覆土	完形	2.3	0.9	0.7	1.4	黒曜	両端に剥離痕。		273
524	16	楔	下位	完形	2.5	1.6	1.1	4.3	黒曜	両端両面に調整。石核素材か。	443	273
524	17	SS	覆土	完形	2.8	1.0	0.5	1.0	黒曜	剥片の両面周辺に調整。	443	273
524	18	SS	中位	完形	9.4	7.8	2.6	168.2	硬泥	剥片の一侧を除く両面に調整。	443	273
524	19	凹石	下位	完形	11.2	7.3	4.5	618.9	粗安	両側面取り。表面凹み・研磨、裏面敲打・研磨。	444	273
524	20	敲石	中位	完形	12.6	7.1	4.4	513.1	流紋	盤状の円礫。下端に敲打痕。		273
524	21	敲石	下位	一部欠	12.0	7.8	6.1	780.4	粗安	棒状の円礫。両端に敲打痕。		273
524	22	磨石	下位	完形	11.7	7.8	4.8	685.3	粗安	両側面取り。表裏に弱い研磨。器表面かなり磨滅。	444	273
524	23	磨石	下位	完形	10.2	7.5	3.9	407.0	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨・敲打痕。	444	273
524	24	磨石	下位	完形	16.1	8.4	6.1	1204.6	変安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		273
528	1	打斧	覆土	完形	9.8	4.6	1.4	66.9	粗安	刃部欠損後に再調整か。Ⅲ類。		273
528	2	石核	下位	1/2	9.5	12.0	3.1	459.0	硬泥	剥片の腹面側で周辺から剥片剥離。下半欠損。		273
529	1	磨石	中位	完形	10.8	7.3	5.7	606.9	砂岩	盤状の円礫。両側を面取り、表裏に研磨面。	444	273
529	2	磨石	下位	ほぼ完	11.4	6.4	4.9	617.3	粗安	両側・下端を面取り。表裏に研磨。上端に敲打痕。	444	273
529	3	多孔	中位	破片	22.8	15.3	4.8	2050.0	緑片	表面に凹み。破損により形状不明。		273
530	1	凹石	下位	完形	17.8	9.2	4.3	1050.0	粗安	左側面取り、右側に敲打、表面に凹み、裏面敲打。	444	274
531	1	打斧	下位	完形	11.2	6.9	2.3	192.2	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。Ⅱb類。	444	274
532	1	石核	床直	完形	9.4	8.6	4.2	331.8	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		274
532	2	敲石	床直	完形	7.2	5.7	4.7	253.6	砂岩	棒状の円礫。両面・両端に敲打痕。		274
538	1	石核	上位	完形	10.8	9.6	5.8	592.0	硬泥	剥片端部で少数の剥片剥離。		274

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特 徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
538	2	石核	中位	完形	8.9	11.6	5.1	492.9	硬泥	剥片端部で少数の剥片剥離。		274
538	3	石核	上位	完形	7.2	4.8	3.4	104.5	硬泥	剥片の一端で少数の剥片剥離。		274
538	4	石核	下位	完形	5.1	7.9	3.5	134.1	硬泥	賽子状。		274
538	5	石核	中位	完形	7.2	9.9	5.1	295.4	硬泥	剥片の一端で少数の剥片剥離。		274
538	6	多孔	上位	3/4	24.3	16.5	11.9	6250.0	デイ	盤状の円礫。表面に大小の凹み、裏面剥落。	445	274
540	1	石核	下位	完形	14.5	8.9	6.5	856.0	硬泥	礫の分割面打面とし周辺で剥片剥離。		274
541	1	石核	上位	完形	9.0	7.5	1.8	137.5	細安	剥片の両面で一部周辺から剥片剥離。		274
541	2	石核	中位	完形	5.9	9.5	3.5	169.5	硬泥	剥片の端部腹面側で剥片剥離。		274
541	3	石核	上位	完形	7.8	8.7	4.7	282.7	硬泥	剥片の端部背面側で剥片剥離。		274
541	4	敲石	床直	1/2	10.1	6.8	2.8	292.3	ひん	盤状の円礫。表面・上端に敲打痕。下部欠損。		274
541	5	敲石	下位	3/4	18.2	8.5	8.3	164.8	粗安	棒状の円礫。表裏・上端に敲打痕。		274
541	6	磨石	下位	完形	10.2	9.1	4.9	567.7	デイ	円盤状の円礫。表裏に敲打・研磨面。	445	274
541	7	砥石	中位	破片	11.9	10.5	1.6	189.4	砂岩	盤状の垂角礫。表面に使用面。		274
542	1	打斧	覆土	完形	11.5	7.4	2.2	130.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。	445	274
542	2	敲石	覆土	完形	13.0	5.5	4.5	410.6	変安	棒状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		274
542	3	敲石	覆土	3/4	10.8	8.8	4.2	497.3	砂岩	盤状の円礫。左側面取り。表裏に敲打痕。		274
547	1	楔	覆土	完形	2.2	1.7	0.6	2.3	黒曜	剥片の両端と左側に調整。	445	275
556	1	打斧	覆土	完形	12.2	4.9	3.0	138.8	硬泥	刃部磨耗。III類。		275
556	2	打斧	覆土	完形	11.6	6.0	2.4	210.5	細安	刃部再調整。III類。		275
556	3	打斧	覆土	1/2	9.2	5.2	1.8	104.6	粗安	刃部一部、基部欠損。III類。		275
556	4	打斧	覆土	1/4	6.8	6.1	2.7	116.6	珪頁	基部破片。形状不明。		275
556	5	打斧	覆土	1/4	6.0	5.4	2.6	96.9	硬泥	両端欠損。形状不明。		275
556	6	敲石	覆土	完形	9.0	6.2	6.1	388.4	粗安	棒状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		275
557	1	SS	P内	完形	7.5	11.8	1.3	87.3	細安	剥片の先端両面に調整。打面部にも調整。	445	275
557	2	打斧	下位	完形	9.5	4.9	1.6	94.0	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。III類。	445	275
557	3	打斧	下位	1/2	7.7	4.8	2.8	137.5	変玄	基部欠損。III類。		275
557	4	石核	下位	完形	5.6	5.8	2.0	58.9	硬泥	剥片両面で周辺から剥片剥離。		275
557	5	凹石	下位	完形	14.4	9.8	4.3	847.2	デイ	両側面取り。表面凹み・研磨、裏面研磨・敲打。	445	275
558	1	石匙	上位	1/2	7.4	4.1	1.8	51.4	粗安	縦形。剥片の両側両面に調整。先端欠損。	445	275
558	2	打斧	中位	1/3	6.2	4.4	1.5	61.5	珪頁	基部破片。形状不明。		275
558	3	打斧	上位	2/3	7.9	4.5	1.3	46.9	珪頁	刃部欠損。II b類。		275
558	4	打斧	下位	完形	17.2	3.8	2.0	152.0	黒片	両側敲打により整形。III類。		275
558	5	石皿	下位	2/3	33.6	25.1	8.4	8410.0	砂岩	盤状の角礫。裏面に大小の凹み。内面にも凹み。	446	275
559	1	打斧	下位	完形	10.2	4.6	2.1	122.7	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。III類。		275
560	1	打斧	上位	完形	11.0	5.4	2.2	158.4	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。III類。		275
560	2	磨石	中位	1/2	8.8	7.9	7.0	658.4	デイ	表裏に研磨面。下半欠損。		275
561	1	磨石	下位	完形	11.9	8.8	6.0	962.9	粗安	右側を面取り。表面に弱い研磨、上端に敲打痕。	446	275
561	2	打斧	中位	2/3	11.7	5.6	2.8	252.3	変安	刃部磨耗。基部欠損。III類。		275
562	1	打斧	下位	2/3	10.1	6.3	2.3	176.0	変安	刃部磨耗。II b類。	446	276
568	1	磨石	下位	完形	9.8	8.2	4.8	545.2	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨・敲打痕。		276
569	1	石核	床直	完形	7.3	6.1	2.6	118.3	粗安	剥片の周辺を折り取るように剥片剥離。		276
569	2	凹石	覆土	1/3	7.2	6.9	4.2	228.3	粗安	両側面取り。表・右側凹み、表裏研磨、上端敲打。		276
569	3	敲石	覆土	1/3	8.3	6.0	5.8	387.6	デイ	棒状の円礫。上端に敲打痕。下半欠損。		276
569	4	磨石	覆土	破片	7.8	4.5	2.1	78.8	砂岩	表面に弱い研磨。		276
569	5	台石	下位	完形	24.9	17.6	5.3	3640.0	粗安	盤状の円礫。表面敲打により広範囲に浅く凹む。	446	276
572	1	磨斧	中位	1/2	9.4	5.8	2.8	236.6	変玄	刃部研磨面を切って再調整。基部欠損。	447	276
572	2	凹石	上位	完形	12.7	7.1	4.5	475.4	砂岩	盤状の円礫。表裏に凹み。両側・両端に敲打痕。	446	276
572	3	多孔	上位	1/2	15.0	15.0	6.1	2350.0	閃緑	盤状の円礫。表裏に凹み。下部欠損。		276
573	1	敲石	下位	完形	16.1	8.6	3.9	531.1	粗安	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		276
573	2	敲石	下位	一部欠	13.8	10.0	5.6	936.0	粗安	盤状の円礫。両端・上端に敲打痕。下部欠損。		276
573	3	磨石	下位	ほぼ完	12.4	10.1	5.8	896.6	変安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨面。表面に敲打痕。	447	276
574	1	打斧	下位	2/3	8.8	4.5	1.7	91.5	変玄	刃部欠損。III類。	447	276
574	2	打斧	中位	1/4	4.4	3.5	3.0	43.5	硬泥	刃部破片。形状不明。磨耗みられる。		276
574	3	磨斧	床直	2/3	15.2	6.3	4.4	588.2	変玄	基部付近に煤の付着部と赤化部帯状にめぐる。	447	276
574	4	石核	下位	完形	8.6	7.3	3.6	228.4	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		276
574	5	石皿	下位	1/2	19.0	13.7	5.7	2550.0	黒片	盤状の円礫。表面使用により平滑、裏面に凹み。	447	276
575	1	打斧	覆土	1/2	9.1	5.1	3.2	175.9	硬泥	刃部欠損。III類。		276
575	2	打斧	覆土	完形	8.3	4.5	1.9	86.0	硬泥	刃部磨耗。III類。		276
576	1	石核	下位	完形	7.0	7.1	5.4	299.9	デイ	厚手の剥片の一端で少数の剥片剥離。		276
576	2	敲石	覆土	2/3	13.6	10.7	5.5	923.8	硬泥	盤状の円礫。上端・両側に敲打痕。下半欠損。		276

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
					長さ	幅	厚さ	重量				
577	1	打斧	中位	1/3	7.2	4.7	2.0	87.3	硬泥	刃部欠損。Ⅲ類。		277
577	2	打斧	中位	1/2	7.0	4.7	1.6	61.9	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。Ⅲ類。		277
577	3	打斧	覆土	1/2	7.3	4.2	2.0	64.0	変安	刃部磨耗。基部欠損。Ⅱb類。		277
577	4	打斧	覆土	2/3	8.8	5.0	2.7	126.9	硬泥	基部欠損。Ⅲ類。		277
578	1	石核	床直	完形	6.8	6.1	3.5	147.2	粗安	小形円礫の平坦な一面で周辺から小形剥片剥離。		277
579	1	石錐	覆土	一部	2.8	1.1	0.7	1.7	黒曜	主に刃部に調整加える。先端欠損。	447	277
579	2	石錐	覆土	ほぼ完	2.6	1.0	0.5	0.7	黒曜	周辺両面に調整。両側上部に抉り。石匙の転用か。	447	277
579	3	打斧	中位	完形	11.0	5.0	2.2	128.3	粗安	Ⅱb類。	447	277
579	4	打斧	上位	完形	11.2	4.2	1.6	101.7	細安	刃部磨耗。裏面上半中央部にも磨耗。Ⅲ類。	447	277
579	5	打斧	上位	1/2	7.2	5.7	1.6	60.5	粗安	刃部欠損。Ⅱb類。		277
579	6	敲石	上位	完形	10.2	7.6	4.4	449.1	粗安	盤状の円礫。左側面取り。表裏・両端に敲打痕。		277
579	7	磨石	上位	1/3	7.4	6.1	2.7	141.2	砂岩	表面弱い研磨。裏面周辺から調整。中央に敲打。		277
588	1	石核	下位	完形	7.6	7.5	3.8	225.1	硬泥	剥片の両面で一部周辺から剥片剥離。		277
589	1	SS	中位	完形	11.7	8.1	2.4	201.5	硬泥	剥片端部に調整加え刃部形成。左側にも粗い調整。		277
589	2	打斧	覆土	完形	12.7	6.1	2.5	167.0	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。Ⅱb類。	447	277
589	3	打斧	中位	完形	11.3	5.2	1.6	129.3	硬泥	Ⅲ類。	447	277
589	4	石核	下位	完形	9.7	8.0	3.6	269.0	硬泥	剥片の腹面側一側で剥片剥離。		277
591	1	SS	床直	完形	5.9	10.1	1.6	91.5	硬泥	剥片の両側に調整加える。	448	277
591	2	打斧	上位	3/4	9.0	4.7	1.8	61.3	粗安	刃部欠損。Ⅱb類。		277
591	3	原石	覆土	完形	2.9	4.3	2.4	43.6	チャ	小形の垂円礫。非常に均質。		277
591	4	敲石	上位	破片	10.2	6.9	6.2	414.3	デイ	上端に敲打痕。		277
594	1	多孔	中位	破片	16.0	10.8	5.5	962.2	砂岩	表面に凹み。		277
596	1	石核	下位	完形	11.5	6.9	3.7	272.4	硬泥	剥片の主に背面側で剥片剥離。		277
596	2	磨石	上位	1/2	9.0	7.4	4.1	345.5	デイ	両側を面取り。表裏に研磨。裏面・上端に敲打痕。	448	277
598	1	打斧	下位	完形	20.6	9.9	3.4	688.0	変玄	Ⅱa類。	448	277
599	1	石核	覆土	完形	5.6	6.3	4.0	132.2	硬泥	賽子状。打面作業面90° 転移しながら剥片剥離。		278
601	1	石核	中位	完形	8.7	7.1	3.4	241.0	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。		278
601	2	磨石	中位	ほぼ完	15.0	10.3	5.7	1173.5	粗安	両側面取り。表裏に研磨。上端に敲打痕。	448	278
605	1	打斧	中位	完形	14.0	6.4	2.6	377.9	変玄	刃部磨耗を切って再調整。Ⅱb類。	448	278
605	2	打斧	中位	1/2	7.7	6.4	2.5	139.5	硬泥	刃部破片。形状不明。	448	278
605	3	打斧	中位	2/3	8.1	5.0	2.1	73.2	硬泥	刃部欠損。Ⅱb類。		278
608	1	多孔	下位	完形	20.5	21.5	16.2	9300.0	デイ	球状の円礫。表面に大小の凹み。		278
615	1	打斧	覆土	1/2	9.7	8.0	3.6	72.7	変玄	基部破片。形状不明。		278
617	1	打斧	下位	完形	10.2	6.9	6.2	217.7	硬泥	Ⅱa類。		278
619	1	SS	中位	一部欠	11.3	5.2	1.3	63.7	硬泥	剥片の一側両面に調整加え刃部形成。下部欠損。		278
621	1	石錐	覆土	2/3	2.8	1.7	0.3	1.4	黒曜	破損により形状不明。先端・右下欠損。		278
622	1	敲石	下位	完形	8.8	5.6	3.3	196.0	デイ	盤状の円礫。両端に敲打痕。		278
623	1	石錐	覆土	一部欠	2.1	1.9	0.3	1.1	チャ	凹基無茎錐。先端わずかに欠損。	448	278
623	2	楔	覆土	完形	3.4	2.7	1.5	12.9	赤珪	石核素材。両面のほぼ全周に調整。		278
623	3	磨石	下位	ほぼ完	10.2	7.2	4.0	403.6	粗安	盤状の円礫。表面に研磨。裏面剥落。	448	278
624	1	打斧	覆土	1/2	7.7	4.7	2.0	77.0	硬泥	刃部欠損。Ⅱb類。		278
624	2	SS	覆土	一部欠	8.5	9.1	1.8	161.6	変安	剥片周辺に調整。下端に弧状の刃部。左側欠損。		278
624	3	石核	中位	完形	14.3	6.9	6.2	615.9	硬泥	礫の分割面を作業面とし、片側から剥片剥離。		278
624	4	凹石	床直	2/3	12.2	7.9	4.4	494.6	デイ	両側面取り。表裏に凹み・研磨。上端に敲打痕。	449	278
625	1	磨石	中位	ほぼ完	9.4	8.3	4.5	443.1	粗安	両側面取り。表裏に研磨・敲打痕。	449	278
626	1	打斧	覆土	1/3	6.1	4.9	2.3	85.5	硬泥	刃部破片。形状不明。磨耗みられる。		278
626	2	石核	覆土	完形	8.2	9.2	2.5	220.2	硬泥	剥片素材とし、表裏で周辺から剥片剥離。		278
632	1	打斧	下位	完形	14.1	3.7	1.7	122.5	変輝	盤状の礫素材。Ⅲ類。		278
632	2	磨石	下位	完形	7.9	4.5	2.6	109.6	泥岩	盤状の円礫。全面に研磨・線状痕みられる。	449	278
633	1	打斧	覆土	破片	5.5	4.9	2.0	56.4	硬泥	刃部破片。形状不明。		278
634	1	打斧	覆土	完形	11.4	4.9	2.0	111.3	細安	刃部欠損後に再調整。Ⅱb類。		278
634	2	打斧	覆土	1/3	7.0	5.3	2.2	77.0	硬泥	基部破片。形状不明。		278
635	1	石錐	下位	完形	6.4	4.7	1.7	60.1	粗安	薄手の盤状礫。両端に調整加え浅い抉り。		279
635	2	石錐	下位	完形	5.7	3.8	1.5	51.5	変玄	盤状の円礫の両端に調整。右側にも調整みられる。	449	279
635	3	打斧	上位	完形	11.6	5.9	1.8	110.4	珪頁	刃部磨耗。Ⅱb類。	449	279
635	4	打斧	上位	完形	11.4	5.3	2.0	140.1	変安	刃部磨耗。Ⅱb類。		279
638	1	打斧	上位	破片	6.0	4.5	1.2	37.9	変安	両端欠損。形状不明。		279
638	2	石核	中位	完形	9.4	12.2	2.5	156.7	硬泥	薄手の剥片腹面で少数の剥片剥離。		279
638	3	磨石	下位	完形	13.6	10.3	6.6	1397.7	粗安	右側面取り。表裏に研磨面。裏面・両端に敲打痕。	449	279
638	4	磨石	中位	完形	14.4	7.9	5.2	932.8	砂岩	盤状の垂円礫。表裏に弱い研磨。		279

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特 徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
638	5	敲石	中位	一部欠	11.8	6.9	5.1	589.0	変安	盤状の円礫。両端に敲打痕。上端一部欠損。		279
643	1	敲石	下位	完形	10.1	4.1	3.0	155.0	砂岩	棒状の円礫。両端に敲打痕。		279
643	2	台石	床直	完形	20.1	14.6	3.1	1326.7	砂岩	盤状の円礫。表裏に弱い研磨面。	449	279
644	1	打斧	床直	完形	10.0	5.5	2.2	144.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。	449	279
644	2	打斧	中位	完形	12.0	4.2	1.7	85.0	細安	III類。	450	279
644	3	打斧	下位	1/3	6.7	5.8	1.3	50.3	細安	刃部欠損。形状不明。		279
644	4	凹石	中位	1/2	10.0	7.5	4.8	493.6	デイ	両側面取り。表面凹み・研磨、裏面弱い研磨。	450	279
644	5	敲石	下位	3/4	13.9	6.4	3.2	242.9	変安	盤状の円礫。両端敲打。被熱し器表面かなり剥落。		279
644	6	敲石	中位	2/3	9.1	7.2	4.1	369.1	硬泥	盤状の円礫。表面に敲打痕。下部欠損。		279
645	1	凹石	覆土	ほぼ完	10.6	7.7	4.5	534.6	粗安	左側面取り。表面に凹み。表裏に研磨・敲打痕。		279
646	1	敲石	中位	完形	9.6	8.4	7.6	711.7	変安	球状の円礫。両端に敲打痕。		279
648	1	石核	下位	完形	12.1	8.2	5.8	429.3	硬泥	礫の分割面打面とし少数の剥片剥離。		279
648	2	石核	下位	完形	10.1	6.7	4.0	265.7	硬泥	剥片端部背面側で小型の剥片剥離。		279
648	3	石核	下位	完形	8.8	8.4	3.6	227.4	硬泥	剥片の一端両面で剥片剥離。		279
648	4	石核	下位	完形	9.2	9.1	4.5	451.8	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。		280
648	5	石核	下位	完形	13.5	9.9	5.5	602.1	粗安	剥片の腹面側で少数の剥片剥離。		280
651	1	打斧	上位	完形	10.0	5.8	1.4	53.7	硬泥	刃部非常に薄くほとんど未調整。II a類。		280
651	2	打斧	覆土	完形	10.1	7.2	3.2	170.6	硬泥	刃部磨耗。II b類。		280
651	3	石核	覆土	完形	7.3	7.9	1.9	109.2	珪頁	剥片の両面で周辺から小型の剥片剥離。		280
651	4	石核	上位	完形	9.7	11.9	5.8	635.6	硬泥	分割礫の主に一側両面で剥片剥離。		280
651	5	砥石	中位	破片	10.2	11.1	3.1	324.1	砂岩	表面に使用面。裏面欠損。		280
652	1	石核	覆土	完形	9.3	7.1	3.2	195.0	硬泥	剥片の両面で周辺から少数の剥片剥離。		280
653	1	楔	覆土	完形	3.9	2.0	0.5	3.1	黒曜	両端に剥離痕。		280
654	1	打斧	覆土	完形	11.7	4.8	2.5	129.3	硬泥	刃部磨耗。III類。		280
654	2	打斧	覆土	完形	10.0	3.9	1.9	91.8	珪頁	刃部磨耗。II b類。		280
654	3	磨石	下位	1/2	9.8	7.4	6.0	264.5	粗安	両側を面取り。表裏に研磨面。上端に敲打痕。	450	280
655	1	敲石	中位	完形	11.9	8.3	6.6	785.1	粗安	棒状の円礫。両端に敲打痕。		280
657	1	磨斧	中位	完形	9.1	4.3	3.2	177.8	変玄	表裏に剥離・敲打痕残す。		280
657	2	石核	中位	完形	9.8	11.6	6.0	744.8	硬泥	剥片の腹面を打面とし側面一部で剥片剥離。		280
661	1	SS	中位	完形	7.1	11.4	1.7	145.0	硬泥	剥片の折れ面に調整加え刃部形成。		280
661	2	磨石	中位	完形	11.3	7.7	4.3	615.2	粗安	右側面取り、表面に研磨面。器表面かなり磨滅。	450	280
662	1	SS	覆土	1/2	9.7	5.7	2.8	157.6	硬泥	剥片の周辺両面に調整加える。下半欠損。		280
662	2	打斧	覆土	完形	9.6	5.8	1.8	102.7	珪頁	II b類。		280
662	3	石核	覆土	完形	2.4	2.4	1.3	7.9	赤珪	小形剥片の両面で剥片剥離。一部両極打撃使う。		280
662	4	磨石	覆土	ほぼ完	9.4	6.1	3.1	303.4	粗安	盤状の円礫。表裏研磨。熱により器表面一部剥落。		280
664	1	石鏃	覆土	完形	2.8	1.4	0.6	1.9	チャ	凹基無茎鏃。	450	280
664	2	石錐	覆土	1/2	2.8	1.1	0.7	2.4	黒曜	左側両面に調整。刃部欠損。	450	280
664	3	打斧	覆土	1/2	9.7	6.0	1.9	91.2	硬泥	刃部欠損。III類。		280
664	4	石核	覆土	2/3	10.7	9.6	5.2	692.8	硬泥	分割礫の両面で剥片剥離。下部欠損。		281
665	1	打斧	覆土	3/4	9.2	4.8	1.3	76.5	変玄	刃部磨耗。基部一部欠損。II b類。		281
665	2	石核	中位	完形	8.4	11.0	5.5	472.3	硬泥	厚手の盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		281
666	1	石棒	下位	破片	19.8	9.8	9.1	2650.0	デイ	全面を敲打と弱い研磨により整形。断面ほぼ円形。	450	281
666	2	磨石	床直	完形	12.1	7.5	5.5	698.3	粗安	左側面取り。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		281
666	3	石皿	覆土	破片	26.3	8.0	9.1	1760.0	粗安	側面に弧状の溝刻む。	450	281
667	1	打斧	覆土	3/4	10.3	4.3	2.0	75.4	硬泥	刃部欠損。III類。		281
667	2	打斧	覆土	完形	10.1	3.2	2.0	99.5	硬泥	基部磨耗を切って再調整。III類。		281
667	3	石核	上位	完形	6.8	7.6	4.1	206.9	硬泥	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		281
667	4	砥石	上位	完形	9.4	4.0	2.1	111.5	デイ	盤状の円礫。表裏・両側に研磨・線状痕。	450	281
667	5	砥石	上位	完形	7.0	5.4	1.9	77.4	砂岩	盤状の円礫。表裏に弱い使用面。		281
669	1	打斧	中位	3/4	9.7	5.6	2.1	106.4	粗安	刃部欠損。II b類。		281
670	1	石鏃	覆土	完形	2.7	2.0	0.7	3.9	黒曜	両面全面に調整。やや粗く未製品の可能性あり。		281
671	1	磨石	不明	完形	13.6	5.8	5.5	614.8	粗安	両側面取り、表裏に研磨、表面に敲打痕。	450	281
673	1	打斧	中位	2/3	12.3	5.4	2.8	175.7	硬泥	刃部欠損。III類。	451	281
673	2	打斧	下位	完形	11.8	5.5	2.0	130.6	粗安	刃部磨耗。III類。	451	281
673	3	打斧	覆土	完形	10.5	4.8	2.4	108.7	硬泥	II b類。		281
673	4	砥石	中位	破片	12.7	9.0	2.1	255.2	砂岩	盤状の垂角礫。表裏に使用面。		281
674	1	打斧	下位	完形	13.9	4.7	1.6	121.0	硬泥	刃部磨耗。III類。	451	281
674	2	石核	下位	完形	7.6	8.8	3.0	211.8	硬泥	剥片の両面で一部周辺から剥片剥離。		281
674	3	敲石	覆土	完形	9.4	7.1	4.4	388.4	砂岩	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		281
677	1	磨石	上位	完形	12.4	9.7	5.8	950.8	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨面。	451	281

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
					長さ	幅	厚さ	重量				
679	1	石棒	床直	1/2	38.8	8.7	8.8	4000.0	粗安	頭部に一部浅い溝刻む。柱状節理の角礫素材。	451	282
680	1	打斧	覆土	1/2	8.4	5.5	1.9	102.0	粗安	刃部欠損。II b類。		281
680	2	打斧	覆土	1/2	9.4	6.6	2.7	158.3	細安	刃部磨耗。基部欠損。III類。		281
681	1	打斧	覆土	破片	7.2	5.1	0.9	33.3	硬泥	両端欠損。II b類。		282
681	2	石核	下位	完形	11.1	8.0	5.1	586.5	硬泥	礫の一端両面で交互に剥片剥離。		282
681	3	敲石	下位	完形	11.4	9.7	8.2	97.2	粗安	盤状の円礫。表面・両端に敲打痕。		282
684	1	石核	中位	完形	11.0	7.5	5.9	467.0	硬泥	剥片打面側の背面で剥片剥離。		282
684	2	凹石	中位	一部欠	7.7	7.0	4.1	228.2	礫岩	盤状の円礫。表面に凹み。右側一部欠損。	451	282
687	1	打斧	覆土	3/4	9.4	4.9	1.5	77.2	珪頁	基部欠損。II b類。		282
687	2	多孔	覆土	破片	17.1	13.6	3.5	1029.4	砂岩	盤状の角礫。表裏に凹み。	451	282
687	3	砥石	覆土	1/2	12.6	9.5	6.4	1011.1	砂岩	盤状の垂角礫。表裏に使用面。	451	282
690	1	SS	下位	完形	9.3	7.8	4.0	265.5	凝砂	剥片の両側に調整加え刃部形成。		282
691	1	打斧	覆土	2/3	8.9	5.3	1.8	71.7	砂岩	基部・刃部一部欠損。II b類。		282
691	2	石核	覆土	1/3	8.4	10.0	3.3	305.1	硬泥	剥片の一端両面で剥片剥離。		282
694	1	打斧	下位	完形	9.0	4.9	2.4	137.3	珪頁	II b類。		282
695	1	敲石	中位	ほぼ完	11.1	10.5	6.0	1330.6	粗安	円盤状の円礫。両側に敲打痕。		282
695	2	磨石	中位	完形	15.3	9.1	6.5	1284.9	粗安	盤状の円礫。両側を面取り。表裏に弱い研磨面。	452	282
699	1	打斧	覆土	完形	10.2	4.4	2.0	85.3	硬泥	刃部磨耗。II b類。	452	282
702	1	打斧	中位	完形	12.5	5.5	2.1	146.9	硬泥	II b類。	452	282
702	2	石核	上位	完形	8.3	10.4	3.8	331.9	硬泥	剥片の主に腹面側で少数の小型剥片剥離。		283
704	1	打斧	覆土	完形	8.1	4.5	1.0	40.3	珪頁	II a類。		283
704	2	打斧	覆土	完形	12.3	6.2	2.1	159.0	硬泥	II b類。		283
704	3	原石	覆土	破片	5.9	4.9	0.9	27.1	珪準	板状の原石。風化による劣化激しい。		283
704	4	石皿	中位	1/2	21.4	19.9	5.2	3200.0	緑片	表裏使用。表面凹み、裏面右側J字状の刻み。	452	283
705	1	打斧	覆土	破片	6.1	3.2	1.2	27.1	緑片	形状不明。刃部・裏面欠損。		283
705	2	石核	覆土	完形	11.3	8.6	3.0	323.0	硬泥	盤状の石核の両面で周辺から剥片剥離。		283
705	3	磨石	下位	2/3	12.6	7.9	3.8	427.9	流紋	左側面取り、表裏研磨、表面横方向の線状痕。	452	283
707	1	敲石	下位	完形	10.6	5.9	4.8	389.5	粗安	棒状の円礫。表裏・両端・両側に敲打痕。		283
707	2	磨石	床直	完形	13.3	7.7	4.0	659.2	変安	盤状の円礫。表面に研磨面。	452	283
711	1	石核	下位	完形	14.9	13.8	6.4	1268.4	硬泥	厚手の剥片両面で周辺から剥片剥離。		283
716	1	打斧	覆土	1/2	6.9	4.9	1.2	42.8	硬泥	刃部欠損。II b類。		283
717	1	打斧	覆土	2/3	9.4	5.4	1.6	104.3	粗安	短冊。刃部磨耗。基部欠損。		283
717	2	石核	下位	完形	11.0	7.8	5.1	45.6	硬泥	剥片の主に一端両面で剥片剥離。		283
717	3	石核	覆土	完形	17.1	13.1	4.9	1090.6	硬泥	剥片の一端両面で周辺から剥片剥離。		283
719	1	SS	下位	2/3	15.1	8.3	3.5	358.4	硬泥	剥片側の両面に調整。下部欠損。	452	283
719	2	SS	覆土	完形	8.0	8.1	3.6	221.9	硬泥	剥片の左側～端部に調整加え刃部形成。		284
719	3	石核	下位	破片	8.5	5.4	3.1	122.5	黒安	剥片の両面で周辺から剥片剥離。左側欠損。		284
720	1	打斧	覆土	2/3	8.7	3.6	2.1	58.6	硬泥	刃部欠損。II b類。		284
726	1	打斧	上位	3/4	10.9	4.1	1.8	100.3	雲片	基部欠損。III類。	452	284
726	2	打斧	上位	完形	10.3	5.4	2.0	134.0	変玄	II b類。	453	284
726	3	石核	上位	完形	15.5	11.3	4.8	903.7	硬泥	大型の剥片の腹面側で相対する二辺から剥片剥離。		284
730	1	異形	中位	一部欠	4.8	6.2	1.2	18.7	黒安	両面周辺調整。3方向に突出。上端・左先端欠損。	453	284
730	2	敲石	上位	完形	7.1	5.3	3.8	190.4	ひん	盤状の円礫。両端に敲打痕。		284
731	1	*	覆土	ほぼ完	2.4	2.8	0.3	2.6	滑石	*「の」字状石製品。大小2個の孔は両面から穿孔。	453	284
733	1	石核	覆土	完形	10.1	5.3	3.5	205.9	硬泥	剥片端部で厚みを輪切りにするように剥片剥離。		284
734	1	打斧	覆土	破片	5.8	4.7	2.0	47.0	硬泥	基部欠損。形状不明。		284
735	1	凹石	中位	一部欠	13.8	6.5	4.5	576.6	流紋	表面2、裏面1個の凹み。表裏・上端に敲打痕。		284
735	2	磨石	覆土	1/2	8.1	5.1	3.2	165.2	デイ	棒状の円礫。表面に研磨・敲打痕。下半欠損。		284
737	1	石鏃	覆土	破片	1.8	1.4	0.4	0.7	黒曜	調整は主に表面。形状不明。		284
739	1	SS	覆土	完形	6.0	4.2	1.1	31.3	珪頁	剥片の両側両面に調整加え刃部形成。		284
739	2	石核	覆土	完形	9.6	11.1	4.2	399.1	硬泥	剥片の背面側で少数の剥片剥離。		284
739	3	凹石	床直	完形	15.7	7.5	3.7	586.1	デイ	表面凹み・研磨、裏面研磨、両側・両端に敲打。		284
739	4	台石	床直	完形	36.0	30.3	10.2	1625.0	粗安	表面平坦に整形、使用により平滑。一部被熱。		284
741	1	打斧	覆土	完形	9.7	3.5	1.1	42.9	珪頁	刃部磨耗。かなり薄手。III類。		284
741	2	打斧	覆土	1/2	7.1	4.8	2.8	103.6	硬泥	刃部欠損。形状不明。		284
741	3	石核	覆土	完形	14.1	9.8	5.7	854.4	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		285
741	4	石核	覆土	完形	12.9	10.3	3.5	458.5	硬泥	剥片の腹面側で少数の剥片剥離。		285
741	5	凹石	中位	2/3	12.7	9.8	4.7	484.3	砂岩	盤状の垂角礫。表面凹み、裏面敲打。右側欠損。		285
741	6	敲石	中位	完形	15.1	7.0	4.4	651.9	粗安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		285
741	7	敲石	覆土	破片	5.0	6.3	4.5	187.3	粗安	両側面取り。表裏に敲打痕。両端欠損。		285

第2章 検出された遺構と遺物

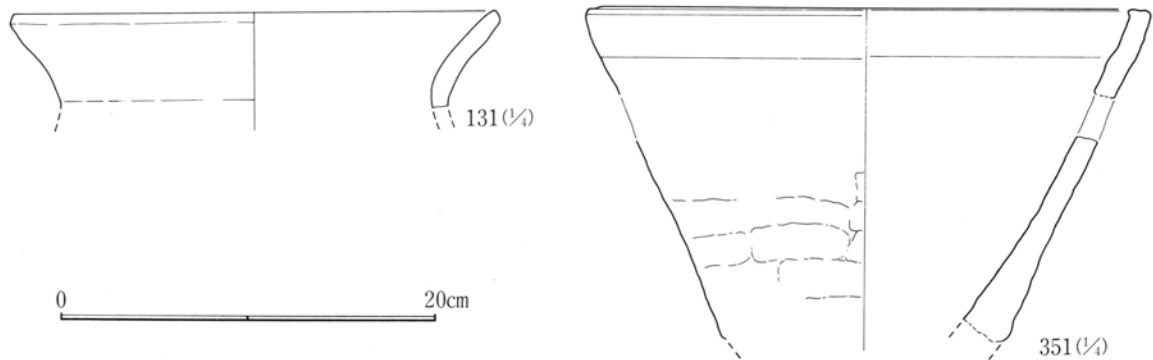
土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
741	8	磨石	覆土	2/3	10.0	8.4	6.6	774.1	粗安	右側面取り。表裏に研磨面、上端敲打痕。下半欠損。		285
741	9	磨石	覆土	1/2	8.2	6.8	4.2	336.1	粗安	両側面取り。表裏研磨、裏面・上端敲打。		285
744	1	打斧	覆土	1/3	5.7	6.1	1.1	52.7	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。II b類。		285
745	1	打斧	下位	2/3	9.2	5.3	1.3	78.8	硬泥	基部欠損。II b類。	453	285
745	2	石核	下位	完形	10.9	10.9	4.9	502.7	硬泥	剥片の腹面打面とし周辺で剥片剥離。		285
745	3	石核	床直	完形	8.9	9.9	3.8	422.2	硬泥	剥片の腹面打面とし一部側面で剥片剥離。		285
745	4	磨石	床直	完形	12.1	6.9	4.7	696.8	硬泥	両側・下面を面取り。表裏に研磨面、裏面敲打痕。	453	285
746	1	磨石	下位	1/4	11.1	8.0	6.5	595.7	粗安	表裏に研磨面。		285
747	1	敲石	下位	完形	11.3	7.5	4.0	443.3	粗安	盤状の円礫。表裏に敲打痕。		285
747	2	敲石	下位	完形	13.8	7.8	2.5	477.7	砂岩	盤状の角礫。表裏に敲打痕。		285
748	1	楔	覆土	完形	2.3	1.8	0.4	1.7	黒曜	左側に細かな調整。両端に剥離痕。		285
748	2	石核	中位	完形	11.6	13.4	3.9	700.6	硬泥	剥片の両面で一部周辺から剥片剥離。		285
748	3	石核	下位	完形	9.3	11.6	4.0	471.5	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剥離。		285
748	4	石棒	下位	破片	9.6	6.9	7.2	731.3	粗安	器面を敲打と研磨により整形。両端欠損。	453	285
749	1	石匙	下位	完形	7.4	13.6	1.7	110.3	硬泥	非常に大形。調整は主につまみ・刃部に加える。	453	285
749	2	多孔	床直	破片	10.4	8.0	3.7	326.6	砂岩	盤状の垂角礫。表面に凹み。裏面欠損。		285
749	3	多孔	床直	破片	24.3	11.2	6.5	2300.0	砂岩	盤状の垂角礫。表裏に凹み。		286
749	4	石皿	床直	1/2	33.1	15.1	7.2	3900.0	緑片	内面使用により平滑。裏面に大小の凹み。	453	286
750	1	打斧	覆土	1/3	6.4	4.6	1.2	38.5	硬泥	基部欠損。II b類。		286
751	1	石皿	中位	破片	22.7	5.0	5.5	820.8	変輝	内面使用により平滑。裏面に凹み。		286
752	1	磨石	中位	ほぼ完	11.0	9.7	4.9	605.6	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		286
754	1	打斧	下位	1/3	9.2	6.9	3.6	258.7	細安	基部破片。形状不明。かなり大型。		286
758	1	打斧	下位	1/2	8.3	5.2	3.0	132.9	硬泥	刃部欠損。III類。		286
760	1	打斧	床直	完形	7.4	4.7	1.9	65.4	硬泥	刃部磨耗。II b類。	454	286
760	2	打斧	床直	1/2	6.7	5.0	2.2	90.7	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。III類。		286
760	3	打斧	下位	1/2	7.2	4.6	2.3	97.5	硬泥	基部欠損。III類。		286
761	1	打斧	床直	1/2	6.8	4.0	1.9	59.7	硬泥	刃部欠損。III類。		286
762	1	楔	覆土	完形	1.7	1.3	0.4	0.8	黒曜	両端に剥離痕。		286
762	2	打斧	下位	1/2	8.7	7.1	3.0	141.1	硬泥	両端欠損。II b類。		286
762	3	打斧	中位	完形	7.7	2.7	1.4	26.9	硬泥	小型のIII類。刃部は未加工。	454	286
762	4	打斧	下位	3/4	10.3	3.7	1.7	76.6	硬泥	基部欠損。III類。	454	286
762	5	打斧	中位	1/3	7.5	4.6	2.5	83.5	硬泥	刃部欠損。III類。		286
762	6	石核	床直	ほぼ完	7.1	6.7	3.4	161.8	硬泥	剥片の一端で少数の剥片剥離。		286
767	1	打斧	下位	完形	10.1	4.4	1.6	73.3	細安	扁平な円礫素材。II b類。	454	286
768	1	石鏃	覆土	1/2	1.7	1.5	0.4	0.6	黒曜	両面に調整。先端・脚部欠損。形状不明。		286
771	1	打斧	下位	完形	10.7	3.9	2.0	95.1	変玄	刃部磨耗。III類。		286
771	2	打斧	下位	完形	11.7	4.7	1.8	77.5	変玄	刃部使用による破損か。II b類。		286
771	3	打斧	下位	完形	10.0	3.9	2.1	85.4	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。基部にも磨耗。III類。	454	286
771	4	打斧	中位	1/3	8.7	6.1	2.6	152.3	硬泥	両端欠損。形状不明。		286
771	5	石核	中位	完形	10.2	7.7	3.9	329.6	硬泥	剥片の両面で一部周辺から剥片剥離。		286
771	6	石核	中位	完形	5.0	3.3	3.3	56.4	硬泥	小型の糞子状。		286
771	7	敲石	覆土	1/2	8.7	7.3	5.3	384.0	粗安	右側面取り。表面・上端に敲打痕。下半欠損。		286
771	8	磨石	下位	完形	11.7	12.2	6.9	1384.0	変安	円盤状の円礫。表裏に研磨面。		286
772	1	SS	中位	2/3	9.7	6.7	2.0	125.1	硬泥	剥片の一側両面に調整加え刃部形成。両端欠損。		287
772	2	打斧	下位	完形	12.2	6.3	3.2	223.0	硬泥	刃部磨耗。II a類。	454	287
772	3	打斧	下位	完形	10.1	4.1	1.4	60.1	硬泥	III類。	454	287
772	4	打斧	中位	1/2	8.6	5.0	3.0	121.7	硬泥	刃部欠損。III類。		287
772	5	打斧	下位	1/3	6.6	5.0	2.0	72.6	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。基部欠損。III類。		287
772	6	打斧	中位	1/3	6.4	3.8	1.8	514.0	硬泥	両端欠損。III類。		287
772	7	打斧	下位	2/3	12.0	6.8	2.5	191.0	細安	両端欠損。III類。		287
772	8	打斧	覆土	2/3	9.9	6.3	3.3	234.5	硬泥	刃部欠損。II b類。		287
772	9	石核	中位	完形	13.8	7.8	4.9	656.4	粗安	礫の分割面で少数の剥片剥離。		287
772	10	石核	下位	完形	7.8	6.4	3.9	202.6	硬泥	盤状石核の両面で周辺から剥片剥離。		287
772	11	石核	中位	完形	8.2	5.2	3.1	118.0	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剥離。		287
772	12	磨斧	中位	1/2	8.4	5.5	3.9	164.9	変玄	刃部破片。表裏に剥離・敲打痕残す。		287
772	13	磨石	下位	2/3	9.7	7.6	5.1	585.6	粗安	盤状の円礫。右側面取り。表裏研磨、下部欠損。		287
772	14	磨石	下位	完形	12.5	7.4	5.4	827.8	粗安	盤状の円礫。両側を面取り、表裏に研磨面。	454	287
774	1	打斧	下位	破片	6.6	3.9	1.8	51.7	細安	両端・右側欠損。形状不明。		287
774	2	打斧	下位	完形	9.5	4.2	1.9	83.5	珉頁	III類。	454	287
803	1	磨石	床直	完形	12.2	7.6	5.0	699.6	粗安	盤状の円礫。両面に研磨面、両端・両側に敲打痕。		287

第4節 土坑と出土遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
804	1	打斧	下位	完形	11.1	6.1	3.1	203.8	硬泥	II b類。	454	287
804	2	磨石	下位	2/3	11.5	6.8	4.6	602.0	デイ	棒状の円礫。表面に弱い研磨。下部欠損。		287
807	1	磨石	中位	完形	9.1	7.9	5.0	509.1	粗安	円盤状の円礫。表裏弱い研磨・敲打。両端敲打。		287
808	1	打斧	下位	完形	11.5	4.7	1.8	170.8	硬泥	刃部磨耗。II b類。	454	287
808	2	打斧	下位	1/3	6.1	5.2	1.6	56.9	硬泥	刃部破片。形状不明。		287
810	1	敲石	床直	破片	7.8	6.9	2.9	229.5	粗安	上端に敲打痕。裏面・下部欠損。		287
812	1	磨石	下位	1/2	9.1	5.9	3.0	25.9	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨面。	454	288
813	1	楔	覆土	完形	1.7	1.3	0.4	0.7	黒曜	両端に剝離痕。		288
813	2	打斧	下位	完形	12.2	4.3	2.3	119.9	硬泥	III類。	454	288
813	3	打斧	下位	完形	13.2	5.7	2.1	145.0	硬泥	刃部先端磨耗。II b類。		288
813	4	石核	下位	1/2	7.1	7.4	3.2	203.4	硬泥	剥片の背面側で周辺から剥片剝離。上半欠損。		288
815	1	SS	覆土	完形	6.2	9.5	4.3	293.2	硬泥	剥片の側を除く両面に調整加え弧状の刃部形成。	455	288
815	2	石核	中位	完形	9.0	9.7	3.2	298.4	硬泥	剥片の両面で一部周辺から剥片剝離。		288
815	3	磨石	中位	完形	9.5	7.6	4.9	499.3	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨面、両端・両側に敲打痕。		288
815	4	石皿	床直	破片	17.6	13.2	0.8	1071.4	砂岩	盤状の垂角礫。表面に使用面。		288
815	5	砥石	中位	破片	11.8	4.5	4.1	173.8	砂岩	盤状の垂角礫。表面に使用面。		288
821	1	台石	不明	破片	10.1	13.9	11.0	2250.0	粗安	表面磨耗。		288
826	1	敲石	不明	2/3	7.3	6.3	3.4	362.5	デイ	盤状の垂角礫。表面に敲打痕。下部欠損。		288
828	1	石核	中位	完形	8.6	14.1	7.5	842.3	硬泥	剥片の主に腹面側で周辺から剥片剝離。		288
830	1	砥石	不明	2/3	4.6	4.9	1.6	34.8	砂岩	円盤状の円礫。表面に使用面。	455	288
833	1	石核	下位	完形	9.4	9.8	4.4	352.3	硬泥	盤状石核の主に表面で求芯状に剥片剝離。		288
833	2	磨石	下位	一部欠	14.4	6.9	4.0	533.3	流紋	両側面取り。表裏研磨、両端敲打。裏面に線状痕。	455	288
833	3	磨石	下位	完形	11.0	8.0	4.0	489.0	粗安	両側面取り、表裏研磨。両端敲打。	455	288
834	1	石核	不明	完形	9.2	12.5	4.5	618.9	硬泥	剥片の両面で周辺から剥片剝離。		288
835	1	打斧	不明	完形	14.6	6.2	1.3	127.7	細安	かなり薄手。II b類。	455	288
835	2	打斧	不明	完形	9.2	4.1	1.3	56.0	硬泥	III類。	455	288
836	1	SS	覆土	完形	6.1	4.1	1.0	20.1	黒安	剥片のほぼ全周に調整加える。		288
838	1	台石	不明	1/2	18.3	13.6	5.2	1411.7	粗安	盤状の円礫。表裏に敲打痕。		288
840	1	石錐	覆土	完形	2.8	0.7	0.7	1.0	黒曜	主に刃部背面に調整加えられる。	455	288
840	2	打斧	覆土	完形	11.5	5.5	2.0	131.7	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。	455	288
840	3	石核	覆土	完形	9.2	8.7	4.6	351.4	硬泥	剥片の主に背面側で剥片剝離。		288
840	4	磨石	覆土	完形	14.1	10.8	7.5	1572.0	角閃	盤状の円礫。表裏研磨により平坦面形成。		289
840	5	磨石	覆土	ほぼ完	10.9	7.4	4.3	588.8	粗安	両側面取り。表裏に研磨面、裏面に敲打痕。	455	289
840	6	磨石	覆土	2/3	11.6	7.7	4.9	611.8	粗安	右側面取り。表裏に研磨・敲打痕。下部欠損。		289
841	1	打斧	覆土	完形	7.0	4.8	2.2	90.5	砂岩	小型のIII類。基部欠損後に再調整加える礫素材。		289
842	1	SS	覆土	完形	3.3	1.3	0.5	2.2	黒曜	剥片の側面の主に腹面に調整。	455	289
844	1	石核	覆土	完形	10.3	13.9	5.0	598.6	硬泥	剥片の両側・両面で剥片剝離。		289
844	2	敲石	覆土	完形	13.0	6.5	3.6	375.0	デイ	盤状の円礫。両端に敲打痕。		289
844	3	敲石	覆土	1/2	9.7	7.4	4.5	319.7	デ凝	盤状の円礫。表裏・上端に敲打痕。下部欠損。		289
844	4	磨石	覆土	完形	11.0	4.8	3.3	241.7	変安	盤状の円礫。表裏に敲打・研磨面。両端に敲打痕。	455	289
844	5	磨石	覆土	1/3	8.3	8.7	7.2	577.0	デイ	表裏に弱い研磨、上端に敲打痕。下部欠損。		289
845	1	磨石	不明	2/3	12.2	5.7	5.3	540.5	閃緑	両側面取り。表裏に研磨面。裏面に敲打痕。	456	289
846	1	石核	床直	完形	7.9	7.0	2.4	143.4	デイ	剥片の両面で周辺から剥片剝離。		289
847	1	敲石	下位	完形	13.0	9.0	6.6	923.7	粗安	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		289
848	1	磨石	中位	完形	7.9	6.4	4.0	257.2	デイ	表裏研磨、裏面中央部は平滑。両端・上端に敲打。	456	289
848	2	砥石	中位	破片	12.4	6.3	2.6	204.8	砂岩	盤状の円礫。表面に使用面、裏面に敲打痕。		289
852	1	打斧	下位	完形	12.0	5.4	1.8	147.9	硬泥	刃部磨耗。II b類。	456	289
852	2	打斧	中位	1/2	9.5	8.4	2.4	263.0	変安	基部欠損。形状不明。		289
852	3	石核	中位	完形	8.9	6.0	5.3	285.2	硬泥	賽子状。打面・作業面90°転移して剥片剝離。		289
852	4	磨石	下位	完形	10.6	6.4	5.1	481.3	変安	盤状の円礫。表裏に研磨・敲打痕、上端に敲打痕。		289
853	1	打斧	覆土	1/2	7.8	5.6	3.0	170.1	粗安	刃部欠損。II b類。		289
853	2	多孔	中位	破片	11.8	8.8	4.7	644.1	砂岩	表裏に凹み。	456	289
853	3	石核	中位	完形	11.9	11.0	6.1	796.0	硬泥	盤状石核の表裏で両端から剥片剝離。		289
853	4	原石	下位	完形	20.5	11.4	9.2	4550.0	変玄	一部敲打あるがほとんど未加工。磨製石斧原石か。		289
854	1	砥石	中位	破片	19.2	10.8	7.5	1327.4	砂岩	表面に使用面。破損により形状不明。		290
857	1	打斧	床直	完形	13.0	5.6	2.0	187.1	変玄	刃部磨耗。II b類。	456	290
865	1	打斧	覆土	完形	8.8	4.9	1.8	81.7	頁岩	II b類。	456	290
871	1	SS	中位	一部欠	7.9	4.9	2.6	74.0	硬泥	剥片の側に調整加える。裏面熱により一部欠損。	456	290
871	2	凹石	中位	2/3	10.8	7.1	3.6	335.6	粗安	盤状の円礫。表面凹み・研磨、裏面・左側敲打。	456	290
871	3	敲石	中位	完形	10.5	8.7	5.0	538.6	変安	盤状の円礫。表裏・両端・両側に敲打痕。		290

第2章 検出された遺構と遺物

土坑	No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
					長さ	幅	厚さ	重量				
872	1	SS	中位	ほぼ完	8.9	7.1	2.8	123.3	硬泥	剥片の両側面に調整。	456	290
872	2	打斧	中位	完形	12.6	5.8	2.6	203.3	硬泥	刃部磨耗。II b類。	456	290
872	3	打斧	覆土	1/3	6.8	5.9	2.3	103.5	硬泥	基部欠損。II b類。		290
872	4	磨石	床直	完形	13.8	9.8	4.9	995.6	粗安	盤状の円礫。表裏弱い研磨、両端・両側敲打痕。		290
872	5	磨石	下位	完形	11.1	7.4	5.1	687.2	閃緑	盤状の円礫。表裏研磨・敲打。両端・両側に敲打。		290
872	6	磨石	中位	1/2	9.0	5.7	3.6	149.2	泥岩	盤状の円礫。表裏に研磨面。下部欠損。		290
876	1	凹石	床直	一部欠	8.4	7.7	2.6	205.6	砂岩	盤状の垂角礫。表裏に凹み。下部欠損。		290
879	1	敲石	床下	完形	10.7	9.3	5.2	689.0	粗安	盤状の円礫。表裏・両端・両側に敲打痕。		290
879	2	敲石	床下	1/2	8.8	6.0	3.3	247.3	デイ	盤状の円礫。上端に敲打痕。下部欠損。		290
879	3	磨石	床下	完形	10.6	8.9	5.5	731.6	デイ	盤状の円礫。両側面取り。表裏に研磨面。	457	290
883	1	石核	上位	完形	8.9	7.5	4.6	319.1	硬泥	賽子状。打面・作業面を90度転移し剥片剥離。		290
889	1	打斧	覆土	1/2	7.9	5.5	3.2	68.2	硬泥	刃部欠損。III類。		290
288	1	打斧	覆土	一部欠	11.4	4.3	2.0	105.6	変安	刃部磨耗、わずかに欠損。III類。		290
288	2	打斧	覆土	1/2	5.8	4.1	1.0	29.5	珪頁	基部欠損。II b類。		290
288	3	磨石	覆土	完形	6.0	5.2	4.4	190.3	粗安	盤状の円礫。ほぼ全面に弱い研磨。両端に敲打痕。		290
288	4	磨石	覆土	完形	11.0	8.0	6.5	751.8	デイ	盤状の円礫。表面に研磨。		290
288	5	多孔	覆土	1/3	18.1	18.3	10.3	4020.0	砂岩	盤状の角礫。表裏に大小の凹み。	457	290
344	1	打斧	覆土	一部欠	11.3	4.8	2.8	176.2	珪変	調整粗く未製品の可能性高い。刃部欠損。III類。		291
344	2	打斧	覆土	完形	10.6	3.7	1.3	57.7	硬泥	刃部磨耗。表面被熱。III類。		291
344	3	石核	覆土	完形	8.0	7.6	5.4	285.7	硬泥	剥片の一端両面で少数の剥片剥離。		291
344	4	石核	覆土	完形	9.4	7.6	3.6	182.2	硬泥	剥片の周辺を折り取るように剥片剥離。		291
344	5	磨石	覆土	一部欠	8.8	8.0	6.1	526.3	粗安	円盤状の円礫。表裏磨・敲打。裏面大きく欠損。		291
607	1	石核	覆土	完形	12.7	6.1	2.5	820.8	変玄	礫の分割面打面とし、一側面で剥片剥離。		291
639	1	石核	覆土	完形	11.1	9.5	4.2	533.2	硬泥	盤状の円礫の一端で表裏交互に剥片剥離。		291
639	2	石核	覆土	完形	11.3	7.3	4.2	381.6	硬泥	剥片の一端で表裏交互に剥片剥離。		291
639	3	敲石	覆土	完形	10.6	7.3	3.5	321.9	粗安	盤状の円礫。表裏・周辺に敲打痕。		291
678	1	台石	覆土	破片	11.7	9.0	5.7	971.6	粗安	表裏に弱い磨耗。熱を受け赤化。		291
678	2	石核	覆土	一部欠	10.1	7.7	3.0	272.8	硬泥	剥片の腹面で周辺から剥片剥離。		291
729	1	打斧	覆土	完形	10.9	4.5	2.1	117.0	硬泥	刃部磨耗。III類。		291
729	2	打斧	覆土	完形	13.0	6.5	2.6	217.4	硬泥	II b類。		291
729	3	石核	覆土	完形	13.1	7.6	3.4	345.0	硬泥	剥片の一側腹面側で小型の剥片剥離。		291
729	4	石核	覆土	完形	15.2	12.7	6.5	117.0	硬泥	盤状の石核の両面で周辺から剥片剥離。		291

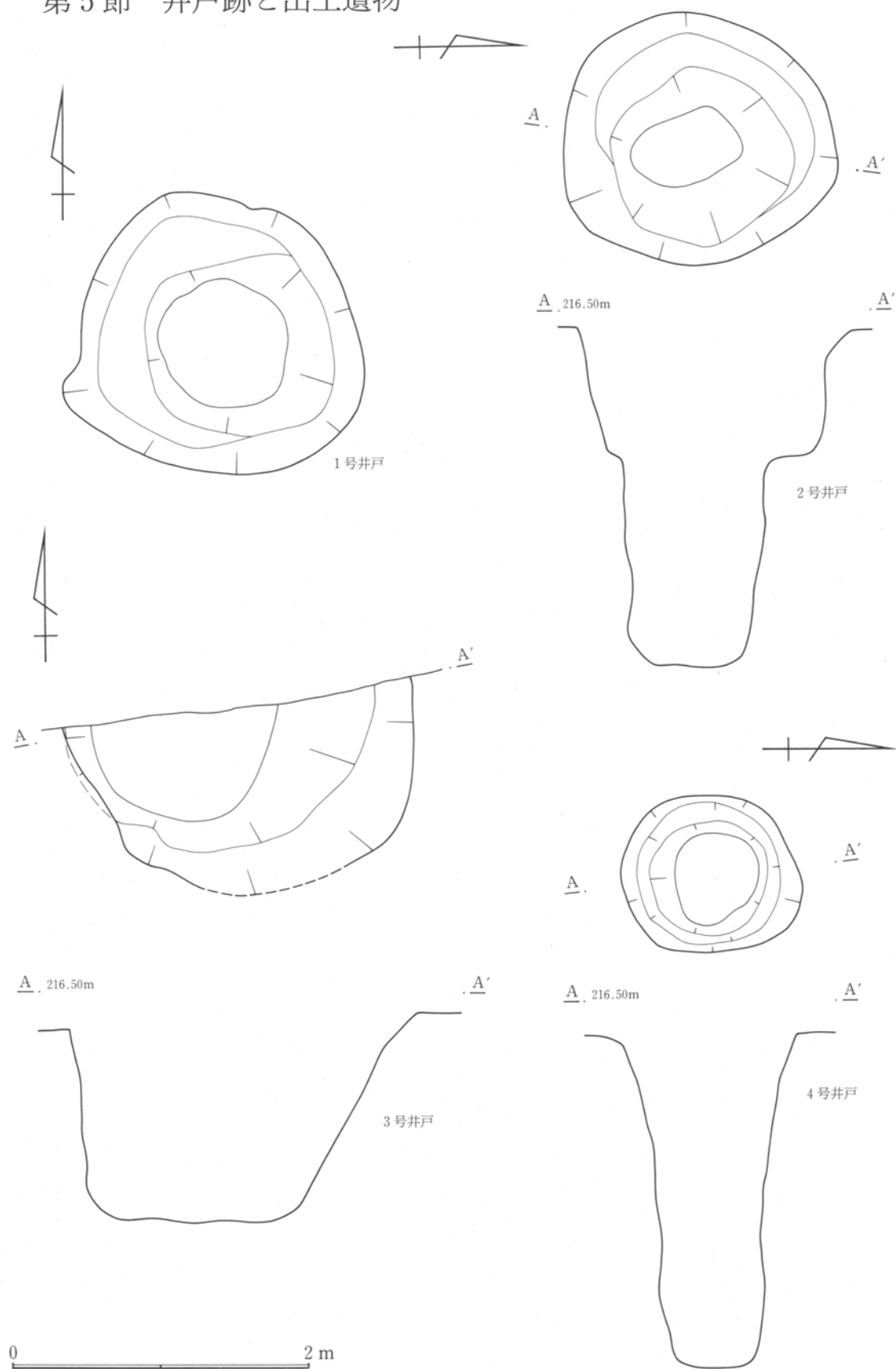


第458図 土坑出土古墳時代以降土器

土坑出土古墳時代以降土器観察表

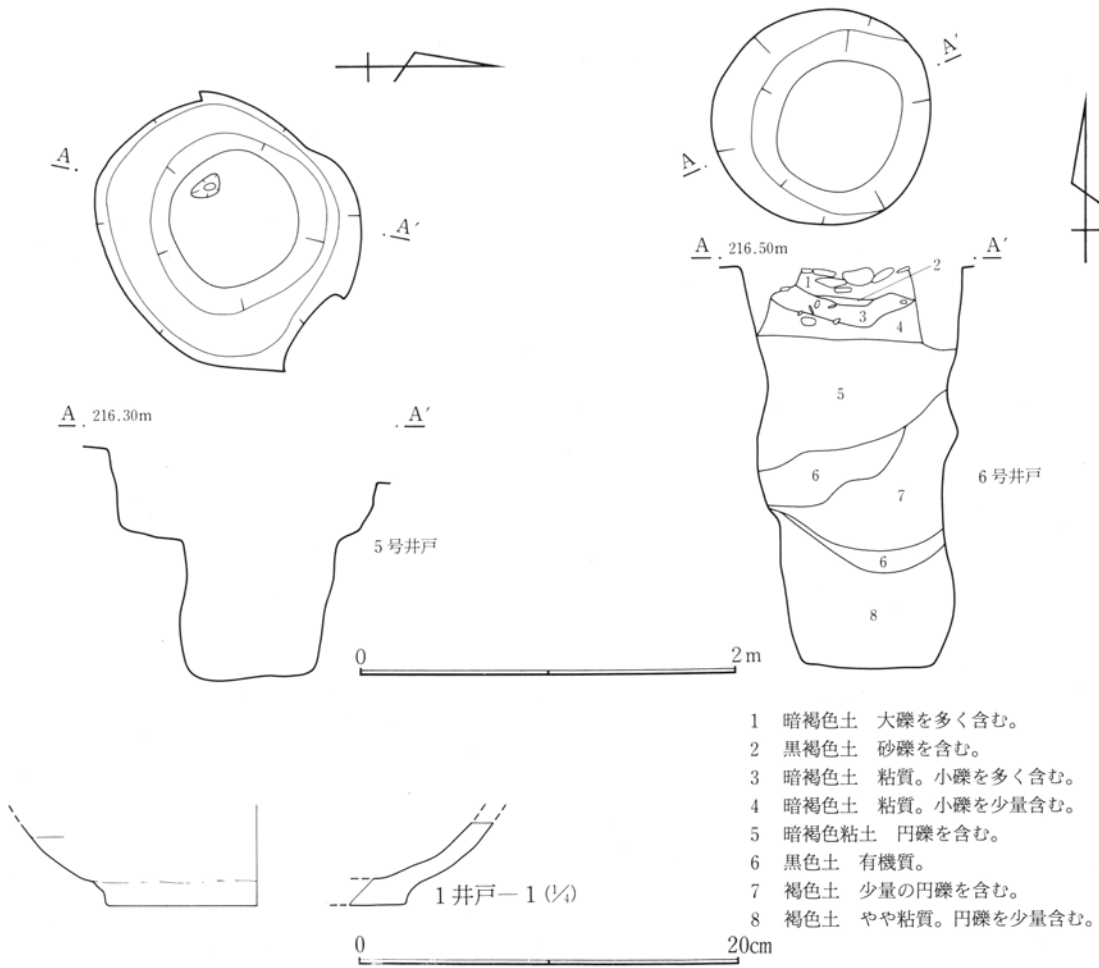
番号	器種 器形	出土位置	口径 器高 底径 (cm)	胎土	色調	焼成	整形の特徴	備考
131 土坑	須恵器 甕	埋土	(25.6)	精製	灰白	良好	ロクロ整形	内外面自然釉少量 附着
351 土坑	軟質陶器 こね鉢	埋土	(30.0)	小砂粒を含む	灰	普通	外 口縁部回転台撫で 内 回転台による撫で	1溝こね鉢と接合

第5節 井戸跡と出土遺物



第459図 1・2・3・4号井戸跡

第2章 検出された遺構と遺物



第460図 5・6号井戸跡および1号井戸出土遺物

1号井戸 (Df・Dg-55・56Gr、第459・460図、PL114・215)

直径2mで掘り方は2段となる。断面図については行方不明となった。出土遺物として陶器壺底部の破片がある。陶器は常滑焼で内外面ともにおい褐色を呈する。焼成は良好で底面近くには回転台による指ナデ、胴下半部にはタテの指ナデがみられる。内面は磨滅しており、他用途に転用されたと考えられる。

2号井戸 (Dh-50Gr、第459図、PL114)

直径1.8m、深さ2.8mで掘り方に段がつく。井戸に伴う遺物は存在しなかった。

3号井戸 (Di-55Gr、第459図、PL114)

約半分は調査区域外。直径2.3m、深さ1.4mで東側の掘り込みは緩やかである。出土遺物は無かった。

4号井戸 (Df-52Gr、第459図、PL114)

直径1.2m、深さ2.2mである。井戸に伴う遺物は存在しなかった。

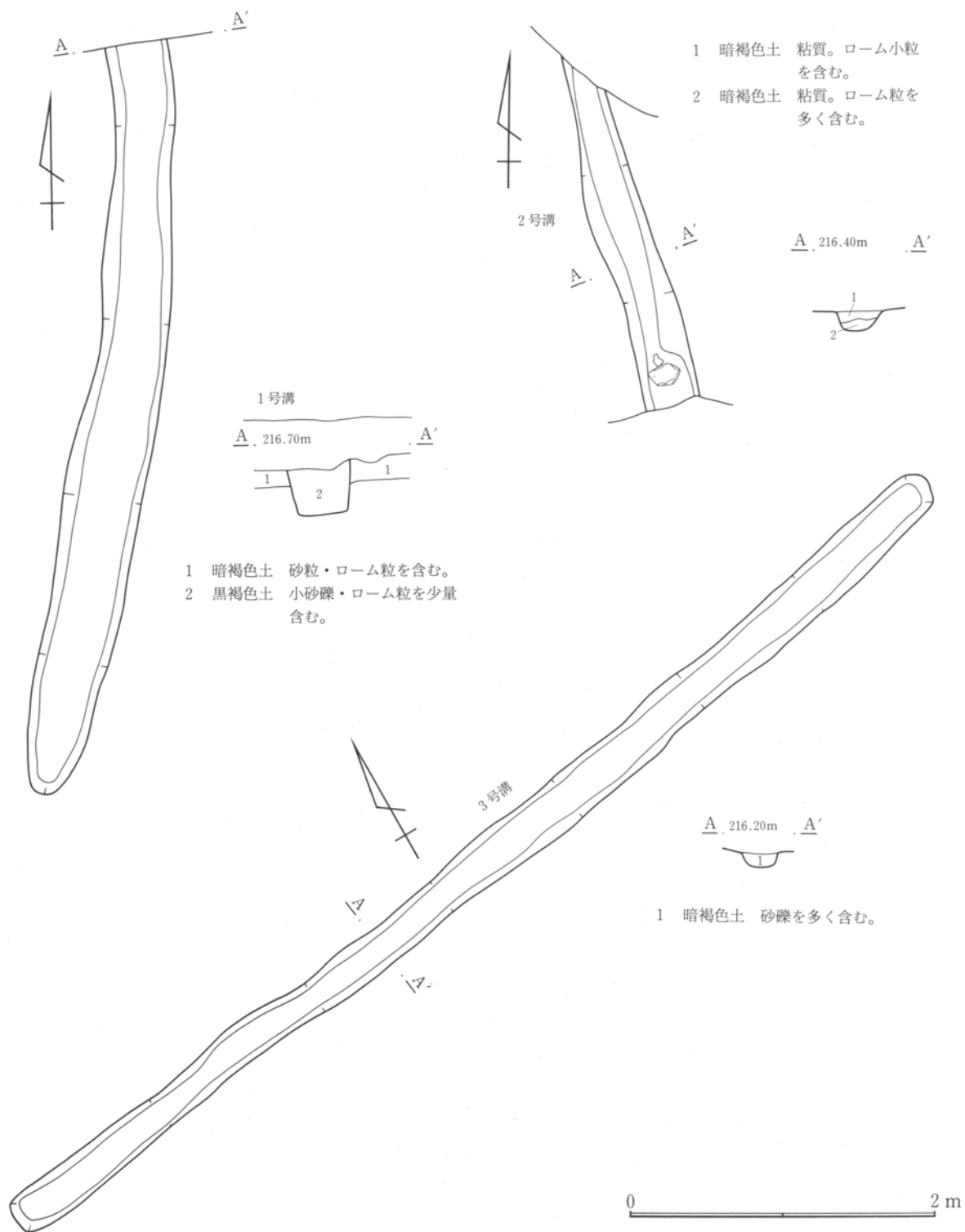
5号井戸 (Dc-51Gr、第460図、PL114)

直径1.4m、深さ1.25mで、途中に段をもつ。井戸に伴う遺物は存在しなかった。

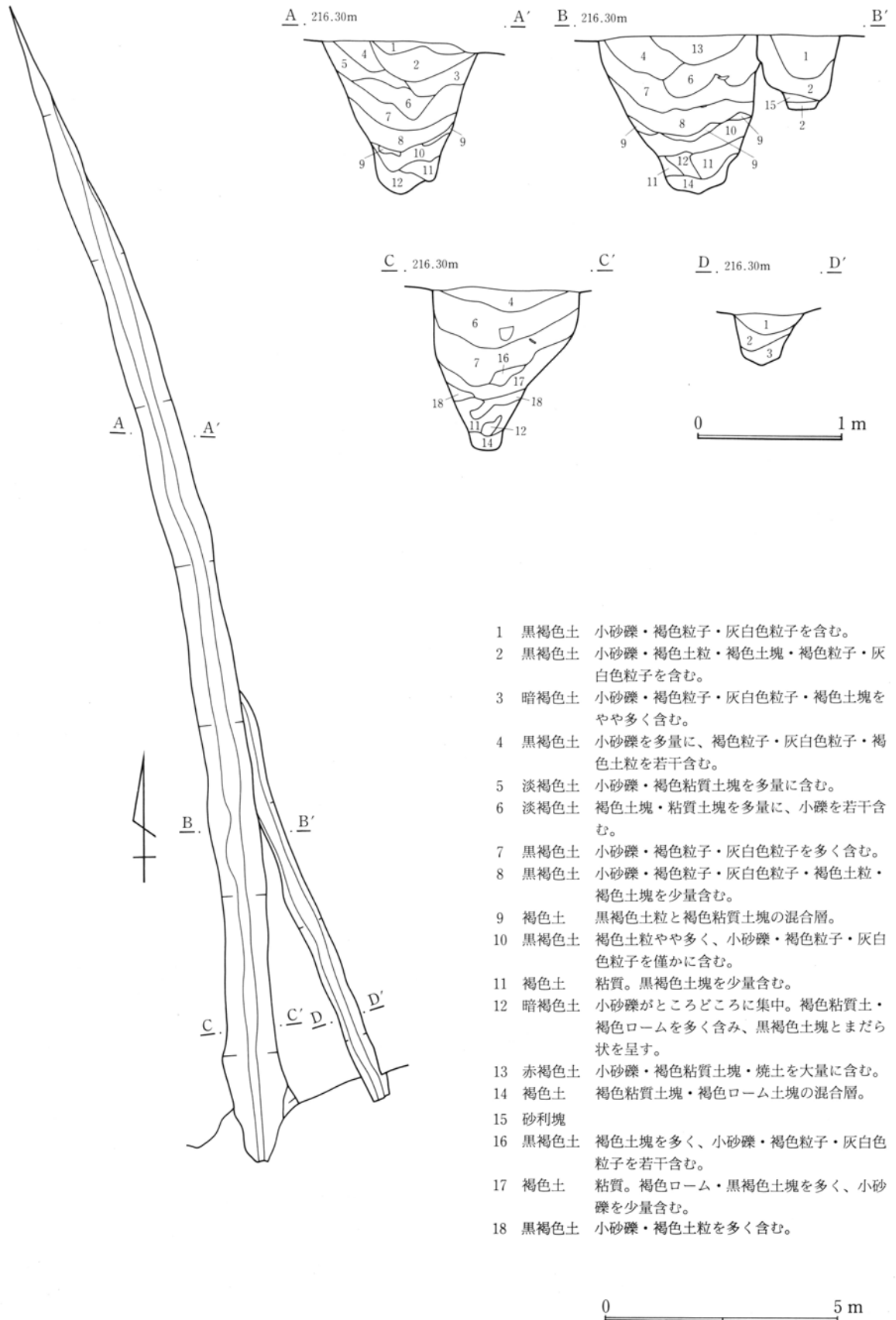
6号井戸 (Df・Dg-49Gr、第460図)

直径1.5m、深さ2.15mである。井戸に伴う遺物は存在しなかった。

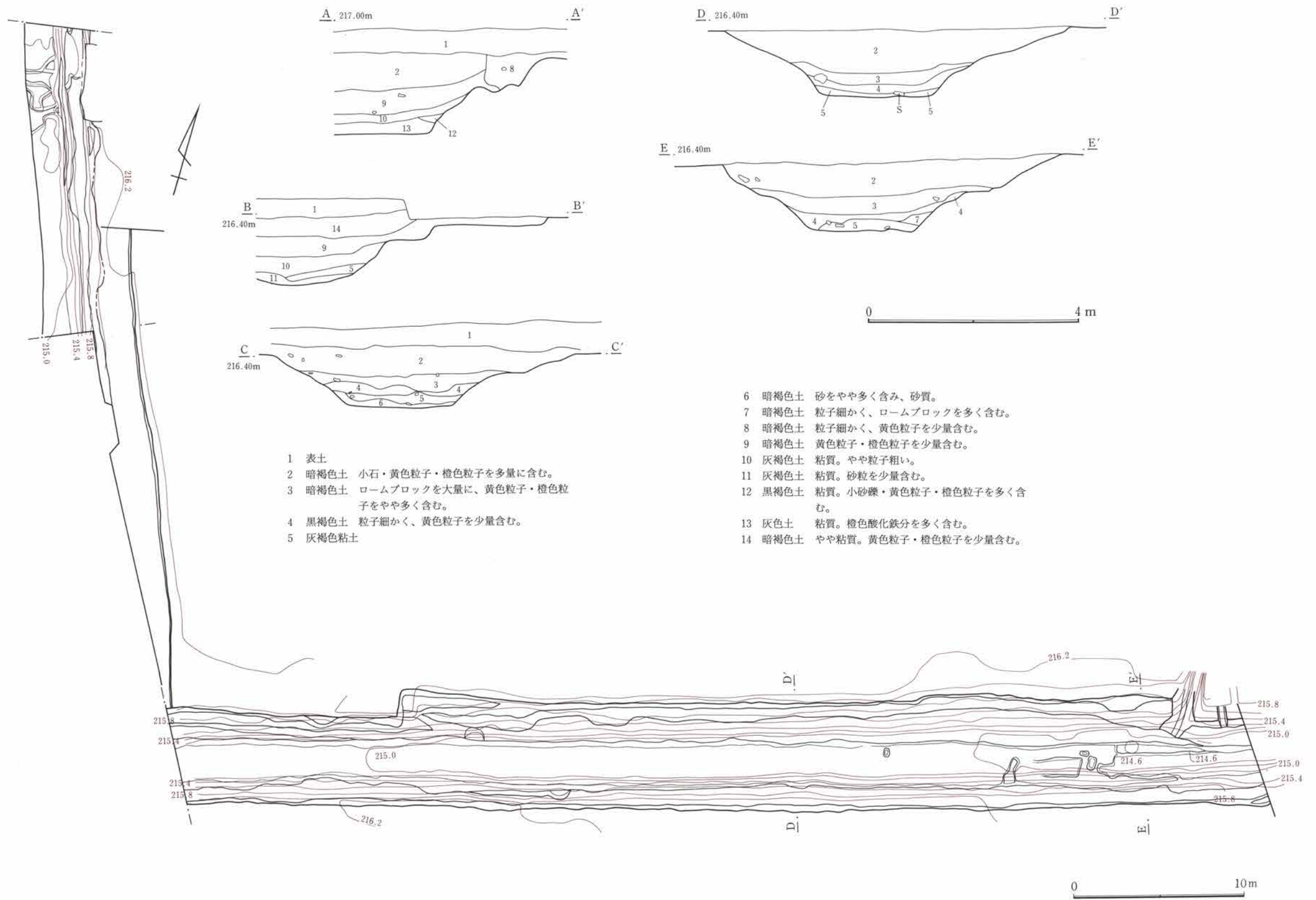
第6節 溝跡と出土遺物



第461図 1・2・3号溝



第462図 4号溝



第463図 5号溝

1号溝 (第461・464図、PL115・215)

ほぼ南北に走っており、さらに北側調査区外へと延びている。近世の耕作溝と考えられる。出土遺物として覆土中より陶器こね鉢片がある。

2号溝 (第461図、PL115)

極一部の確認である。ローム粒を含む粘質土が覆土となっており、1・3号溝よりも古い。

3号溝 (第461図)

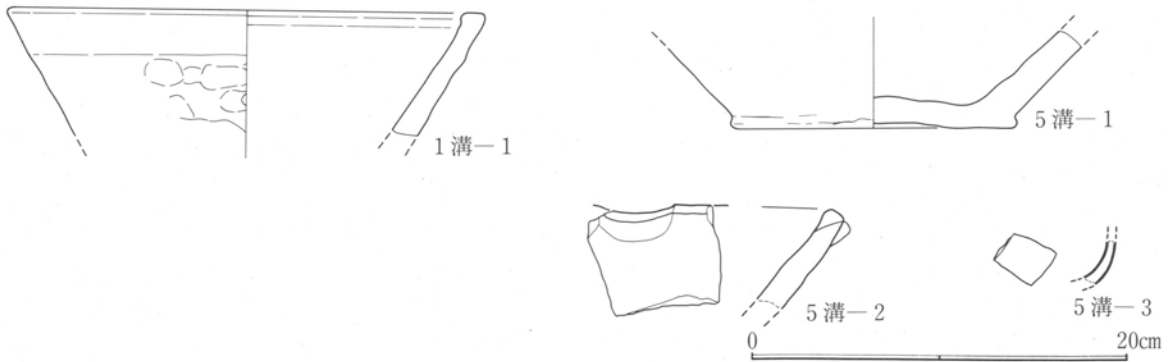
N-81°-Eでほぼ東西方向。覆土は砂礫を多く含み表土に類似している。近世の耕作溝と考えられる。

4号溝 (第462図、PL115・116)

北側は調査区域外へと延びており、南側は5号溝に接している。5号溝との関連においては一連のものであるのか、あるいは新旧関係が存在するのかについては明らかに出来なかった。溝は確認された部分のほぼ中央で僅かに方向が変わる(幅1m、深さ1.1m)。また途中から南南東方向へ枝分かれしている部分がある(幅50cm、深さ35cm)。溝の底面は北側から南側へと僅かではあるが傾斜している。溝の覆土下層には粘質化している部分や砂礫が集中している部分があり、かつて水が流れていたことがうかがえる。

5号溝 (第463・464図、PL116・117・215)

東西に走る部分はN-74°-Eを示しているが、西側の調査区外で93度の角度をもって北側に折れ、さらに北側調査区のDN・E区へ延びている。東西へ走る部分は上幅約6.3m、下幅約2.1m、深さ0.9~1.3mであるが、底面部分は東側の方が西側よりも僅かに低くなっている。溝は逆台形で底面は平坦である。南北に走る部分については幅が不明であるものの、深さについては北東部の境界壁で1.4mまで確認出来た。溝が南北に走る部分の東側に、幅約1m、深さ約15cmの平坦な部分がある。この部分は埋没土の状況から5号溝の一部であると考えられる。溝覆土からの出土遺物として、陶器鉢片・陶器片口片・青磁片がある。



第464図 溝出土遺物

溝出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1溝 1	軟質陶器 こね鉢	埋土	(25.0)		小砂粒を含む	灰 オリーブ	普通	外 口縁部回転台撫で 内 回転台による撫で	351号土坑こね鉢と接合
5溝 1	陶器 甕	埋土		14.8	砂粒を含む	赤灰	普通	内外面撫で	常滑焼
5溝 2	軟質陶器 片口鉢	埋土			小砂粒を含む	暗赤褐	普通	内外面横撫で	
5溝 3	青磁 ? 埴	埋土			精製	緑灰	良好	ロクロ整形後施釉	龍泉窯系

第7節 Pit について

調査区内において確認された Pit は147基である。この147基の Pit は、本来存在した Pit の極一部であると考えられる。調査区は各時代にわたる遺構が重複しており、加えて各遺構への埋没土が近似しているため、表土を除去した段階での確認は不可能に近い状況であった。

確認された Pit の大部分は、弥生時代および縄文時代の住居・土坑の遺構確認時に発見されたものである。したがって各時代にわたる Pit であることが考えられ、Pit の埋没土が多様であることからこのことがうかがえる。上信電鉄線北側の DN・E 区においては、多くの掘立柱建物跡が検出されており、本調査区においても掘立柱建物が存在した可能性は十分にある。

第8節 遺構外出土の遺物

DS 区においては各時代の遺構が複雑に重複している。そのため遺物が何らかの遺構に属していると推定されるものの、明確な形で遺構として捉えられないため、遺構外として扱わざるを得なかった場合も少なくない。以下、縄文土器・弥生土器・古墳時代以降の土器および鉄器、石器の順に報告する。

遺構外出土縄文土器（第465～476図、PL185～194）

ここでは、調査区内で遺構に伴わず検出された縄文土器を遺構外として記載する。土器の時期は前期から後期にわたっている。これらを時期別に大きく I～VI 群に分け、各群を型式毎に類別し、さらに文様構成等を基準に分け記述した。また、土器以外の土製品、ミニチュア土器については、最後に第 VII 群として分類し記載した。

第 I 群 前期中葉の繊維土器

第 1 類（1～3）黒浜式に比定される。

- a 種 1・2 は連続爪形文による文様をもつもの。
- b 種 3 は横位の羽状縄文が施文される。

第 II 群 前期後半～末に比定される一群

第 2 類（4～9）諸磯 C 式に比定される。

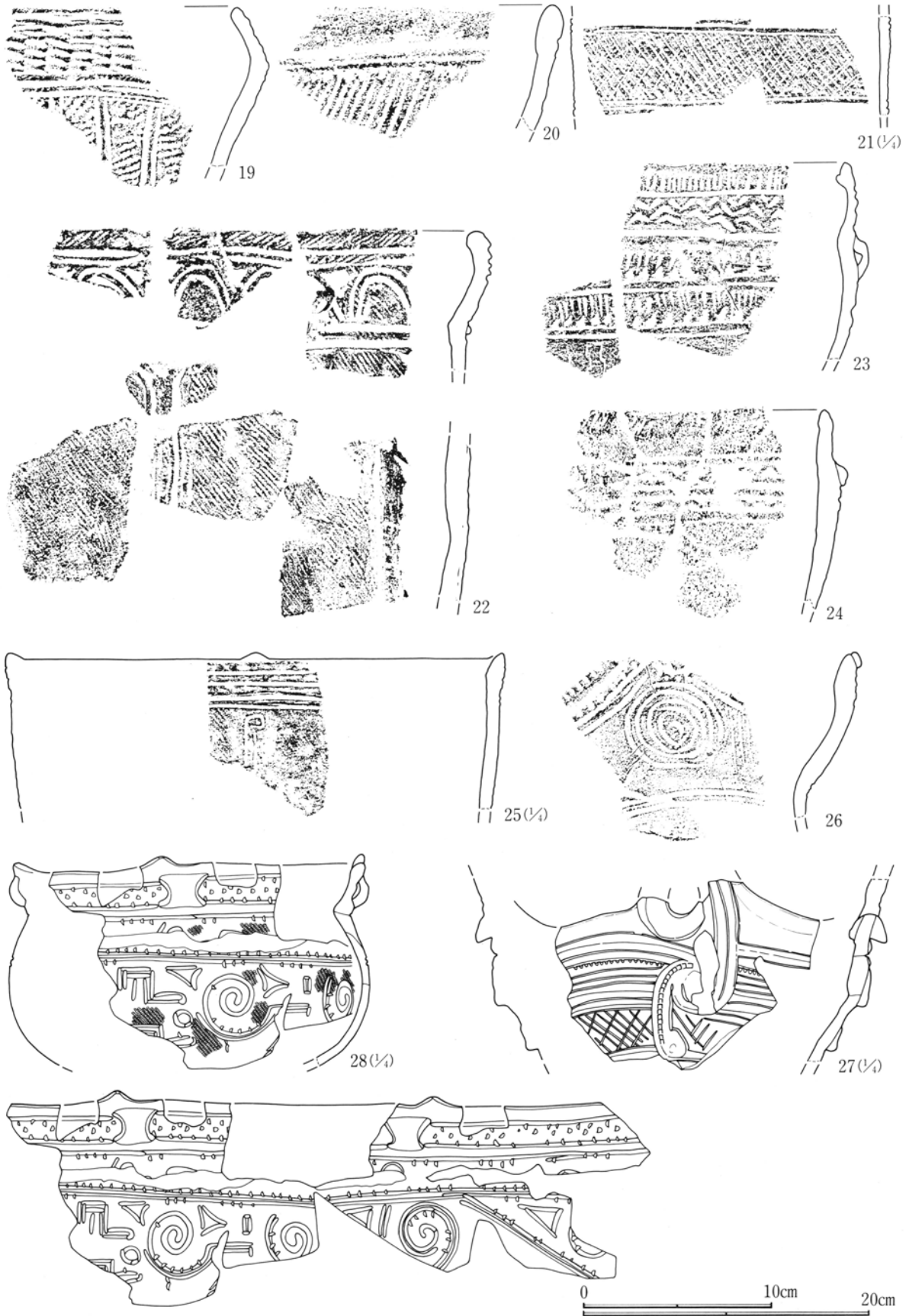
- a 種 4・5・6 は地文に集合沈線を施し、棒状、円形貼付文が付けられたもの。
- b 種 7・8 は集合沈線のみ施文されたもの。7 は口縁部に高く角状に突出した断面三角の把手部分。
- c 種 9 は下部が「ハ」の字形に開いた底部片である。底径 12.2cm。地文に集合沈線を施文後、縦位斜位の結節浮線文、円形貼付文をもつ。

第 3 類（10～13）十三菩提に比定される。

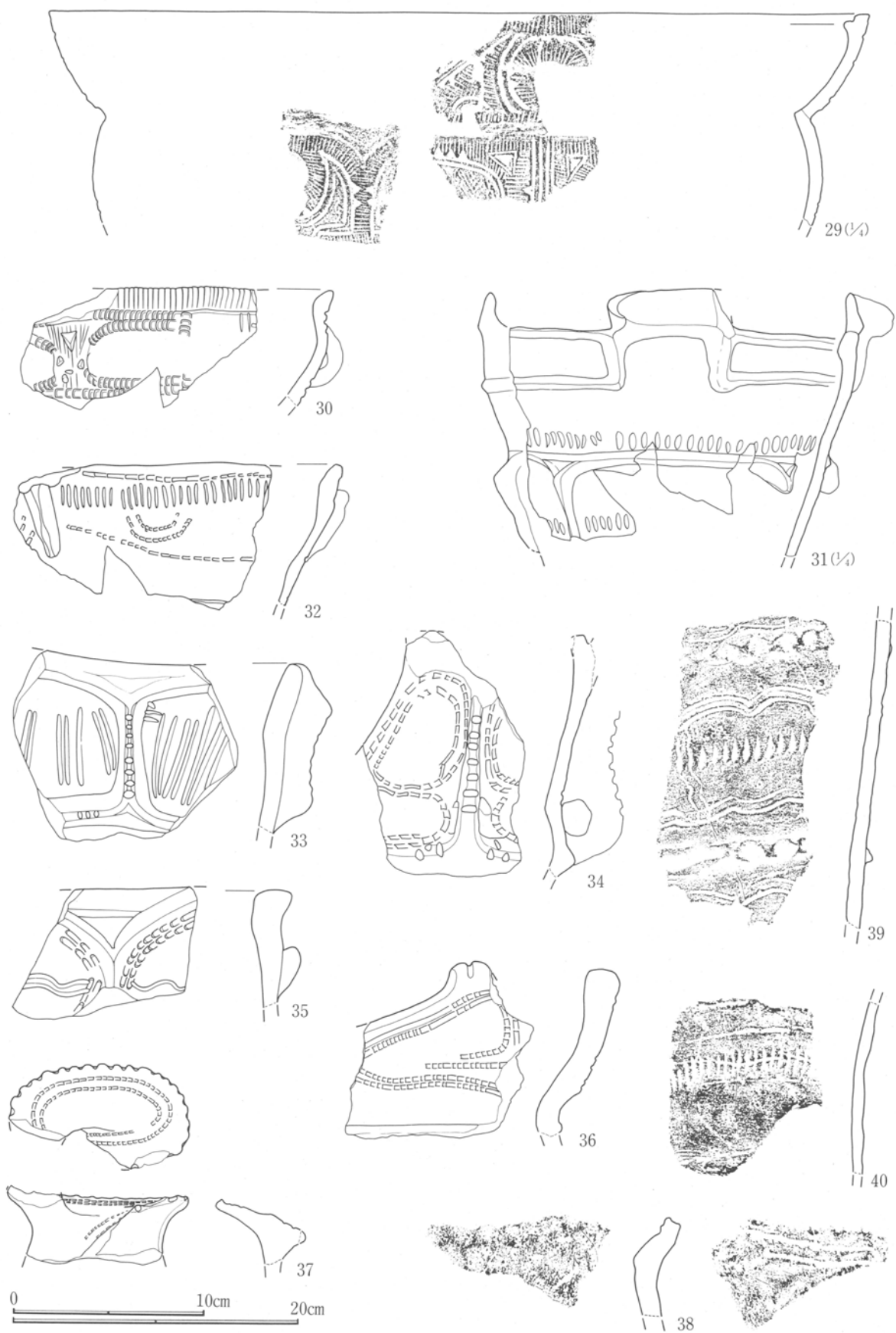
- a 種 10 は口縁部にソーメン状の鋸歯文。下位には押圧痕をもつ隆帯が廻る。
- b 種 13 は口縁部に動物頭部の意匠文（イノシシ）をもち、ソーメン状の貼りつけ文で波状、斜格子目文。
- c 種 11・12 は縄文をもつもの。11 は口縁部折り返され無文帯をなし、口唇部内側にわずかな爪状の突起。横位の羽状縄文。12 は口縁部に横位撚糸 L の文圧痕文が 3 条、最下段には斜めに施文される。以下縄文 LR が横位施文。



第465圖 遺構外出土繩文土器(1)



第466図 遺構外出土縄文土器(2)



第467図 遺構外出土繩文土器(3)

第Ⅲ群 中期初頭～前半の一群

第1類 (14～30) 五領ケ台式に比定される一群。

a種 14～16・18～21・30は沈線による横位、縦位、斜格子文を描くもの。14・15は同一個体と思われる。口縁部に斜格子文で充填された矩形の区画文、以下縄文 LR、沈線文が見られる。15は口縁部に縦位の紡錘状文が付される。16は口縁部。口径30.0cm。口唇部に撚糸文が施文され、斜格子文横位縦位の平行沈線。18は内湾する口縁部片。口唇部が肥厚し、口縁部に沿って無文帯をもつ。横位沈線で区画帯、斜沈線文が配され、横位沈線に上下方向の鋸歯状文が見られる。19は口縁部に横位結節文帯、以下横位、縦位の並行沈線。地文に LR が施文される。20は口縁部片。無文帯をもち横位、斜沈線文。21は胴部片。横位の沈線区画内に細沈線による斜格子文が描かれる。30は口縁部に縦位の沈線を施文し、連続結節文で楕円区画を構成。三角文の刺突文を持った橋状把手が付される。

b種 17・22・24・25は口縁部に沈線による文様帯を有し、胴部に垂下文。17は口縁部片。口縁部に横位沈線で区画帯、斜格子文が配される。以下胴部には刺突文列を伴う沈線が垂下する。22は口縁部「く」の字に折れ、内湾する。横位沈線による口縁部区画帯、区画内には連弧状の平行沈線文、胴部には隆帯による垂下文。地文には口縁部横位、胴部縦位の縄文が施文される。24は口縁部に縦位の刻み、複数の横位沈線文、隆帯で幅狭の文様帯を画し、間には緩い波状文。25は三角の小突起を持った深鉢型土器の口縁部片。口径(34.8cm)。口縁部に4本の横位沈線文、胴部には沈線による縦位文。地文には細縄文が見られる。

c種 23・26・28・29は沈線、三角形の陰刻文等で幾何学文様を描く。いずれも浅目の深鉢型土器で、胎土中に石英等の砂粒が目立つ土器である。頸部「く」の字に折れ、23・28は橋状把手が付される。23は口縁部やや内湾し、低い橋状把手が付される。横位の沈線で多段区画帯を作り、刺突様の短沈線で縦位、鋸歯状の横位連続文を配す。以下胴部には縦位「S」字状の結節文。26は波状口縁。口縁部に刻みを持つ隆帯が廻され沈線による渦巻文、横位沈線文。28は口径(24.2cm)。口唇部縦の沈線、以下刺突文風の山形文。沈線文で曲線文を描き、所々に三角印刻文をもつ。29は口縁部片。頸部「く」の字に折れて口縁部は内湾する。口径(57.1cm)。三角印刻文を伴う沈線で曲線文様を描き、縦位、横位の沈線で充填する。

d種 隆帯文を持つもの。27は波状口縁で波頂部に環状突起、S状の隆帯が垂下、横位に隆帯による区画帯が作られ、斜格子沈線文が見られる。

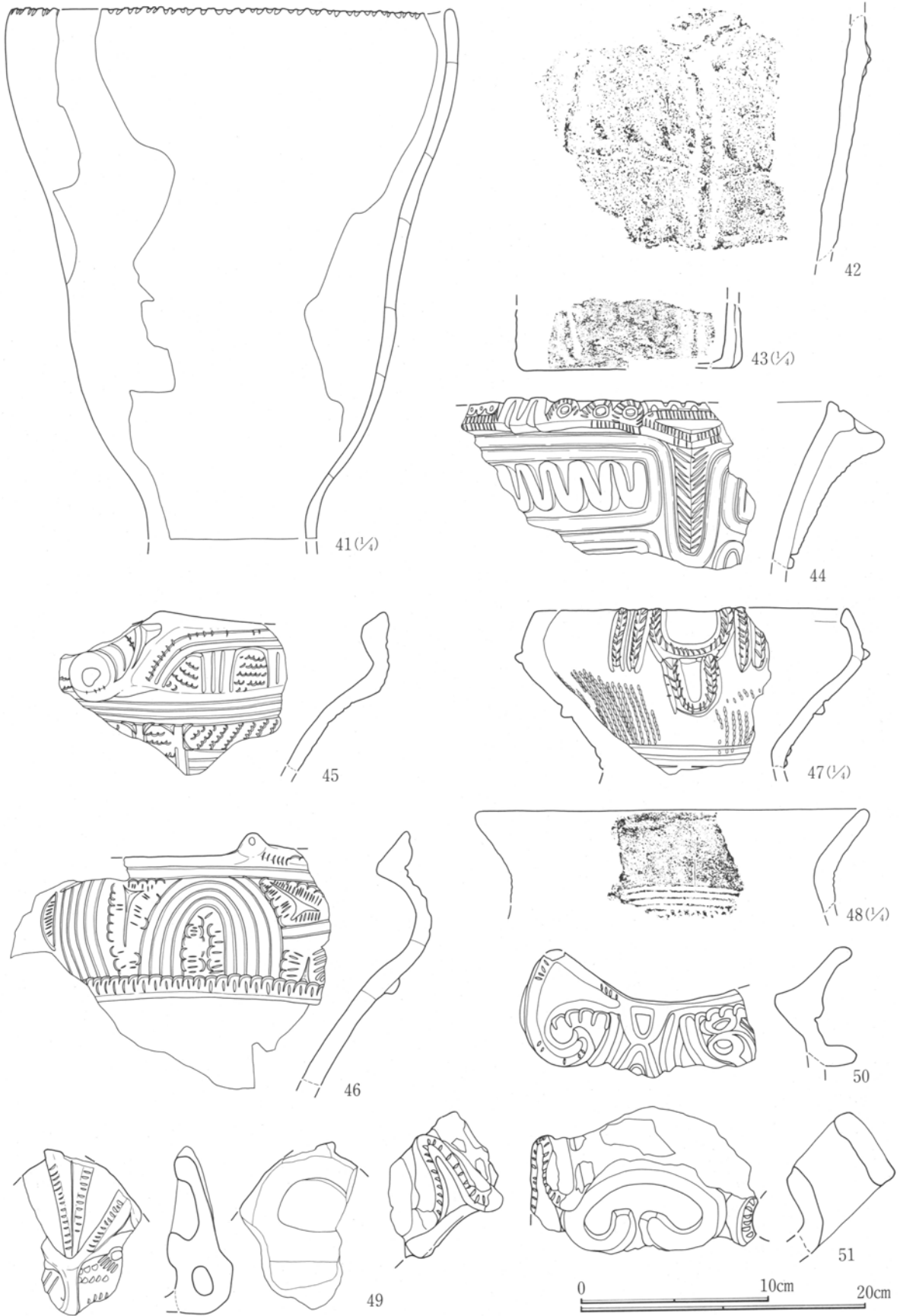
第2類 (31～43) 阿玉台式に比定される一群。

a種 32・34～38は口縁、隆帯に沿って連続角押文をもつもの。32は口縁部片。縦位の棒状隆帯、口縁部に連続角押文で区画帯を作り、中に縦位の沈線、弧状の角押文を描く。34は扇状把手部分、円孔を持つ鱗状部の縁辺には刻みを付す。連続角押文で楕円文を描く。35・36・37は口縁部片。連続角押文で曲線文。37は把手部分。38は内面に連続角押文で楕円文。

b種 31・33・39・40・42は横位、縦位の隆帯文、横位連続爪形文をもつもの。31は深鉢型土器の胴上半部分。4単位の扇状把手を有し、隆帯で横位、縦位の区画帯、連続爪形文が付される。33は口縁部片。隆帯による楕円の区画を構成、連結部分が鱗状に高まり、刻みを付す。区画文内には縦位の沈線文が付される。39は胴部片。押圧を持った横位隆帯、沈線による連弧状文、爪形文が横位に配される。40は横位、縦位の沈線。42は縦位の隆帯文。

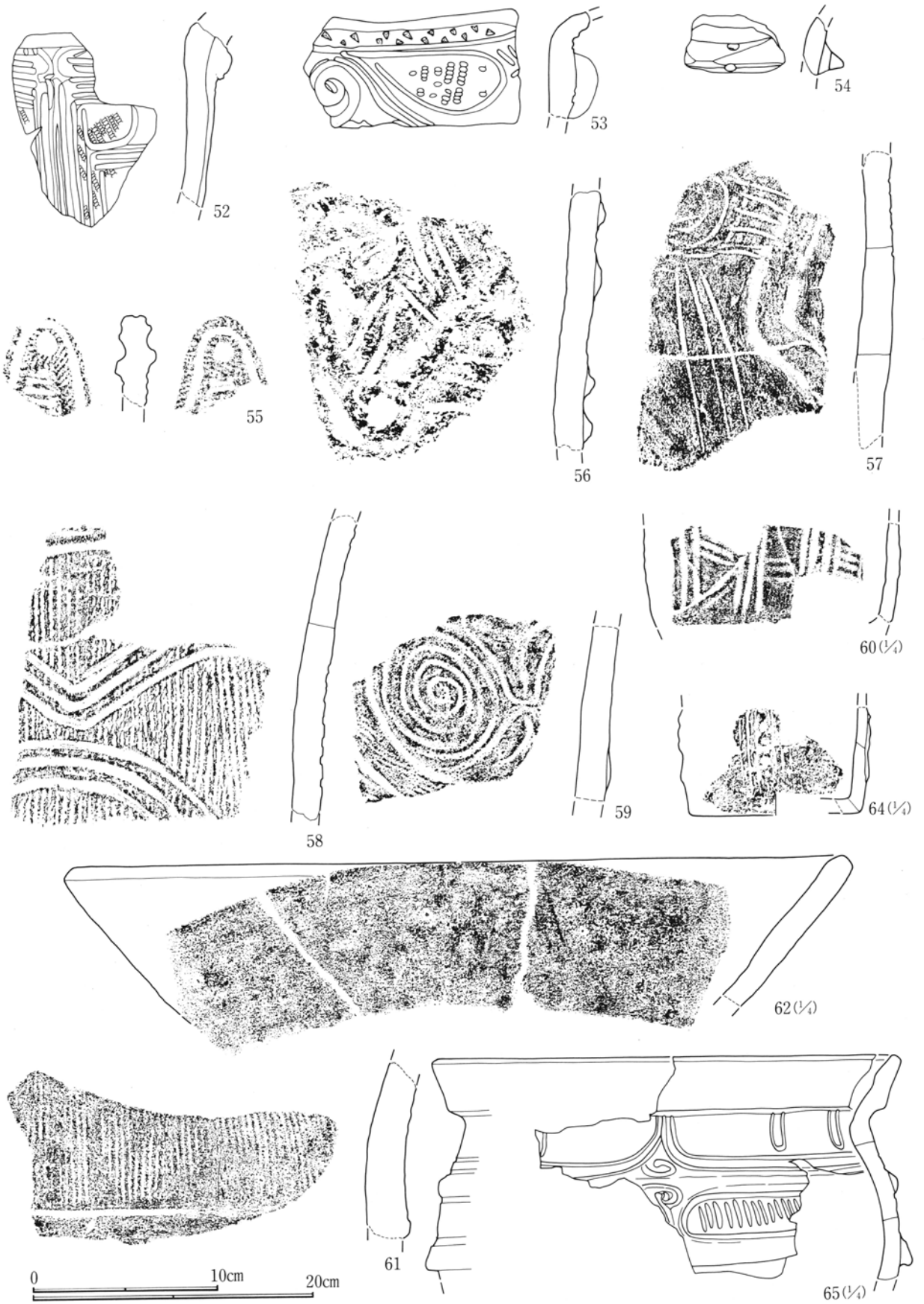
c種 41は無文の深鉢型土器。底部は比較的小さく、緩やかなカーブを持って立ち上がる。口径31.0cm。口縁部には刻みが施される。

d種 43は底部。底径14.6cm。縦位隆帯文。



第468図 遺構外出土縄文土器(4)

第2章 検出された遺構と遺物



第469図 遺構外出土縄文土器(5)



第470図 遺構外出土縄文土器(6)

第2章 検出された遺構と遺物

第3類 (44~66) 勝坂式に比定される一群。

a種 44~47・49~51・53~55・65は隆帯による各種文様を描き、刻み、刺突文等で加飾されたもの。44は口縁部に隆帯による波状、円形文、棒状の垂下文を付す。左右には波状隆帯が充填された区画文を配す。45は渦巻隆帯、横位、縦位の沈線で区画し、刺突文を配す。46は隆帯で画した口縁部文様帯、沈線で縦位、重弧文等を描き三叉文、刺突文を施文する。47は口縁部に刻みを持った隆帯文を付す。縦位撚糸文Lが施文される。口径(22.0cm)。49は把手部分。50は隆帯で曲線文。51は環状の突起部分。53は隆帯により、渦巻文が構成される。三角の刺突文、沈線文が見られる。54は横位の隆帯、円孔が見られる。55は突起部分、縄文施文された隆帯文。65は楕円を基調とした区画帯を隆帯で画し、沈線による渦巻文、縦位沈線文を配す。口径(32.0cm)。

b種 52・56~61・63・66は縄文を地文を基本とし、沈線による文様を主体とするもの。52は縦位隆帯の左右に、沈線による区画文、縄文が施文される。56は隆帯による渦巻文、円形文を描き、間に斜沈線文が付される。57は沈線により円形文、横位、縦位に沈線文。58は撚糸文Lを縦位施文後、沈線による横位波状文。59は縄文を持つ低い隆帯と沈線による渦巻文。60は縦位、横位の沈線文。61は縦位撚糸文、横位の沈線。63は算盤玉状を呈す胴部。底径11.6cm。縦位縄文、2単位の蕨手状沈線文が描かれる。66は口縁部に眼鏡状突起。隆帯が垂下し区画を作り、縄文が充填される。

c種 口縁部に無文帯をもつもの。48は口径27.8cm。頸部に横位沈線が廻る。

d種 無文。62は浅鉢型土器である。口径54.8cm。

e種 底部。64は押圧を持った、縦位隆帯、沈線文。底径12.0cm。

第IV群 中期後半の土器群

第1類 (67~103) 加曾利E式に比定される。

a種 口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成され、区画内に縦位の沈線が充填される一群。74はほぼ完形の深鉢型土器。口径25.2cm、器高35.0cm、底径10.0cm。口縁部には隆帯により、楕円文が構成される。胴部には縦位の条線施文後、弧状文、「Y」字状文を組み合わせた沈線文。75は大形深鉢型土器の口縁部。口径53.0cm。口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。76は口径25.0cm。口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。77は口縁部片。2本単位の隆帯による弧状の区画を作り、やや斜めの沈線が付される。胴部には粗く縦位の沈線文。78は口縁部片。弧状の区画文。79は隆帯による弧状の区画文、結合部が隆起。縦位、斜位の沈線文。80は口縁部片。やや斜めの沈線充填。81は肥厚した渦巻文を伴う。85は口縁部片。隆帯により、渦巻文、楕円文が構成され、胴部には縦位、斜位の沈線文が充填される。86は深鉢型土器。口径31.0cm。隆帯により、楕円文が構成され、胴部に粗い縦位の矢羽状沈線文。90は浅鉢型土器。口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成される。83は小型の深鉢型土器。口径14.0cm。口縁部に横位隆帯が廻り、以下縄文LRが施文される。

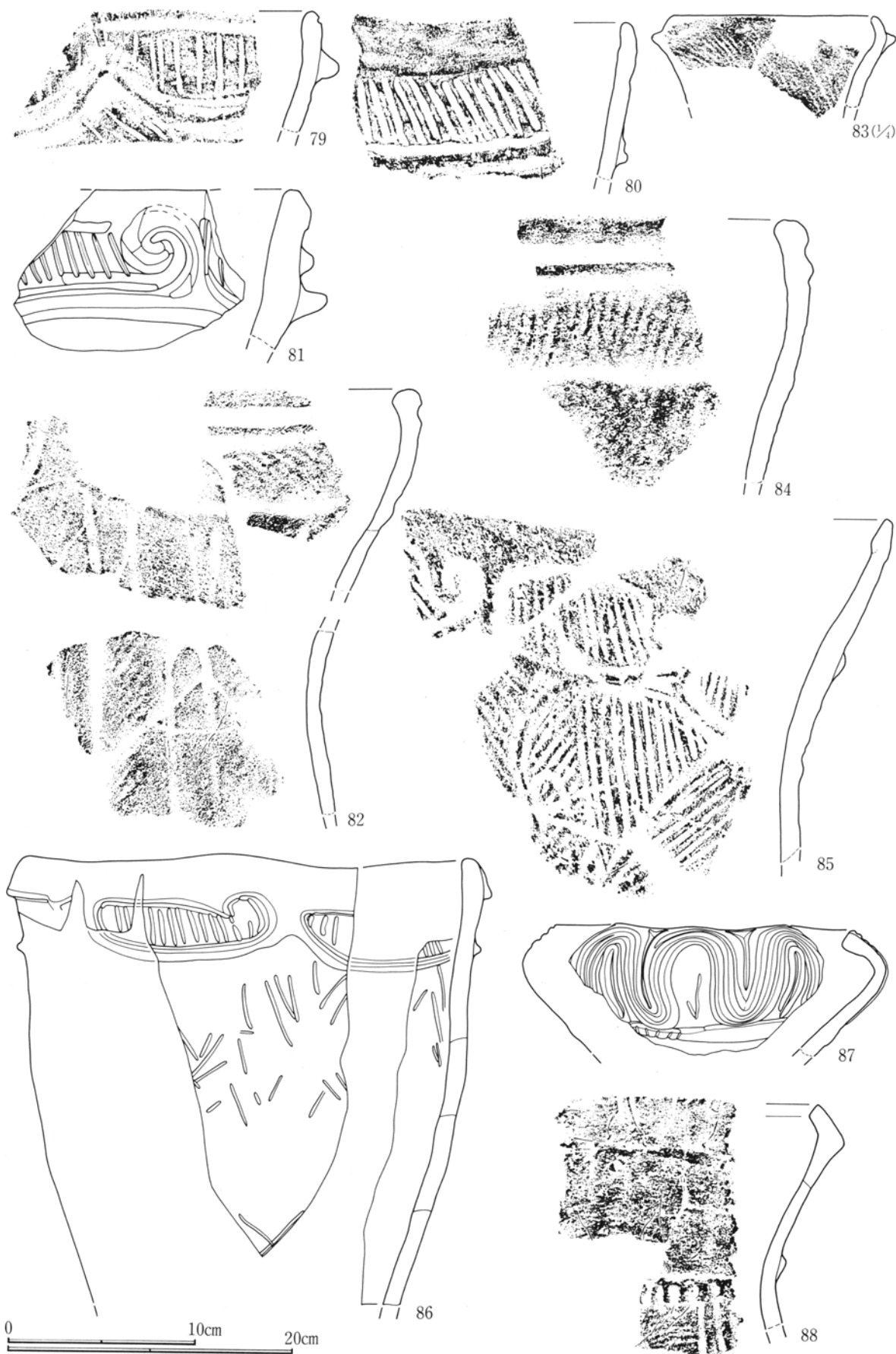
b種 口縁部は隆帯により、渦巻文、楕円文が構成され、区画内に縄文が充填される一群。82・84は口縁部片、口縁部に凹線が廻る。器面がかなり風化している。胴部は縦位沈線が垂下し、沈線間は縄文が磨り消される。

c種 連弧文文様を持つもの。68は口縁部片。口縁部に沿って沈線、縦位撚糸文Lを施文後、3本単位の連弧文。69は胴部片。縄文施文後横位沈線、3本の連弧線文。

d種 隆帯により口縁部に無文帯を画す。67は丸みを持った胴部片。刻みを持つ横位隆帯が廻り、以下縄文



第471図 遺構外出土繩文土器(7)



第472図 遺構外出土縄文土器(8)

第8節 遺構外出土遺物



第473図 遺構外出土繩文土器(9)

第2章 検出された遺構と遺物

施文後隆帯による円形文。70は横位隆帯から沈線が垂下。縄文が施文される。88は刻みを有す横位隆帯から2本の沈線が垂下。

e種 口縁部に隆線による曲線文。87は口径21.0cm。口縁部に集合隆線による曲線文。89は隆帯による楕円文、縦位隆線。91は円形刺突文を持つ隆線文。

f種 縦位沈線が垂下し沈線間は縄文が磨り消される。72は胴部片。縄文不鮮明。93は胴部分、沈線と隆帯が交互に垂下。縄文RLが縦位施文されている。94は縄文LR施文後、縦位ヘアピン状の沈線文。95は縄文RLが施文される。

g種 磨り消し縄文以外の文様をもつもの。71は胴部片。縦位、斜位の平行沈線文。73は縄文施文後2本単位の沈線で曲線文様を描く。92は胴部。全面に刺突文施文後、縦位隆帯による文様を付す。96は胴部片。縦位の沈線文で矢羽状を呈す。

h種 底部。97は底径15.0cm。縄文LR施文後、縦位沈線が垂下し沈線間は縄文が磨り消される。98は円筒状を呈す。底径8.0cm。全面縄文。99は底径9.2cm。縄文施文。100は底径12.2cm。やや開き気味に立ち上がる。101は底径9.2cm。縄文がまばらに見られる。102は底径7.3cm。無文。

i種 その他。103は板状を呈し、両側縁は丸みを持つ。土器の把手状部分かとも思われるが、明確ではない。両端を欠損している。縄文が施文され、3本のはっきりとした沈線が見られる。104は高台状を呈し、側面に円孔。底径7.2cm。

第V群 後期初頭から中葉の土器群

第1類 (105~107) 称名寺式に比定される一群。

105は波状口縁を呈し、刻みを有す垂下隆帯文。沈線により文様を描く。106・107は縦位の沈線文様を描き、106は刺突文を配す。

第2類 (108・110~113) 堀之内式に比定される一群。

a種 口縁部に横位隆帯を持ち、沈線文。108は波状口縁を呈し、横位隆帯を持ち、沈線による文様が描かれる。110は押圧を持つ横位隆帯。

b種 口縁部に隆帯文様を持つもの。111は口縁部に庇状に付された隆帯。口径(26.0cm)。112は円文を伴う隆線文様が配される。

c種 底部。底径5.0cm。高台状を呈し、縦位の沈線文が見られる。

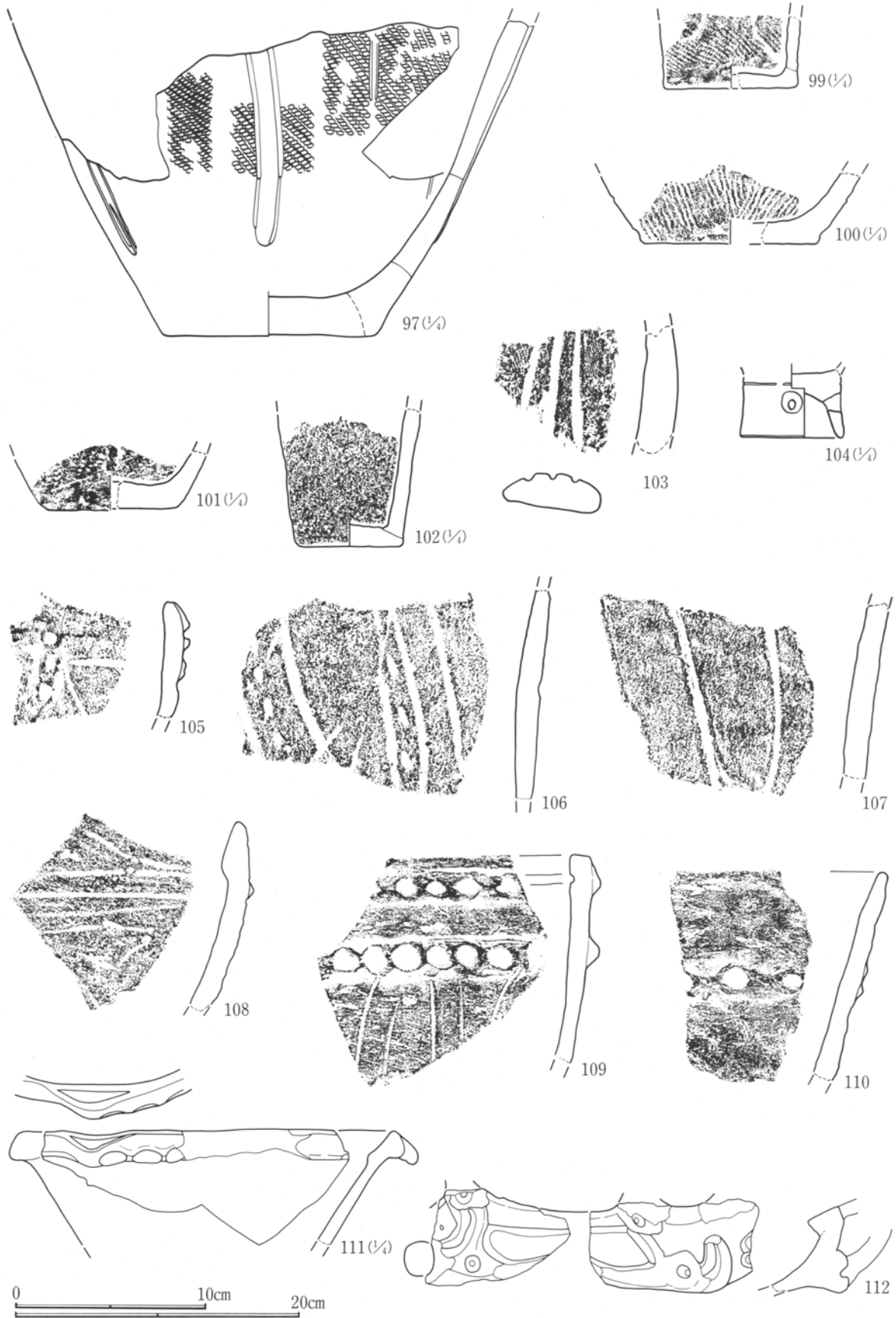
第3類 (109・114~134・137) 加曾利B式に比定される一群。

a種 沈線により弧状文が描かれ、縄文を伴うもの。114は円孔文を中心に弧状沈線が描かれる。115・116は縄文が施文される。

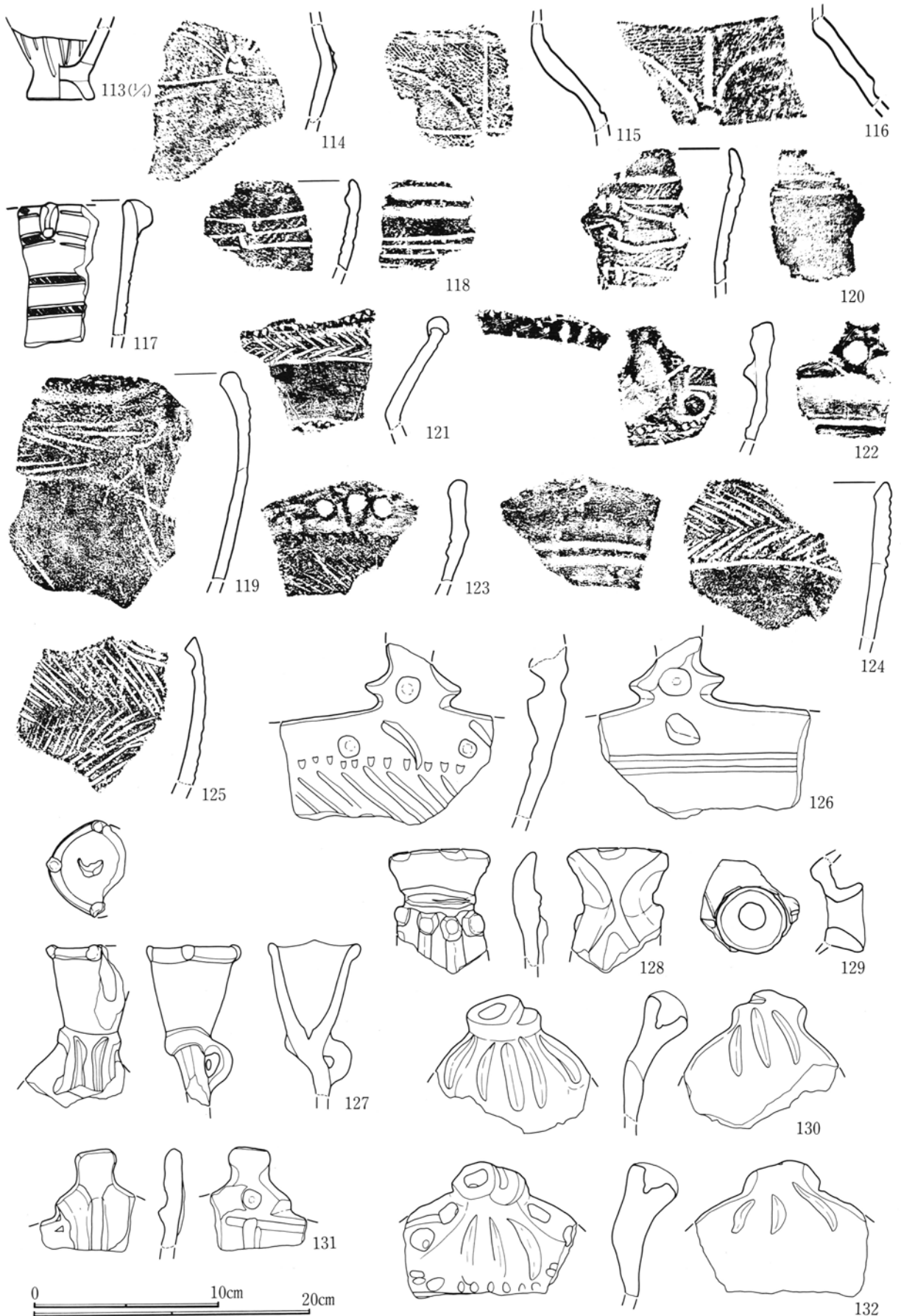
b種 横位の縄文帯が見られるもの。117は口縁部片。口縁部に瘤状の貼付文を有す。沈線で画された横位縄文帯が多段に施される。118は口縁部片。横位縄文帯を区切る縦位沈線が見られる。内面には肥厚した隆線が廻り、下位に横位平行沈線文が見られる。120は口縁部片。お玉杓子文、()状文が見られる。内面に横位平行沈線文。

c種 横位沈線文をもつもの。119は内湾する口縁部片、口縁部やや肥厚。くずれた横位矢羽状の沈線文が描かれる。121は「く」の字に折れた口縁部片。口縁部には矢羽状の沈線を持つ文様帯を有し、以下頸部までは無文帯。口唇部に瘤状の貼付文。123はやや波状を呈す口縁部片。口縁部には横並びに3つの円孔文。以下斜めの沈線文。内面には横位平行沈線。124は口縁部に矢羽状の沈線文帯、口唇部分は内削ぎ状である。125は

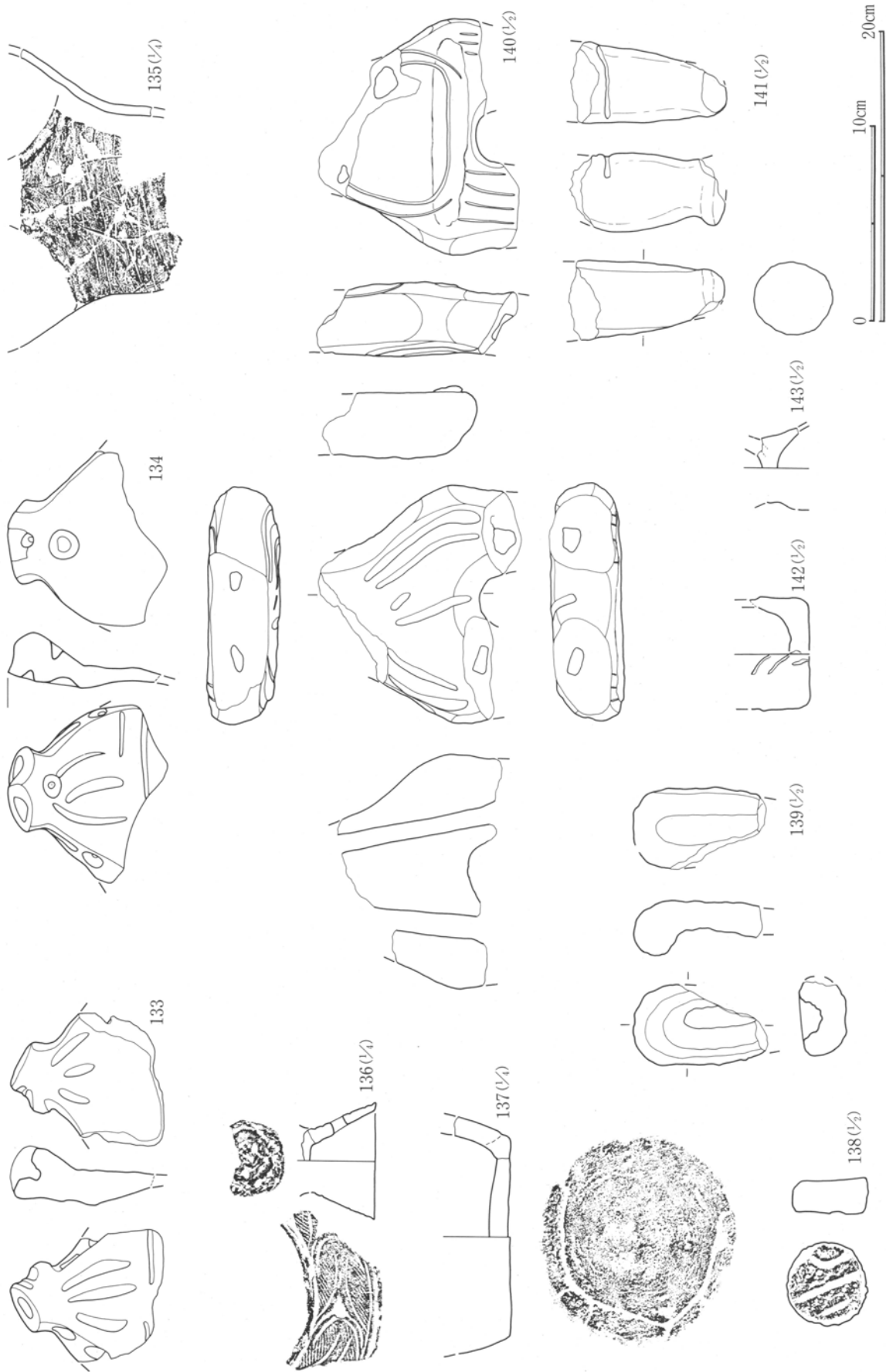
第8節 遺構外出土遺物



第474図 遺構外出土縄文土器(10)



第475図 遺構外出土縄文土器(11)



第476図 遺構外出土縄文土器(12)

第2章 検出された遺構と遺物

口縁部片。やや内湾する。尖り気味の口縁に沿って平行沈線が廻り、以下横位矢羽状の沈線文が配される。また、口縁内面にも凹線が廻る。

d種 口縁部に押圧文を持つ隆帯をもつもの。109は口縁部。押圧を持つ2本の隆帯が廻る。以下胴部には縦位の平行沈線文。口唇部内面に横位沈線が廻される。

e種 口縁部突起部分をまとめた。122は内面に円孔文を持ち、外面は刺突文を持つ隆帯が見られる。126は円形文、刺突文、斜位沈線が見られる。内面にも円孔文、沈線文が見られる。127は漏斗状に突き出た把手部分。縁辺に4つの小瘤が付される。隆帯による環状の突起文が付される。128は先端部分がやや開き、小瘤が付され、隆線が垂下する。129は注口部分。130・132・133は先端部に円孔、外面、内面に縦の短沈線文が付される。131は縦位の隆帯文、内面には円孔文。134は133と同様であるが、内面には円孔が付される。

f種 底部。137は底径13.5cm。無文。

第VI群 曾谷、安行式に比定される。135・136

第1類 135は4単位の波状口縁を呈す。沈線による矢羽状の横位文を施文する。

第2類 136は台付土器の台部片。底径8.0cm。入り組み三叉文内に縄文が充填される。側面に円孔が空けられている。

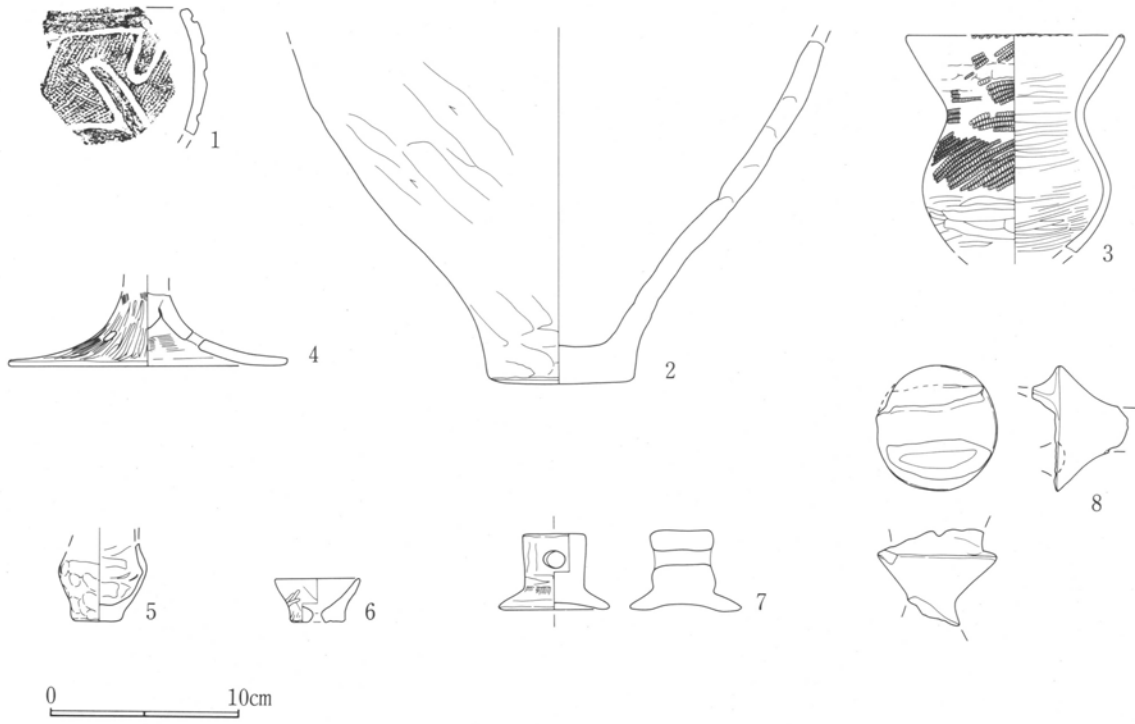
第VII群 土器以外の土製品、およびミニチュア土器をまとめた。

第1類 138は土器片を利用した土製円盤である。径3.0cm、厚さ1.2cm。ほぼ円形に整形されている。縄文地文に沈線文が見られる。

第2類 139は不明土製品。長さ(4.5cm)、幅2.8cm、高さ2.0cm。一端を欠いているために明確な形状は不明である。中央部分が凹んだ楕円形を呈すものと思われる。石皿の模造品か。

第3類 140・141は土偶。140は幅8.0cm、高さ(7.0cm)、厚さ2.5cm。腰部分である。表、裏面には沈線文が描かれる。製作時の穴が胴部から両脚に抜けている。141は足の部分である。径約2.5cm、高さ(5.4cm)。中央部でやや膨らみ、足の部分が表現されている。

第4類 ミニチュア土器。142は深鉢型土器のミニチュアである。底径3.5cm。斜沈線文が見られる。143は台付き土器。無文。

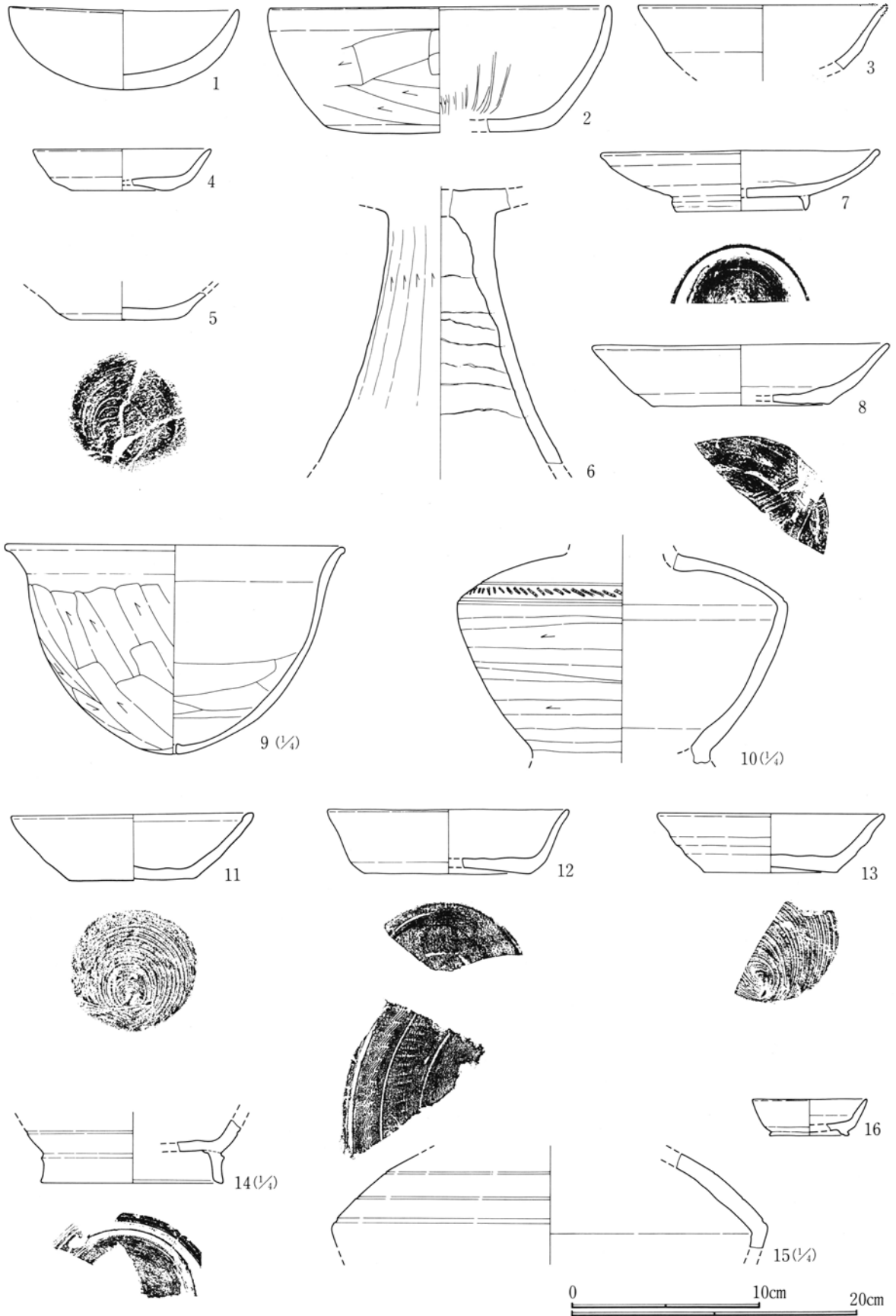


第477図 遺構外出土弥生土器

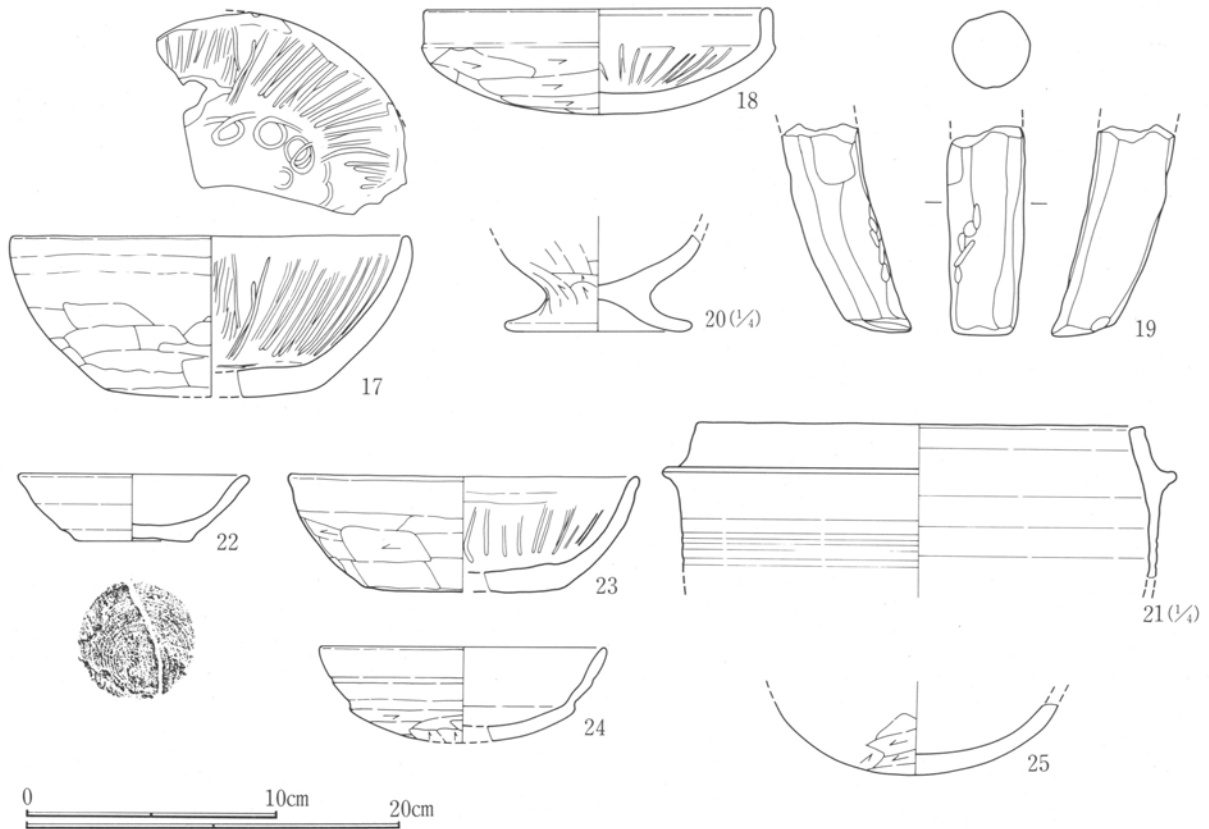
遺構外出土弥生土器観察表

番号	PL	器種	計測値 (mm)			文様の特徴 口(a) 頸(b) 胴(c)	施文具 幅(mm)/本数	整形		胎土	色調	使用痕	遺存	出土位置 備考
			口	高	底・脚			内	外					
1	205	鉢				a 磨消縄文の交互斜線		ミガキ		A	にぶい赤褐色	煤付着	口片	グリット
2		甕			78			剝離	ケズリ	B	にぶい黄橙	底被熱	胴~底	
3	205	小型甕	117			a 縄文押圧 a~c 5斜縄	LR	ミガキ	ミガキ	C	橙		口~胴1/3	グリット
4	205	高杯			149	脚穿孔3ヶ所		ハケメ	ミガキ	C	橙		脚2/3	
5	205	ミニチュア甕			27			ナデ	ナデ	A	にぶい橙		口欠	
6		ミニ有孔鉢 (46)		23 (30)					ミガキ	A	にぶい橙		破片	
7	205	(蓋)	上 34		下 60			ナデ	ナデ	E	浅黄橙			つまみか
8	205	(器台)						ミガキ ナデ		C	橙			(脚蓋つまみ)?

第2章 検出された遺構と遺物



第478図 遺構外出土古墳時代以降土器(1)



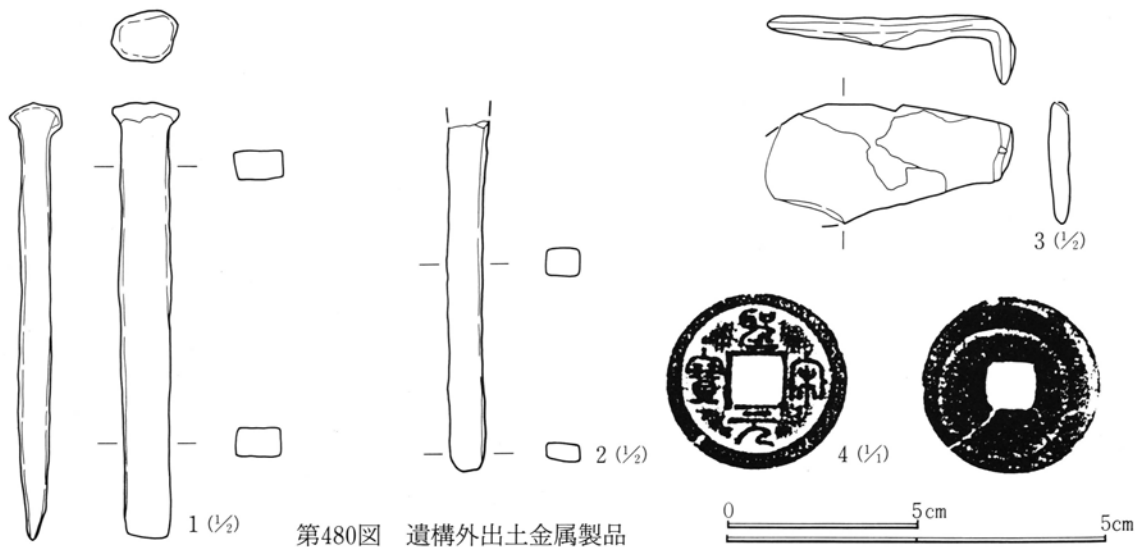
第479図 遺構外出土古墳時代以降土器(2)

古墳時代以降遺構外出土土器観察表

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
1	土師器 坏	D c 48	12.1	4.1	小砂粒を含む	黄橙	良好	外 磨滅のため不明 内 口縁部~体部横撫で	ほぼ完形
2	土師器 坏	D c 44	(17.6) (12.0)	6.5	小砂粒を含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 体部横撫で後一部縦篋磨き	1/4
3	土師器 坏	D e 51			小砂粒を含む	橙	良好	外 磨滅のため不明 内 横撫で	
4	土師器 坏	D d 48	(9.5) (5.3)	2.1	小砂粒を含む	橙	良好	内外面磨滅のため不明	1/4
5	土師器 坏	D d 48 覆土		5.5	小砂粒を含む	橙	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り 内面篋磨き	内黒
6	土師器 高坏	D g 47			砂粒を含む	橙	普通	外 縦篋撫で 内 撫で (巻き上げ痕明瞭)	
7	灰釉陶器 皿	D g 45	(14.7) (6.8)	3.1	精製	灰白	良好	ロクロ整形 内面灰釉 (底部除く)	1/4
8	須恵器 坏	D i 46	(15.6) (9.3)	3.1	小砂粒を含む	オリ ブ黒	普通	ロクロ整形 底面回転篋切り	1/4
9	土師器 甕	D i 46	23.6 孔径	14.5 1.6	砂粒を含む	橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部~体部横撫で	1/2
10	須恵器 瓶	D i 52	胴部最大径	(23.1)	精製	灰	普通	ロクロ整形	
11	須恵器 坏	4溝覆土	(12.5)	3.4 6.6	砂粒を含む	灰白	普通	ロクロ整形	1/3 底部に黒斑
12	須恵器 坏	5溝覆土	(12.6) (8.8)	3.3	精製	暗灰	良好	ロクロ整形 底面回転篋切り	1/4
13	須恵器 坏	5溝覆土	(11.9)	3.0 (7.0)	微砂粒を含む	灰白	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り	1/4

第2章 検出された遺構と遺物

番号	器種 器形	出土位置	口径 底径	器高 (cm)	胎土	色調	焼成	整成形の特徴	備考
14	須恵器 瓶	5溝覆土		(12.7)	精製	灰	良好	ロクロ整形	
15	須恵器 瓶	5溝覆土	胴部最大径	(30.4)	精製	灰	良好	ロクロ整形	外面に灰付着
16	須恵器 坏	5溝覆土	(6.0)	1.8 (4.2)	精製	灰	良好	ロクロ整形	1/4
17	土師器 坏	D c 44	(15.8)	6.4	小石・砂粒 を含む	橙	良好	外 口縁部横撫で 体部篋削り	1/3
18	土師器 坏	5溝覆土	(13.8)	(4.1)	砂粒を含む	明赤褐	普通	外 口縁部横撫で 内 横撫で後暗文	1/3 底部に黒斑
19	土師器 脚付土器	5溝覆土		(8.2)	砂粒を含む	明赤褐	普通	手づくね	
20	土師器 台付甕	D b 48		10.0	砂粒を含む	鈍い黄 橙	普通	外 台端部横撫で 体部篋削り 内 横撫で後暗文	
21	須恵器 羽釜	不明	(24.0)		小砂粒を含む	浅黄	普通	ロクロ整形	
22	土師器 坏	D b 51	9.3	2.6 4.6	小砂粒を含む	鈍い黄 橙	普通	ロクロ整形 底面回転糸切り	3/4
23	土師器 坏	D d 51	(13.9)	4.6 (8.0)	砂粒を含む	鈍い橙	普通	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 横撫で後暗文	1/4
24	土師器 坏	D b 54	(11.4)	(3.8)	小砂粒を含む	灰黄褐	不良	外 口縁部横撫で 体部篋削り 内 口縁部～体部横撫で	1/4
25	土師器 甕	Df55・56			砂粒を含む	灰黄褐	普通	外 体部刷毛目痕 内 横撫で	

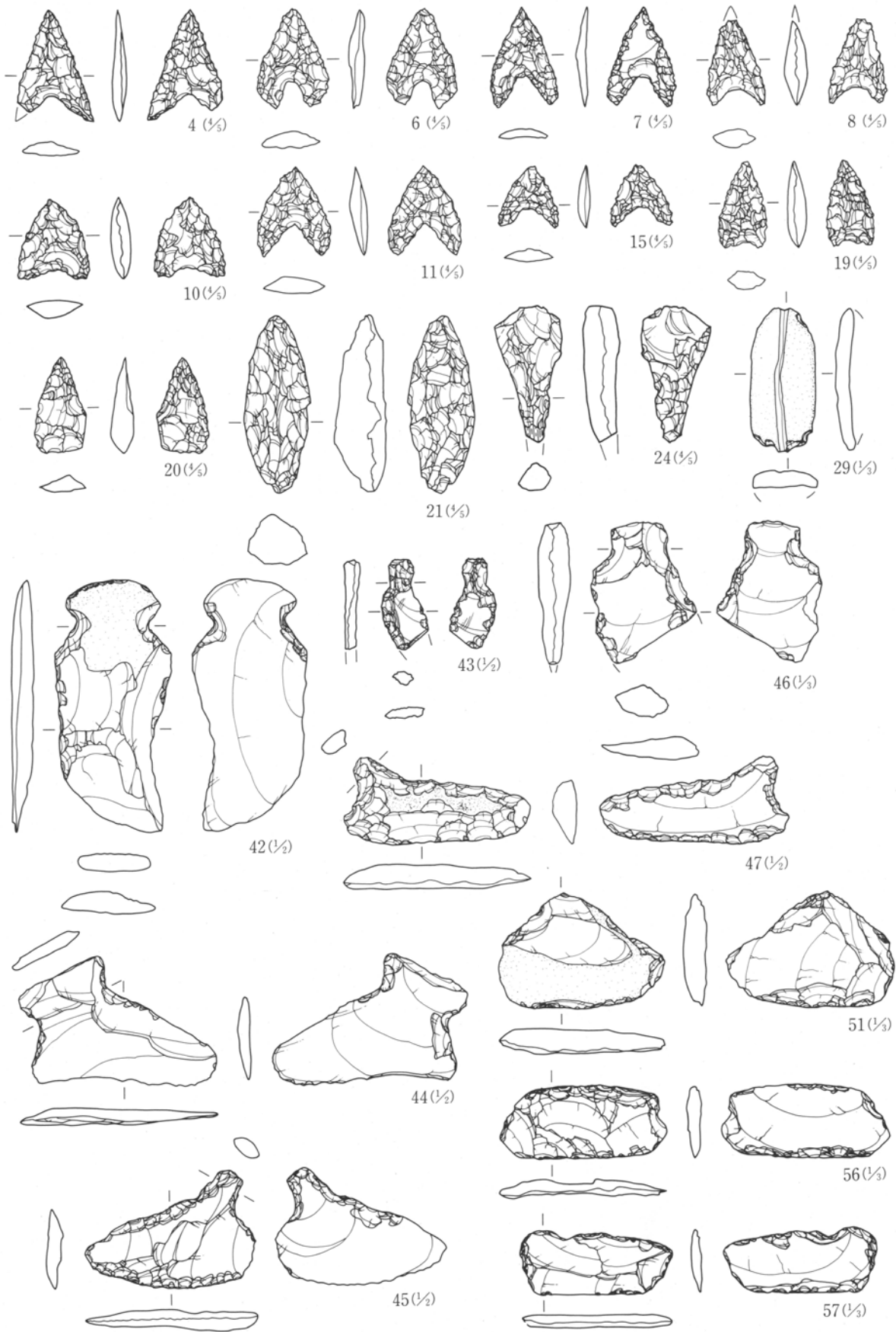


第480図 遺構外出土金属製品

遺構に伴わないで出土した金属類には、第480図に図示した角釘（1・2）、鎌（3）、古銭（4）の他に鉄滓がある。鉄滓については、写真（PL216）による報告である。

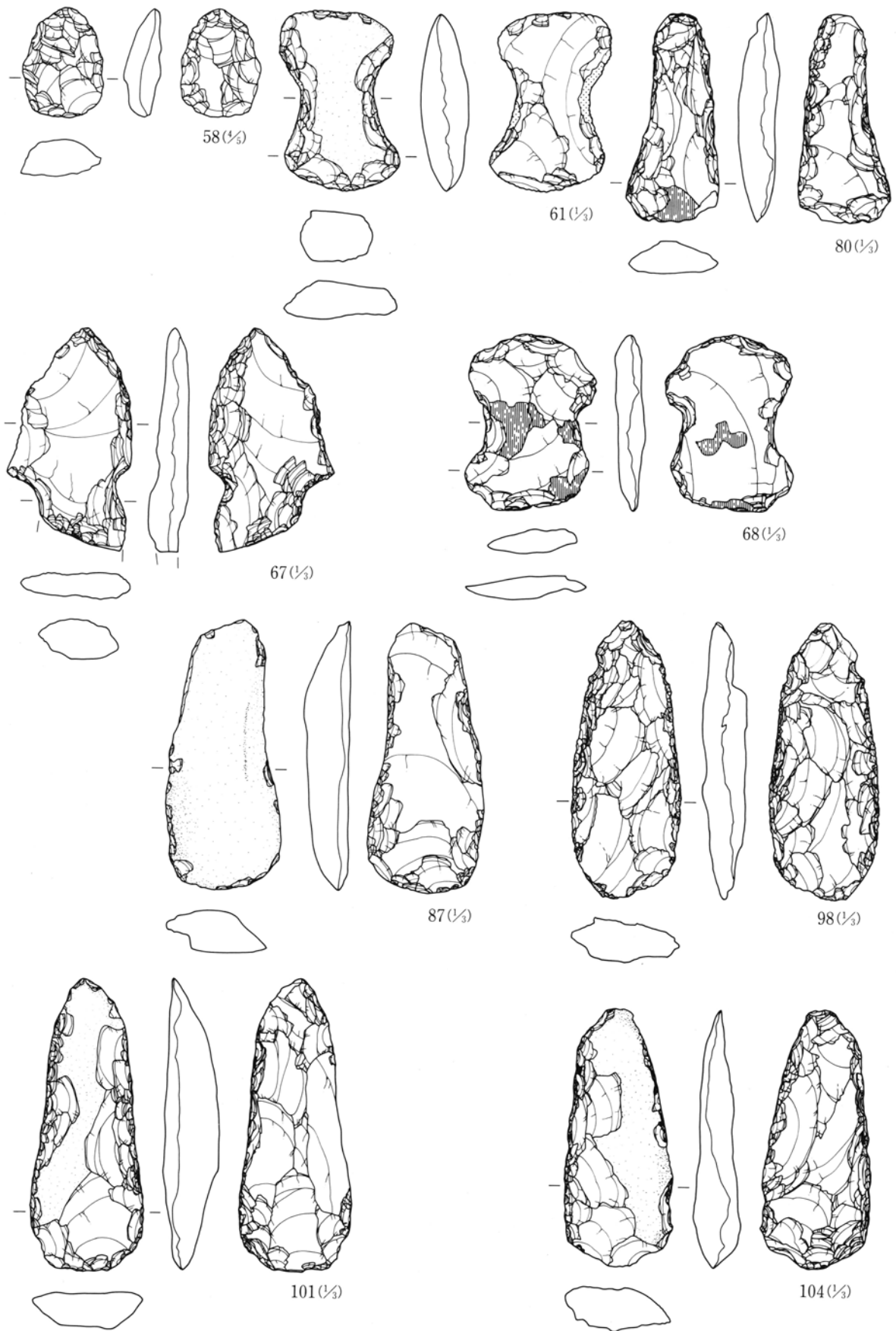
- 1 角釘 鉄製で長さ11.4cm、完形である。25号住居跡（弥生後期）覆土上層より出土しているが、25号住居跡埋没後になんらかの遺構が存在した可能性がある。
- 2 角釘 鉄製。傘部分および先端を欠損している。60号住居跡（弥生後期）覆土上層より出土している。
- 3 鎌 鉄製。ごく一部の残存である。Df24グリッドより出土している。
- 4 銅銭 いわゆる私鑄銭である。聖栄元寶。

鉄滓 PL216の鉄滓1はDa56、2は5号溝上層、3はDh50、4はDg45、5はDa52からの出土である。これらの鉄滓はすべて単独で、調査区の全域にわたって出土している。

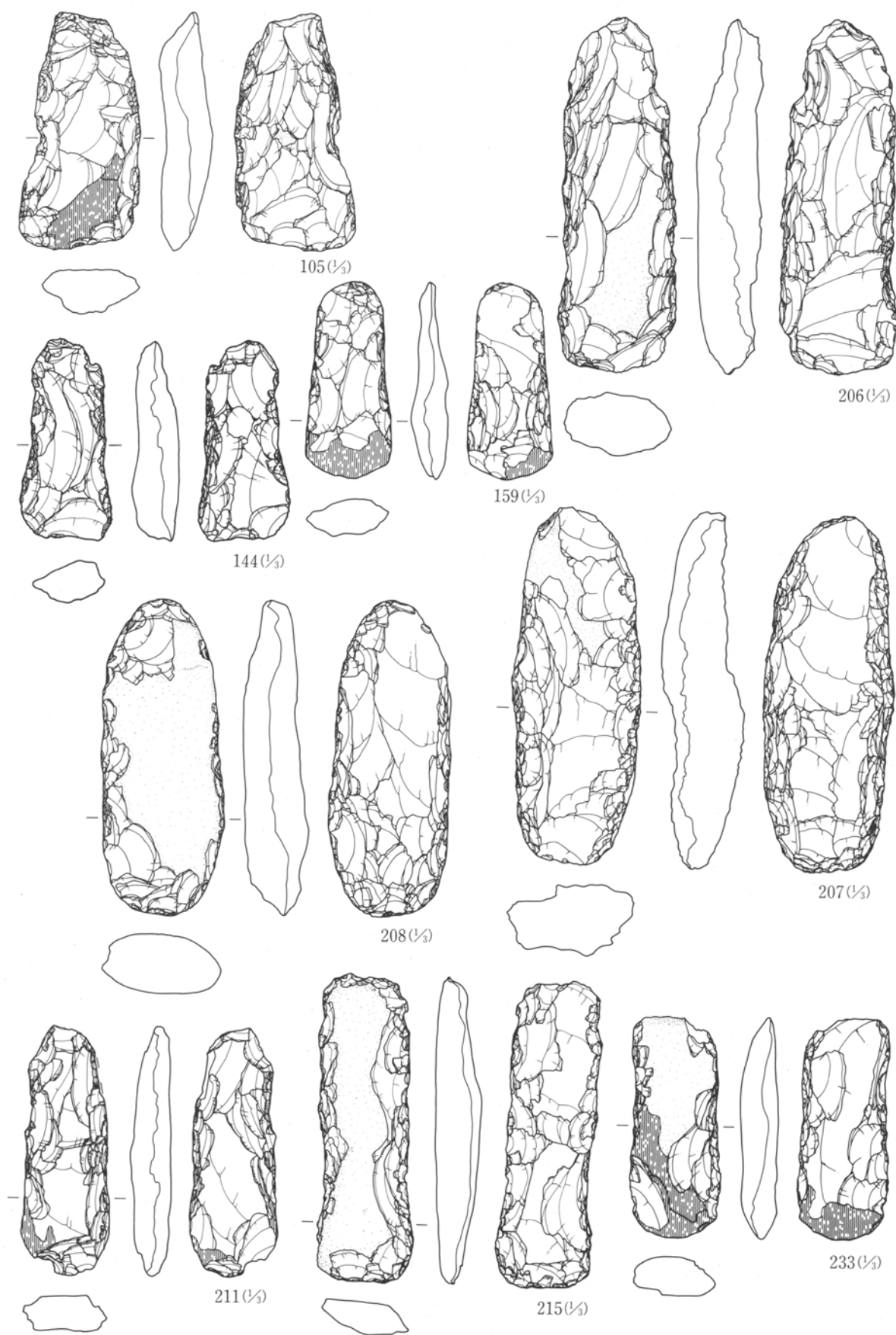


第481図 遺構外出土石器(1)

第2章 検出された遺構と遺物

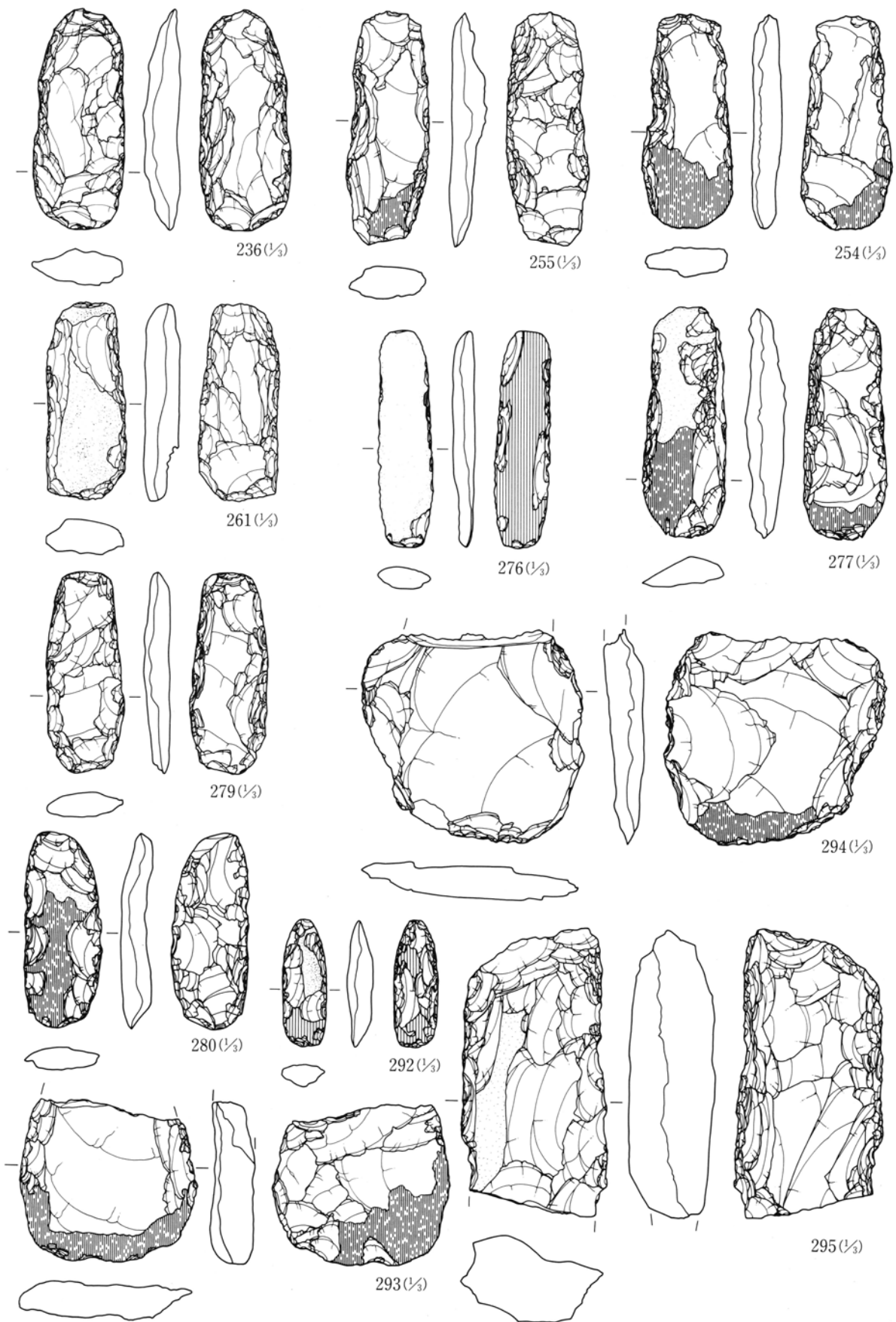


第482図 遺構外出土石器(2)

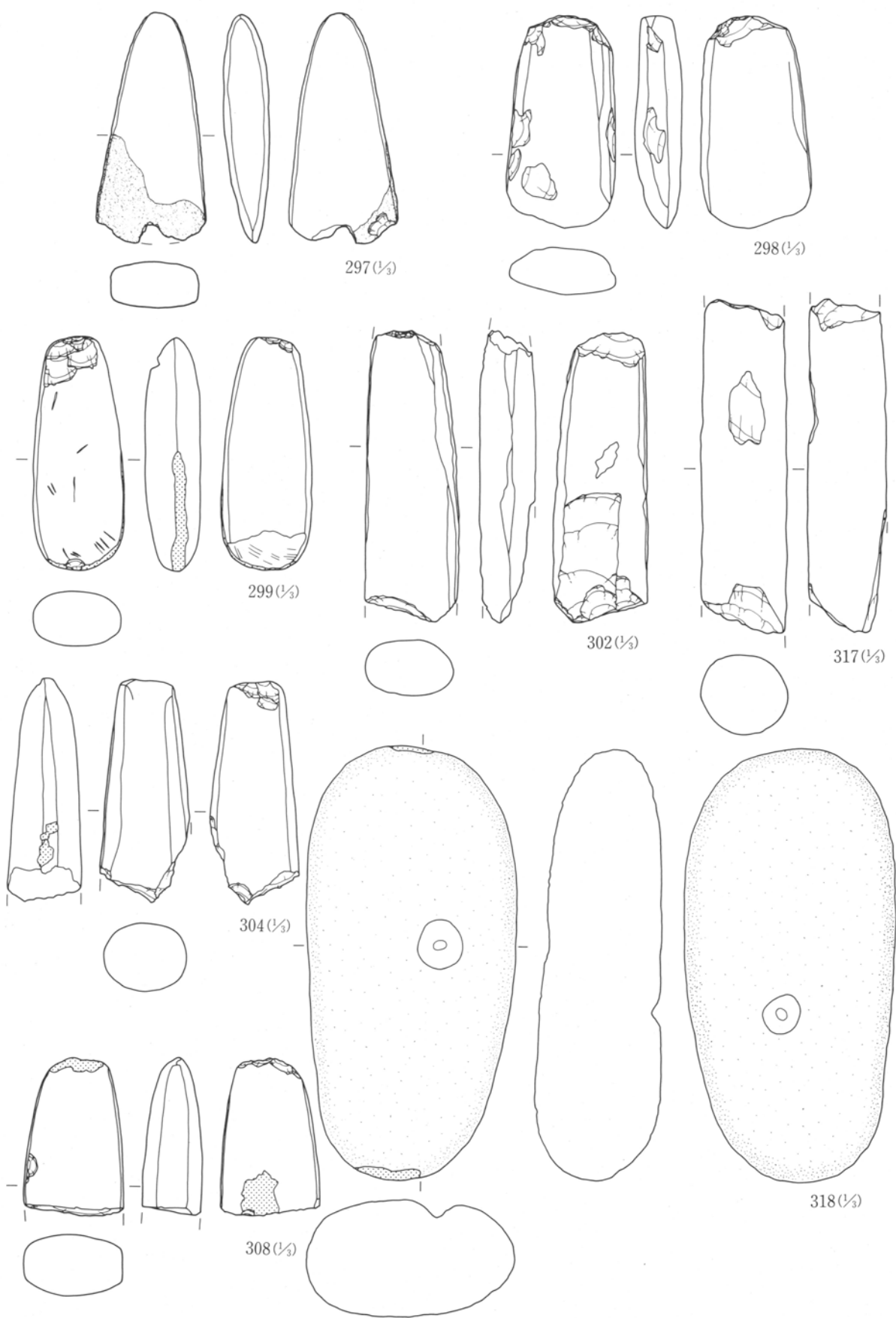


第483図 遺構外出土石器(3)

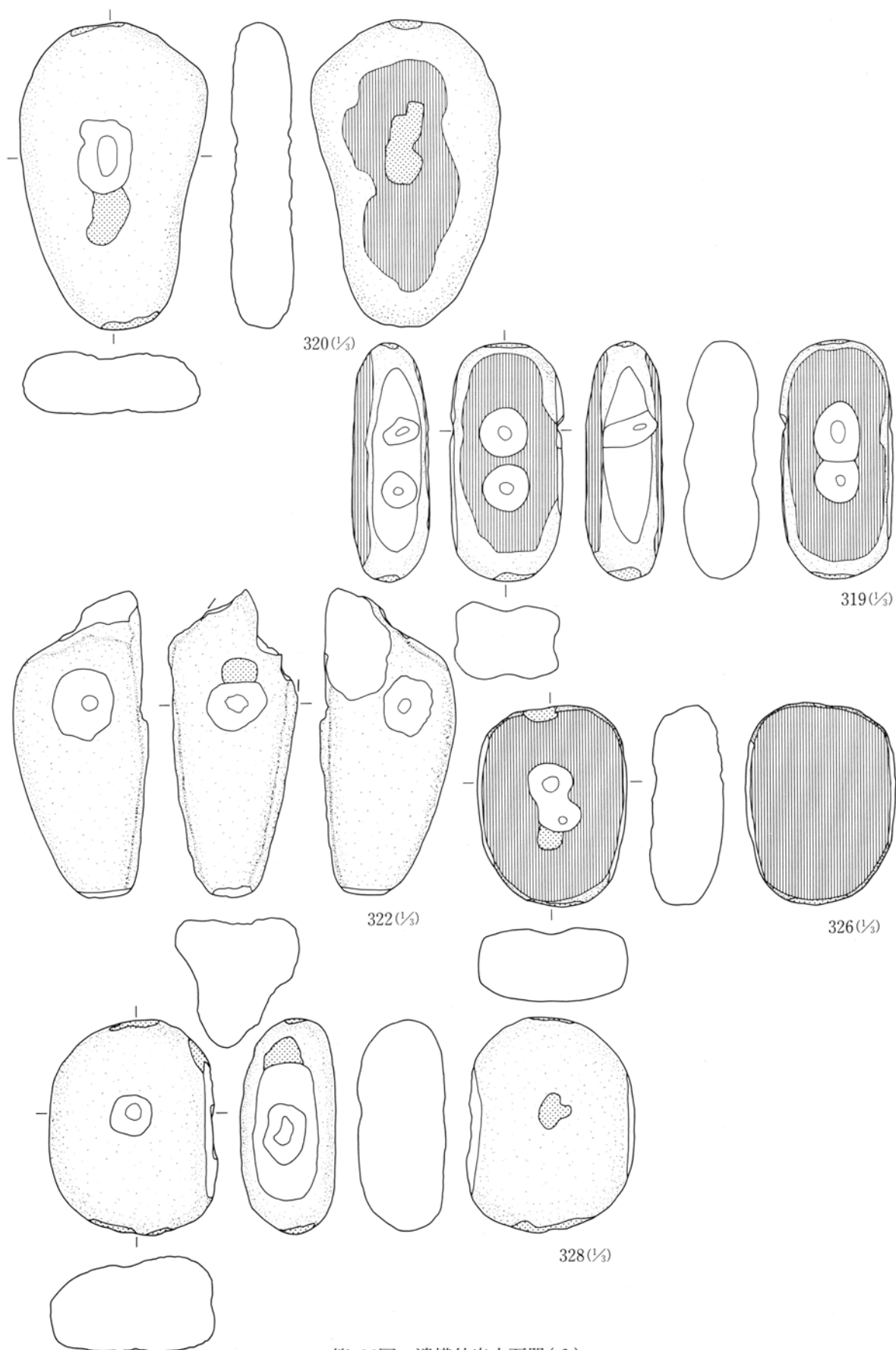
第2章 検出された遺構と遺物



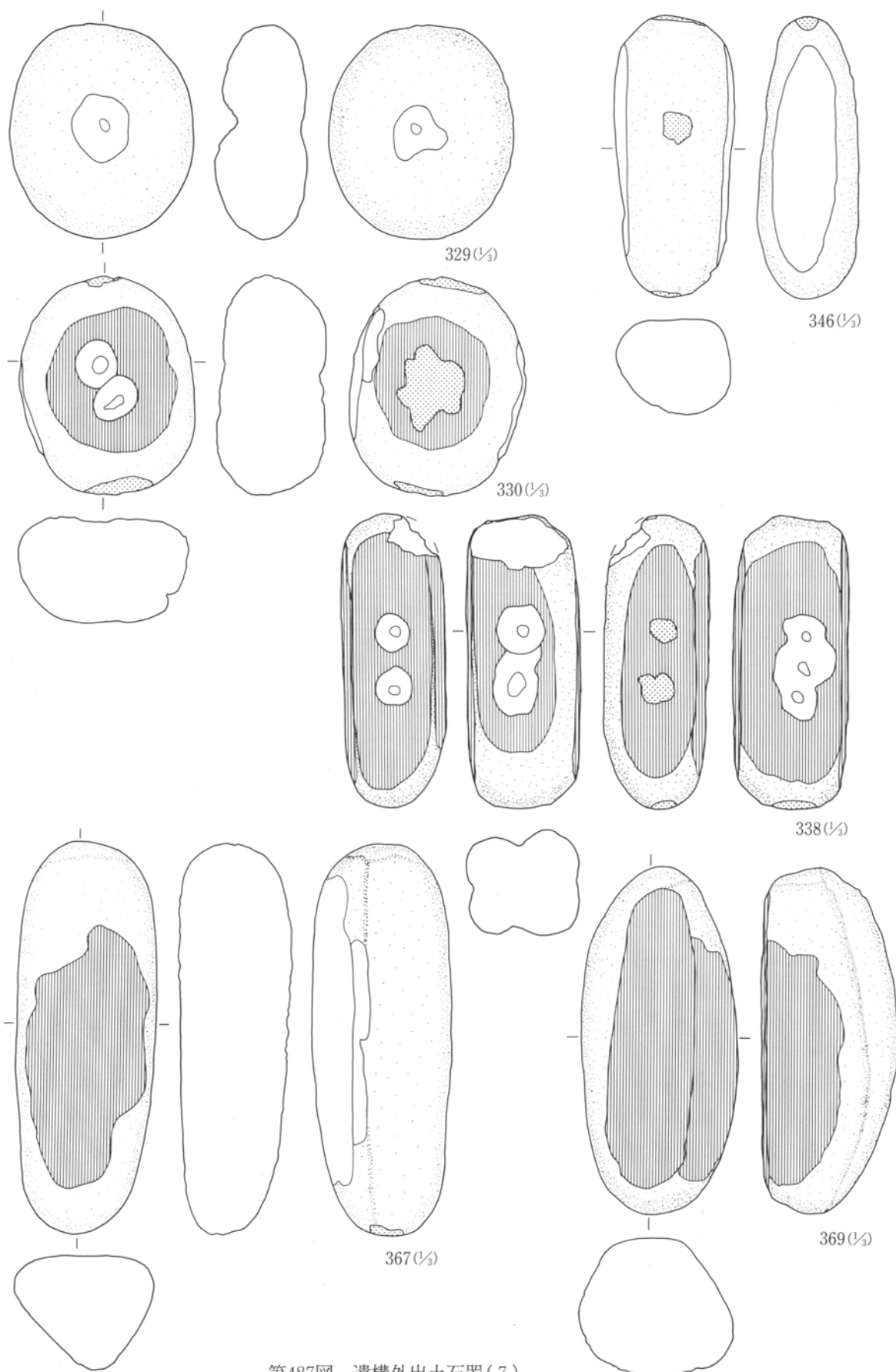
第484図 遺構外出土石器(4)



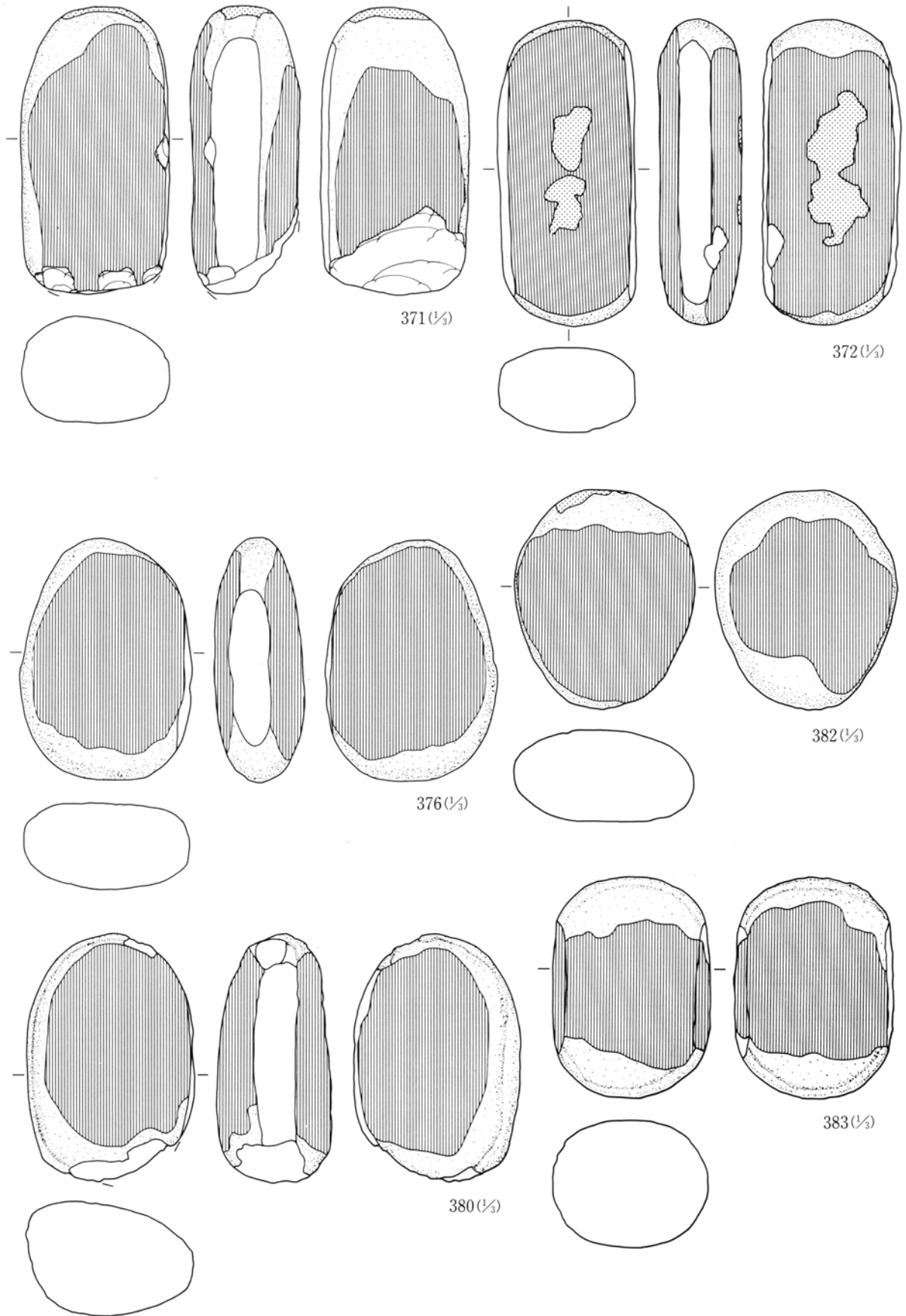
第485図 遺構外出土石器(5)



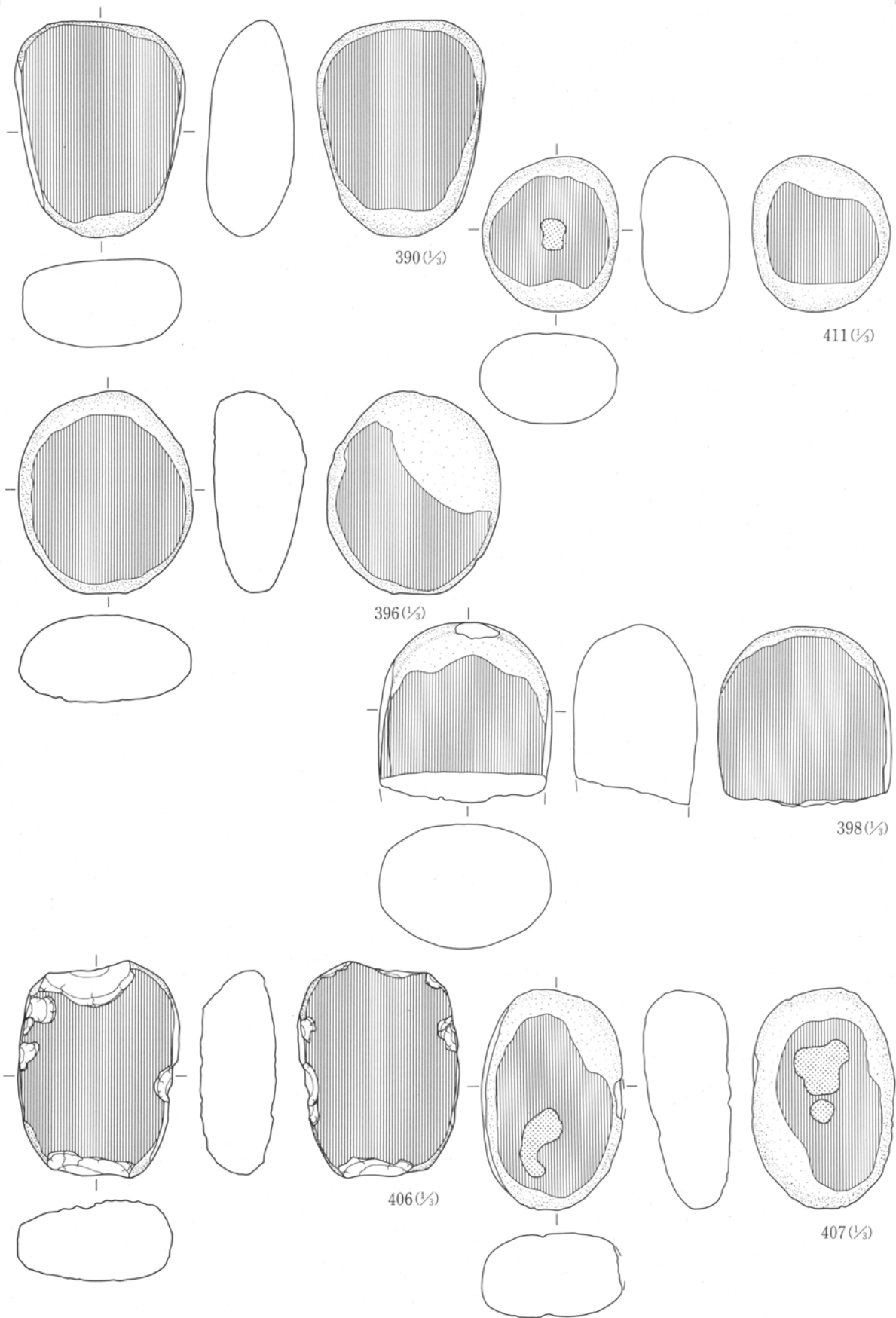
第486図 遺構外出土石器(6)



第487図 遺構外出土石器(7)

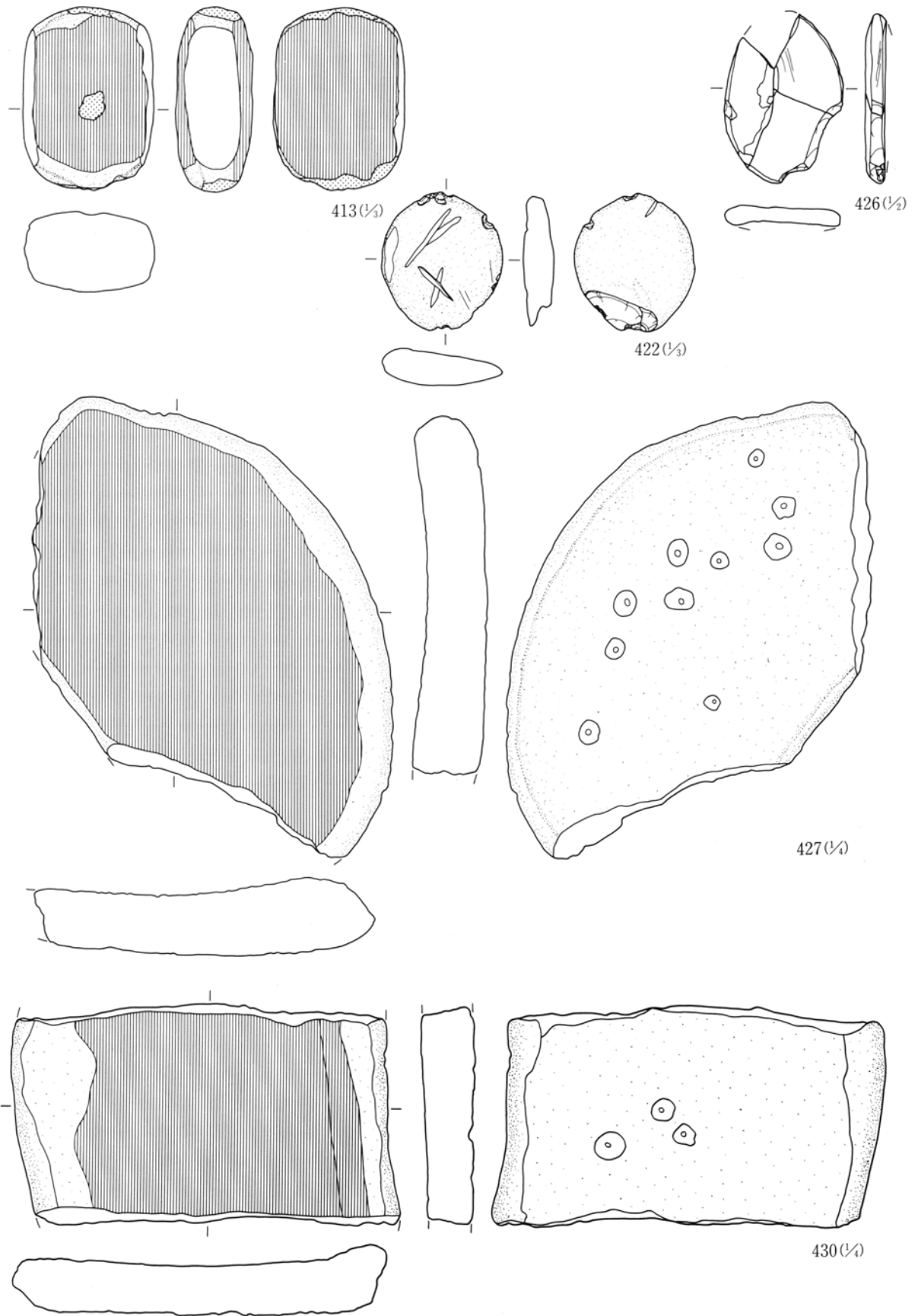


第488図 遺構外出土石器(8)

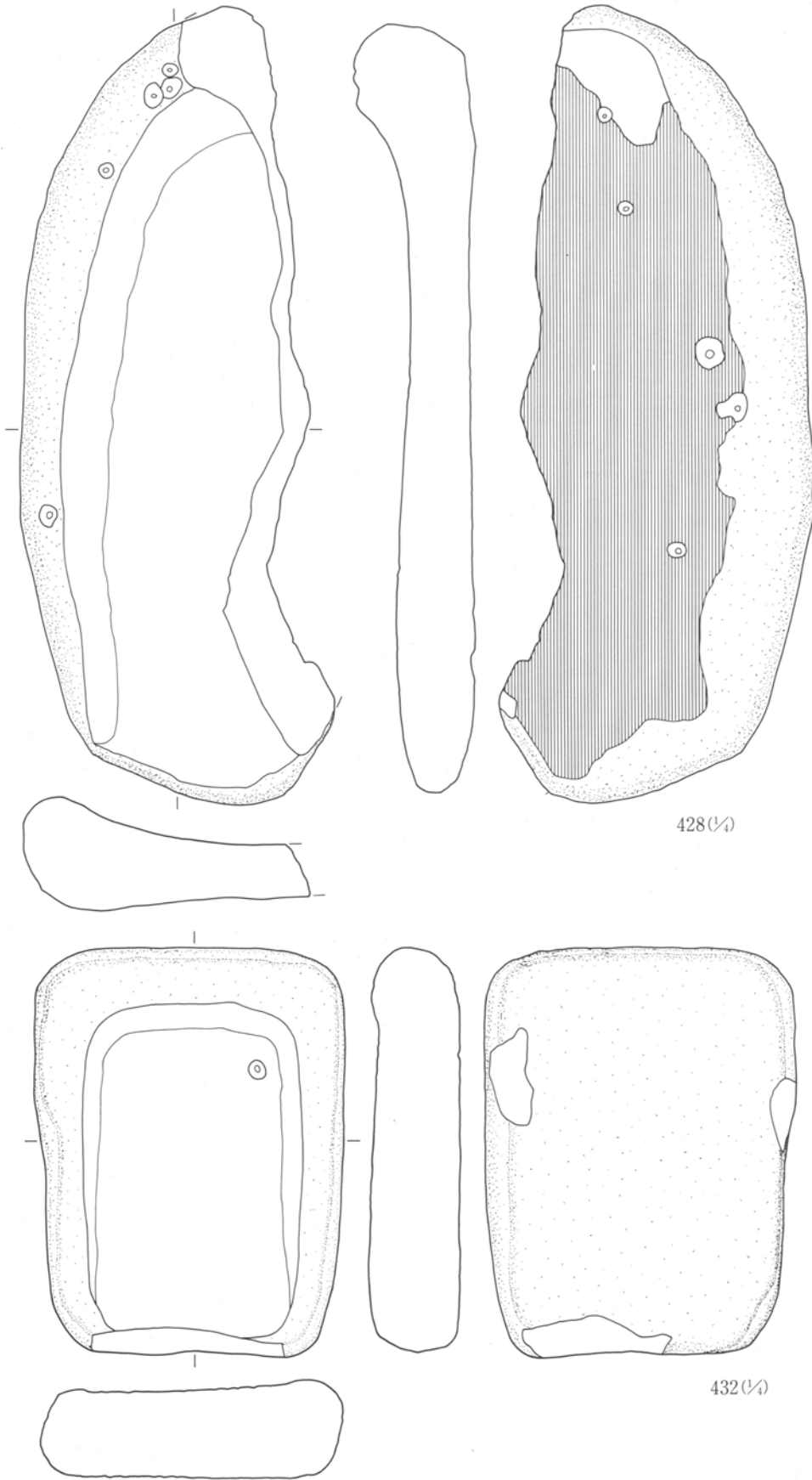


第489図 遺構外出土石器(9)

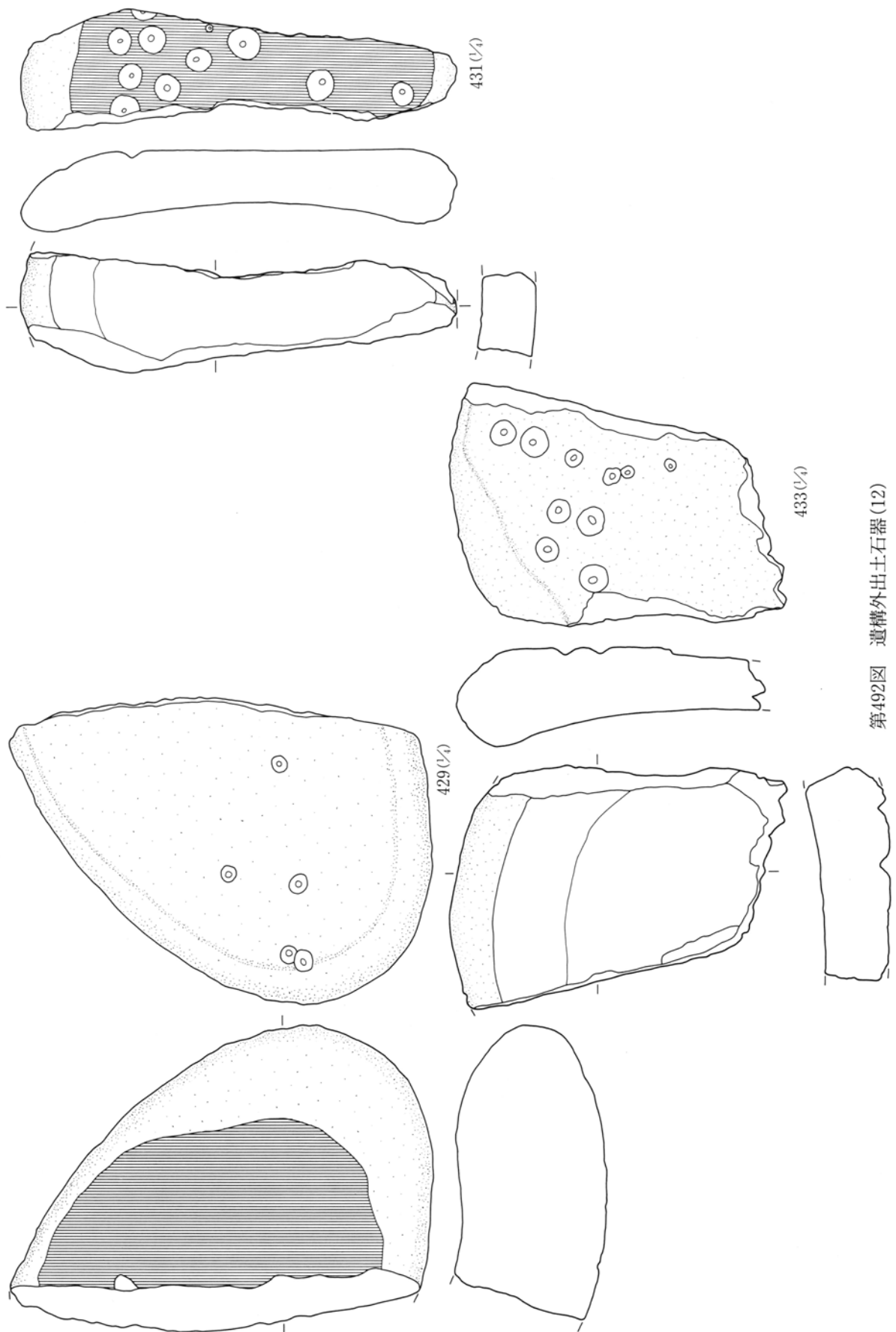
第2章 検出された遺構と遺物



第490図 遺構外出土石器(10)



第491図 遺構外出土石器(11)

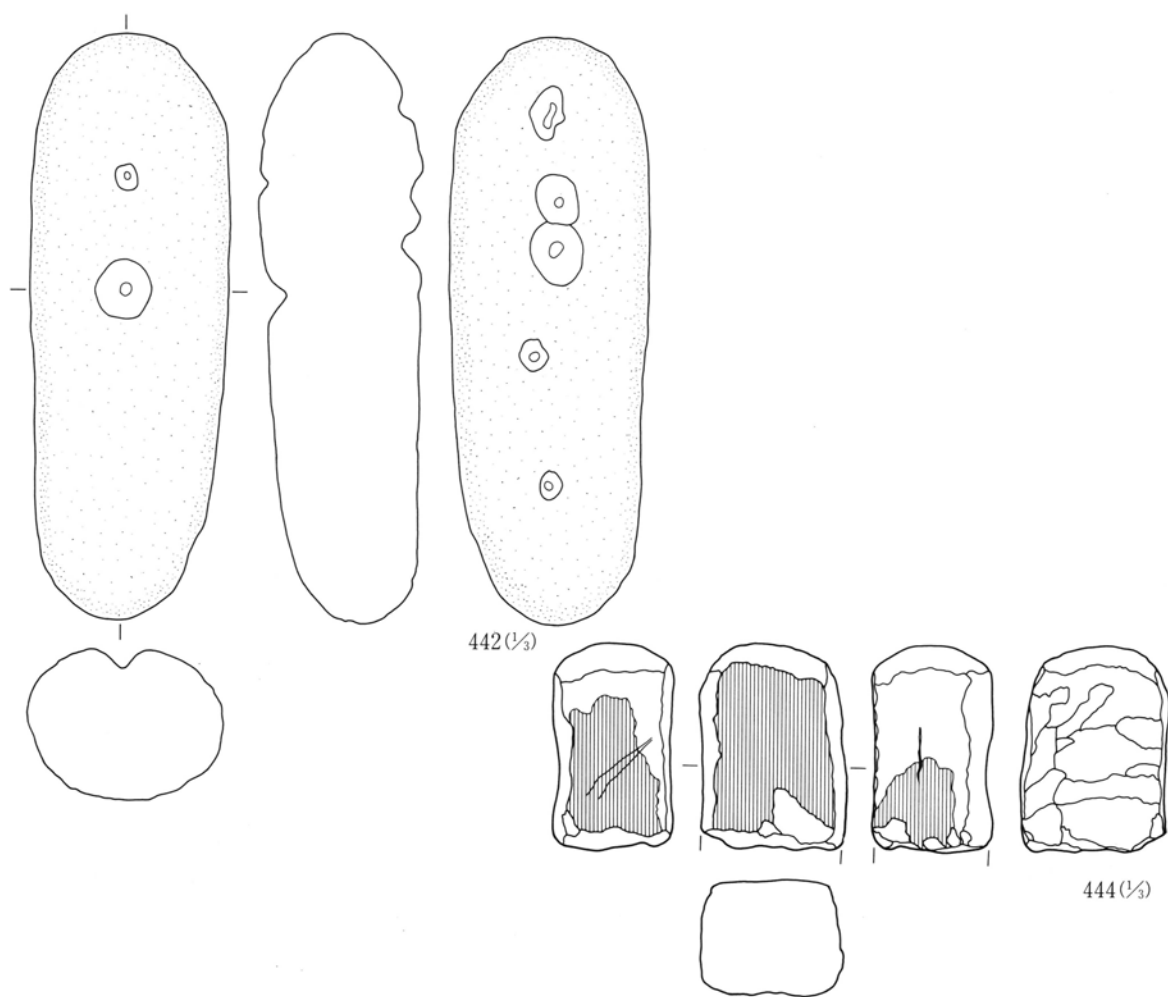


第492図 遺構外出土石器(12)



第493図 遺構外出土石器(13)

第2章 検出された遺構と遺物



第494図 遺構外出土石器(14)

遺構外出土石器観察表

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
				長さ	幅	厚さ	重量				
1	石鏃	36住	完形	2.5	1.8	0.3	1.2	硬泥	凹基無茎鏃。両側下部に屈曲。		292
2	石鏃	81住	一部欠	2.3	1.8	0.4	1.2	黒曜	凹基無茎鏃。左脚欠損。		292
3	石鏃	5溝	一部欠	2.5	1.6	0.5	1.5	黒曜	凹基無茎鏃。先端・右脚欠損。		292
4	石鏃	表採	一部欠	2.5	1.7	0.3	0.8	チャ	凹基無茎鏃。左脚欠損。	481	292
5	石鏃	Dg-45G	完形	2.4	1.5	0.4	0.9	黒曜	凹基無茎鏃。左側の調整粗く鋸歯状。		292
6	石鏃	De-44G	完形	2.2	1.5	0.3	1.1	黒曜	凹基無茎鏃。	481	292
7	石鏃	Df-49G	完形	2.1	1.5	0.2	0.4	黒曜	凹基無茎鏃。	481	292
8	石鏃	Df-42G	一部欠	1.9	1.3	0.5	0.8	チャ	凹基無茎鏃。先端欠損。	481	292
9	石鏃	23住	一部欠	1.8	1.7	0.2	0.5	黒曜	凹基無茎鏃。先端欠損。		292
10	石鏃	De-44G	完形	1.8	1.5	0.4	1.0	黒曜	凹基無茎鏃。	481	292
11	石鏃	Df-44G	完形	2.0	1.6	0.2	0.6	黒曜	凹基無茎鏃。	481	292
12	石鏃	Dg-43G	ほぼ完	2.1	1.5	0.3	1.0	黒曜	凹基無茎鏃。先端わずかに欠損。		292
13	石鏃	8住	完形	1.4	1.4	0.2	0.3	黒曜	凹基無茎鏃。両側上半の稜線磨耗。		292
14	石鏃	Dj-50G	完形	1.5	1.3	0.2	0.5	黒曜	凹基無茎鏃。器表面やや磨耗。		292
15	石鏃	Df-52G	完形	1.4	1.4	0.3	0.3	黒曜	凹基無茎鏃。	481	292
16	石鏃	Df-45G	一部欠	2.3	1.5	0.4	0.8	黒曜	凹基無茎鏃。右脚欠損。		292
17	石鏃	Dh-48G	完形	1.8	1.4	0.5	0.8	珪頁	凹基無茎鏃。		292
18	石鏃	Dd-48G	完形	1.5	1.4	0.2	0.5	黒曜	凹基無茎鏃。表裏に素材面残す。		292

第8節 遺構外出土遺物

No	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
				長さ	幅	厚さ	重量				
19	石鏃	4溝	完形	2.0	1.0	0.4	0.7	黒曜	凹基無茎鏃。	481	292
20	石鏃	De-43G	完形	2.1	1.2	0.4	0.8	黒曜	平基無茎鏃。	481	292
21	尖頭	Dd-42G	完形	3.9	1.4	1.1	5.8	黒曜	両面全面を調整。断面三角形状。	481	292
22	石鏃	Df-44G	一部欠	2.5	1.7	0.9	2.6	黒曜	両側に調整加え細い刃部作出。先端磨耗。		292
23	石鏃	Dg-45G	1/2	2.0	1.3	0.6	1.2	黒曜	両側の主に表面に調整。刃部断面三角形。上部欠損。		292
24	石鏃	5溝	一部欠	2.9	1.5	0.8	2.5	黒曜	刃部両面に調整。先端欠損。刃部先端表面に磨耗。	481	292
25	石鏃	Df-45G	完形	3.2	1.1	0.7	1.4	黒曜	両側背面・裏面右側に調整。断面三角形。		292
26	石鏃	23住	ほぼ完	2.5	0.7	0.5	1.0	黒曜	表面右側・裏面両側に調整。刃部断面菱形。		292
27	石鏃	71住	完形	2.5	1.3	0.5	1.7	黒曜	両側の主に背面に調整。裏面下半にも調整。		292
28	石鏃	Dh-55G	完形	1.8	0.6	0.5	0.3	黒曜	両面ほぼ全周に調整。		292
29	石鏃	82住	1/2	7.4	3.5	1.1	37.1	黒片	盤状の円鏃。表面に浅い溝1状。裏面欠損。	481	292
30	楔	86住	完形	1.7	1.1	0.7	1.7	黒曜	両端に剥離痕。		292
31	楔	表採	完形	2.9	1.6	0.8	3.1	黒曜	両端に剥離痕。		292
32	楔	36住	完形	2.4	1.2	0.6	1.9	黒曜	両端に剥離痕。		292
33	楔	63住	完形	2.4	1.2	0.6	2.7	黒曜	左側の表裏に調整。両端に剥離痕。		292
34	楔	47住	完形	1.9	1.2	0.4	1.0	黒曜	両端に剥離痕。器表面やや風化。		292
35	楔	Dg-47G	完形	2.0	1.6	0.6	1.9	黒曜	裏面ほぼ全周に調整。表面両端に剥離痕。		292
36	楔	464土	完形	2.3	1.3	0.5	1.3	黒曜	両端に剥離痕。		292
37	楔	7住	完形	2.1	1.5	0.6	1.8	黒曜	両端に剥離痕。		292
38	楔	Dh-48G	完形	1.5	1.4	0.3	0.7	黒曜	両端に剥離痕。		292
39	楔	47住	完形	1.1	1.1	0.4	0.6	黒曜	両端に剥離痕。		292
40	楔	Dj-46G	完形	1.7	1.2	0.6	0.9	黒曜	両端に剥離痕。		292
41	楔	Df-55G	完形	4.2	4.1	1.0	21.3	硬泥	小形の剝片の周辺両面に調整加え隅丸の正方形に整形。		292
42	石匙	Dg-52G	完形	8.8	4.1	0.8	30.8	硬泥	調整は主につまみ部のみ。	481	292
43	石匙	5溝	2/3	3.1	1.4	0.6	1.6	黒曜	周辺両面に調整。先端欠損。	481	292
44	石匙	24住	完形	4.6	6.9	0.6	13.4	細安	横形。調整はつまみの挟り部のみ。素材形状残す。	481	292
45	石匙	39住	完形	4.1	6.0	0.8	13.5	珪頁	横形。剝片背面周辺に調整。つまみ部腹面側にも調整。	481	292
46	石匙	Dh-50G	1/2	6.7	5.3	1.5	55.1	硬泥	剝片の周辺両面に調整。下半欠損。	481	292
47	石匙	De-46G	完形	3.0	6.6	0.9	15.1	珪頁	横形。周辺両面に調整。	481	292
48	SS	Df-48G	完形	6.0	8.7	1.4	91.4	珪頁	剝片先端腹面に調整加え刃部形成。		292
49	SS	9住	完形	2.9	1.3	0.6	2.0	黒曜	剝片の右側背面に急角度の調整。		292
50	SS	Df-53G	完形	9.5	6.1	2.9	165.6	硬泥	横長剝片の先端両面に調整加え刃部形成。		292
51	SS	77住	完形	5.9	8.8	1.3	76.1	黒頁	剝片の側面両面に調整加え刃部形成。	481	292
52	SS	Dc-55G	完形	7.8	10.1	3.1	235.0	硬泥	横長剝片の先端に鋸歯状の刃部形成。		293
53	SS	Dj-46G	完形	5.2	11.5	1.4	91.4	硬泥	横長剝片の端部両面に調整。打面側にも粗い調整。		293
54	SS	Dh-46G	完形	4.4	11.2	1.6	82.0	硬泥	縦長剝片の両側に調整。右側厚く、左側薄い。		293
55	SS	Df-45G	完形	4.8	10.9	1.5	79.7	硬泥	縦長剝片の両側に調整。裏面左側に磨耗。		293
56	SS	63住	完形	3.8	8.8	1.0	38.9	変玄	横長剝片の両端に調整。	481	293
57	SS	44住	完形	3.3	8.0	0.7	26.9	珪頁	横長剝片の両端に調整。下辺に薄い刃部形成。	481	293
58	ES	5溝	完形	2.4	1.7	0.8	3.6	黒曜	小形の母指状。両面周辺に調整。	482	293
59	打斧	5溝	ほぼ完	11.7	9.6	2.3	279.8	硬泥	刃部先端やや磨耗。I類。		293
60	打斧	道状遺	完形	11.7	7.3	2.7	262.6	硬泥	両端・挟り部に磨耗。I類。		293
61	打斧	Df-46G	完形	9.2	6.0	2.5	171.4	輝緑	挟り部側縁敲打により整形。I類。	482	293
62	打斧	De-47G	完形	9.4	6.7	2.0	140.4	硬泥	両端に磨耗。I類。		293
63	打斧	47住	完形	11.0	8.9	4.2	398.1	硬泥	挟り部一部磨耗。I類。		293
64	打斧	5溝	完形	11.3	5.7	2.4	208.7	硬泥	両端・挟り部に磨耗。I類。		293
65	打斧	5溝	3/4	11.4	9.3	3.5	331.2	硬泥	基部欠損。I類。		293
66	打斧	8住	一部欠	11.6	6.9	2.9	214.7	硬泥	刃部磨耗。基部一部欠損。I類。		293
67	打斧	230土	2/3	11.5	6.6	1.9	130.1	硬泥	基部先端尖る。刃部欠損。I類。	482	293
68	打斧	47住	完形	9.1	6.8	1.6	95.7	硬泥	刃部・挟り部に磨耗。I類。	482	293
69	打斧	67住	一部欠	9.2	5.9	2.3	123.8	硬泥	基部一部欠損。I類。		293
70	打斧	47住	一部欠	9.8	5.7	2.8	148.1	硬泥	刃部一部欠損。I類。		293
71	打斧	De-46G	完形	9.1	5.8	2.2	107.6	硬泥	刃部磨耗。I類。		293
72	打斧	58住	2/3	6.4	6.7	2.1	83.2	硬泥	基部欠損。刃部再調整。I類。		294
73	打斧	4溝	完形	11.0	5.4	2.1	140.7	珪頁	挟り部両面中央に磨耗。II a類。		294
74	打斧	Dh-50G	ほぼ完	9.1	5.0	2.0	78.8	硬泥	刃部・挟り部磨耗。基部わずかに欠損。II a類。		294
75	打斧	86住	完形	9.9	4.8	2.0	94.4	硬泥	刃部磨耗。II a類。		294
76	打斧	75住	一部欠	12.1	7.1	3.2	274.6	硬泥	基部欠損。II a類。		294
77	打斧	63住	一部欠	10.1	7.8	2.3	164.0	硬泥	基部一部欠損。II a類。		294
78	打斧	Dg-43G	完形	10.5	5.9	1.9	150.1	変玄	II a類。		294

第2章 検出された遺構と遺物

No.	器種	出土 位置	残存 状況	計測値 (cm・g)				石材名	特 徴	図No	PLNo
				長さ	幅	厚さ	重量				
79	打斧	5溝	完形	10.5	5.7	2.0	110.4	硬泥	II a類。		294
80	打斧	40住	完形	10.9	4.8	2.1	102.4	硬泥	刃部磨耗。II a類。	482	294
81	打斧	86住	完形	9.7	4.3	2.1	91.1	硬泥	刃部磨耗。II a類。		294
82	打斧	63住	一部欠	10.0	5.4	2.1	135.1	硬泥	刃部磨耗。基部わずかに欠損。II a類。		294
83	打斧	5溝	2/3	9.6	6.9	2.8	223.2	硬泥	基部欠損。II a類。		294
84	打斧	43住	2/3	8.7	5.0	1.7	70.3	珪頁	刃部欠損。II a類。		294
85	打斧	47住	完形	10.2	4.5	1.8	98.1	珪頁	II b類。		294
86	打斧	De-48G	完形	10.5	5.6	1.3	112.4	硬泥	II b類。		294
87	打斧	260土	完形	13.9	6.1	2.5	211.8	細安	II b類。	482	294
88	打斧	36住	完形	14.6	5.7	3.3	226.2	硬泥	II b類。		294
89	打斧	Dg-46G	完形	14.6	7.2	2.7	372.2	硬泥	刃部磨耗。II b類。		294
90	打斧	Dh-48G	完形	10.2	5.3	1.5	97.7	珪頁	II b類。		294
91	打斧	7住	一部欠	9.8	4.7	2.3	101.7	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。II b類。		294
92	打斧	5住	完形	10.3	5.9	2.7	1740.0	硬泥	II b類。		294
93	打斧	7住	完形	9.3	4.7	1.2	54.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。		294
94	打斧	Dj-46G	完形	14.2	6.7	3.3	245.9	硬泥	刃部先端尖る。基部は厚手。II b類。		295
95	打斧	De-42G	完形	15.9	6.2	1.6	218.7	珪頁	器表面風化激しい。II b類。		295
96	打斧	14住	完形	13.2	6.7	2.6	219.4	細安	刃部磨耗。器表面風化激しい。II b類。		295
97	打斧	5溝	完形	12.6	5.9	1.9	128.6	粗安	II b類。		295
98	打斧	Dd-50G	完形	14.4	5.7	2.1	200.1	硬泥	II b類。	482	295
99	打斧	Dg-45G	完形	14.0	4.9	2.4	180.6	細安	II b類。		295
100	打斧	7住	完形	13.3	5.0	2.1	119.2	硬泥	刃部磨耗。II b類。		295
101	打斧	47住	完形	15.1	5.9	2.9	233.6	硬泥	II b類。	482	295
102	打斧	7住	完形	12.8	5.4	1.8	135.7	硬泥	II b類。		295
103	打斧	Df-49G	完形	12.6	5.0	2.4	159.5	硬泥	刃部磨耗。II b類。		295
104	打斧	506土	完形	13.3	5.6	2.3	173.2	細安	II b類。	482	295
105	打斧	Df-52G	完形	12.2	4.5	1.8	196.5	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。	483	295
106	打斧	24住	完形	12.5	5.0	2.2	152.3	硬泥	刃部磨耗。II b類。		295
107	打斧	86住	完形	11.8	4.8	2.3	118.8	珪頁	器表面かなり風化。II b類。		295
108	打斧	5住	完形	12.2	5.4	2.4	1362.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。		295
109	打斧	5溝	完形	12.4	6.2	1.8	215.1	緑片	II b類。		295
110	打斧	28住	完形	11.8	5.3	3.6	158.2	硬泥	刃部磨耗。II b類。		295
111	打斧	Dj-47G	完形	12.6	5.0	2.3	120.7	細安	II b類。		295
112	打斧	Dh-47G	完形	11.3	5.4	2.1	127.5	硬泥	刃部磨耗。II b類。		296
113	打斧	表採	一部欠	6.5	4.4	1.9	148.6	硬泥	基部欠損。II b類。		296
114	打斧	Df-49G	ほぼ完	12.5	6.0	2.0	153.0	珪頁	基部わずかに欠損。II b類。		296
115	打斧	Dh-46G	完形	11.9	4.8	2.1	132.4	硬泥	II b類。		296
116	打斧	393土	完形	11.4	4.8	2.4	142.9	珪頁	刃部磨耗。II b類。		296
117	打斧	Dg-48G	完形	12.2	4.6	2.4	126.6	硬泥	表面かなり風化。II b類。		296
118	打斧	Df-52G	完形	11.6	5.6	2.4	188.8	硬泥	刃部磨耗。II b類。		296
119	打斧	Di-47G	完形	10.6	5.1	1.8	114.9	細安	刃部磨耗。II b類。		296
120	打斧	5溝	完形	11.7	5.1	1.5	87.9	珪頁	刃部磨耗。II b類。		296
121	打斧	7住	完形	11.0	5.3	1.6	96.8	珪頁	II b類。		296
122	打斧	661土	完形	11.0	5.9	1.8	159.3	変安	II b類。		296
123	打斧	Dg-52G	完形	20.6	5.9	2.3	192.7	輝凝	刃部磨耗。II b類。		296
124	打斧	Df-50G	ほぼ完	11.5	5.2	1.5	95.7	硬泥	器表面かなり風化。II b類。		296
125	打斧	Dg-46G	完形	11.4	5.2	1.9	142.1	硬泥	II b類。		296
126	打斧	5溝	完形	11.6	5.6	1.9	133.3	硬泥	II b類。		296
127	打斧	Dg-52G	完形	11.1	5.1	2.7	150.6	硬泥	刃部磨耗。II b類。		296
128	打斧	47住	一部欠	10.2	6.0	1.8	111.2	粗安	基部一部欠損。II b類。		296
129	打斧	Df-47G	完形	11.1	5.1	2.1	150.3	変玄	II b類。		296
130	打斧	Dh-48G	完形	11.5	5.8	2.4	158.1	硬泥	II b類。		296
131	打斧	Dh-48G	完形	11.2	4.7	1.8	119.9	細安	刃部磨耗。II b類。		296
132	打斧	23住	完形	11.0	4.9	2.0	133.8	粗安	刃部磨耗。II b類。		296
133	打斧	Df-44G	完形	10.5	5.8	1.8	109.9	硬泥	刃部先端磨耗。II b類。		296
134	打斧	Di-49G	完形	10.5	5.0	2.7	155.3	硬泥	刃部先端磨耗。II b類。		296
135	打斧	Df-45G	2/3	8.9	6.1	2.1	118.3	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。		296
136	打斧	Dj-47G	完形	10.7	5.5	2.7	159.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
137	打斧	7住	完形	10.3	5.9	1.7	86.2	頁岩	II b類。		297
138	打斧	86住	完形	10.9	5.9	2.0	125.4	硬泥	偏平な礫素材。II b類。		297

第8節 遺構外出土遺物

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
				長さ	幅	厚さ	重量				
139	打斧	Dh-48G	一部欠	11.3	5.1	1.6	137.8	硬泥	刃部一部欠損。II b類。		297
140	打斧	69住	完形	10.2	4.7	2.2	108.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
141	打斧	Dd-50G	完形	10.8	5.6	1.8	146.8	変玄	刃部磨耗。II b類。		297
142	打斧	Dg-48G	ほぼ完	10.8	5.5	2.2	166.6	変玄	刃部磨耗。基部わずかに欠損。II b類。		297
143	打斧	Df-50G	完形	10.7	5.0	2.5	122.6	デイ	II b類。		297
144	打斧	285土	完形	10.4	4.9	2.6	123.7	硬泥	II b類。	483	297
145	打斧	47住	完形	11.4	4.6	1.9	107.4	粗安	II b類。		297
146	打斧	Dg-46G	完形	10.6	5.0	1.9	102.6	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
147	打斧	54住	完形	10.8	5.0	2.3	129.4	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
148	打斧	Dg-47G	完形	10.1	5.1	2.1	116.6	凝砂	刃部磨耗。II b類。		297
149	打斧	De-48G	完形	10.6	5.7	2.1	121.9	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
150	打斧	475土	完形	10.6	5.0	2.1	111.0	珪頁	器表面かなり風化。II b類。		297
151	打斧	86住	完形	10.9	4.9	2.2	116.2	粗安	刃部磨耗。II b類。		297
152	打斧	86住	完形	10.3	5.0	2.3	135.1	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
153	打斧	Dg-56G	完形	9.4	5.0	1.5	105.0	緑片	II b類。		297
154	打斧	Dg-48G	完形	9.3	4.8	1.5	74.5	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
155	打斧	5溝	一部欠	9.9	4.8	1.6	87.3	硬泥	右側面一部欠損。II b類。		297
156	打斧	Df-46G	完形	10.7	4.4	1.6	96.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。		297
157	打斧	86住	完形	9.7	4.5	1.5	95.7	硬泥	刃部再調整により斜状。II b類。		297
158	打斧	41住	2/3	10.2	6.4	2.5	173.1	珪頁	刃部磨耗。基部欠損。II b類。		297
159	打斧	36住	完形	10.2	4.5	2.0	95.6	硬泥	刃部磨耗。II b類。	483	297
160	打斧	表採	完形	9.3	5.7	2.4	107.3	硬泥	II b類。		298
161	打斧	63住	完形	11.3	5.3	1.9	130.6	硬泥	II b類。		298
162	打斧	23住	完形	10.9	4.4	1.3	68.4	硬泥	刃部磨耗。II b類。		298
163	打斧	63住	完形	11.1	5.1	2.2	143.4	変玄	刃部磨耗。II b類。		298
164	打斧	9住	完形	9.0	5.0	1.8	88.4	粗安	II b類。		298
165	打斧	47住	一部欠	9.8	4.9	1.7	89.8	珪頁	基部一部欠損。器表面かなり風化。II b類。		298
166	打斧	44住	2/3	9.2	4.8	2.5	108.3	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。II b類。		298
167	打斧	Dd-48G	一部欠	10.8	4.6	2.3	137.7	変玄	左側一部欠損。II b類。		298
168	打斧	80住	完形	9.8	5.3	1.7	120.2	珪頁	刃部磨耗。II b類。		298
169	打斧	Dd-42G	完形	10.1	4.8	3.5	200.4	硬泥	非常に厚手。II b類。		298
170	打斧	Df-44G	完形	9.8	4.8	1.8	110.7	硬泥	刃部磨耗。II b類。		298
171	打斧	47住	完形	10.5	5.0	2.6	148.7	変安	刃部磨耗を切って再調整。II b類。		298
172	打斧	表採	完形	10.6	4.3	2.3	118.3	変玄	刃部磨耗。II b類。		298
173	打斧	47住	完形	11.3	4.9	1.9	125.2	変玄	II b類。		298
174	打斧	Df-49G	一部欠	10.8	4.6	2.0	97.2	細安	基部欠損。II b類。		298
175	打斧	260土	一部欠	10.9	5.3	1.6	81.8	変玄	刃部磨耗、一部欠損。II b類。		298
176	打斧	5溝	完形	10.0	5.1	1.1	67.2	硬泥	刃部磨耗。薄手。II b類。		298
177	打斧	Df-44G	完形	9.5	5.7	2.0	117.0	変安	刃部磨耗。II b類。		298
178	打斧	47住	完形	9.8	4.6	2.1	102.2	硬泥	II b類。		298
179	打斧	Dh-48G	完形	9.9	5.1	2.1	111.5	珪頁	刃部磨耗を切って再調整。刃部斜状。II b類。		298
180	打斧	Df-46G	完形	9.7	4.2	1.8	76.7	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。		298
181	打斧	57住	完形	9.1	5.7	1.7	98.8	変玄	刃部磨耗。II b類。		298
182	打斧	67住	完形	9.2	5.1	2.2	104.1	粗安	刃部磨耗。II b類。		298
183	打斧	4溝	完形	10.6	3.7	1.6	54.2	硬泥	II b類。		298
184	打斧	5住	完形	8.5	5.1	2.2	106.9	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。		299
185	打斧	Dh-44G	完形	9.0	5.0	1.6	79.0	珪頁	II b類。		299
186	打斧	87住	完形	9.2	4.7	1.6	66.8	珪頁	刃部磨耗。II b類。		299
187	打斧	5住	完形	8.3	4.2	1.3	50.4	硬泥	刃部磨耗。II b類。		299
188	打斧	46住	一部欠	9.5	5.0	0.9	50.2	珪頁	基部一部欠損。II b類。		299
189	打斧	Dh-48G	完形	9.5	4.4	1.9	90.5	硬泥	II b類。		299
190	打斧	46住	完形	9.3	4.5	1.8	87.5	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。		299
191	打斧	86住	完形	9.6	4.6	1.9	86.8	細安	刃部磨耗。II b類。		299
192	打斧	Df-44G	完形	10.0	4.9	1.2	94.4	硬泥	刃部磨耗。II b類。		299
193	打斧	Dd-51G	完形	8.2	4.3	1.4	67.0	硬泥	刃部磨耗。II b類。		299
194	打斧	Dg-53G	一部欠	10.3	3.7	1.5	69.4	硬泥	基部一部欠損。II b類。		299
195	打斧	8住	完形	8.4	4.1	0.8	40.1	硬泥	II b類。		299
196	打斧	Dg-43G	一部欠	8.8	4.3	1.6	61.9	硬泥	刃部磨耗。基部欠損。II b類。		299
197	打斧	表採	2/3	6.9	4.3	1.0	150.1	硬泥	基部欠損。II b類。		299
198	打斧	Df-46G	完形	9.5	4.7	0.5	90.2	硬泥	刃部先端磨耗。II b類。		299

第2章 検出された遺構と遺物

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
				長さ	幅	厚さ	重量				
199	打斧	67住	2/3	8.6	5.2	2.1	104.0	硬泥	基部欠損。器表面熱により一部剥落。II b類。		299
200	打斧	Df-45G	完形	9.3	5.1	1.9	87.5	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。II b類。		299
201	打斧	Df-44G	完形	9.1	4.0	1.4	70.1	輝凝	II b類。		299
202	打斧	Dg-49G	完形	9.5	4.8	1.9	96.4	粗安	刃部磨耗。II b類。		299
203	打斧	47住	完形	9.3	4.2	1.5	74.4	硬泥	刃部磨耗。II b類。		299
204	打斧	De-45G	完形	10.2	4.0	1.7	70.5	硬泥	II b類。		299
205	打斧	Dg-43G	完形	10.9	4.9	1.7	90.2	輝凝	II b類。		299
206	打斧	24住	完形	18.4	6.3	3.4	435.1	変安	III類。	483	299
207	打斧	7住	完形	18.5	6.8	4.4	592.6	変質玄	側縁一部敲打により整形。III類。	483	299
208	打斧	47住	完形	16.4	6.4	3.5	420.6	硬泥	III類。	483	299
209	打斧	表採	2/3	12.7	6.3	2.9	251.8	硬泥	基部欠損。III類。		300
210	打斧	7住	一部欠	12.3	5.3	2.0	117.7	硬泥	刃部磨耗。左側一部欠損。III類。		300
211	打斧	41住	完形	12.9	4.7	2.2	143.4	細安	刃部磨耗を切って再調整。III類。	483	300
212	打斧	De-42G	完形	13.0	6.2	1.9	181.7	硬泥	III類。		300
213	打斧	Dg-46G	完形	13.7	5.4	2.9	278.5	硬泥	III類。		300
214	打斧	Dg-46G	完形	14.6	5.5	3.1	250.8	硬泥	III類。		300
215	打斧	47住	完形	15.9	5.3	2.4	219.1	変安	III類。	483	300
216	打斧	Di-47G	完形	13.6	4.6	2.2	164.8	粗安	刃部磨耗。III類。		300
217	打斧	403土	完形	11.8	4.7	2.2	92.8	硬泥	III類。		300
218	打斧	Dh-47G	完形	12.0	6.1	2.0	168.1	細安	刃部磨耗を切って再調整。III類。		300
219	打斧	Df-48G	完形	12.3	4.5	2.6	162.5	硬泥	刃部磨耗。III類。		300
220	打斧	Dh-47G	完形	5.5	2.5	2.5	187.9	硬泥	刃部側再調整により幅が狭い。III類。		300
221	打斧	De-42G	完形	12.3	5.9	1.6	148.3	硬泥	刃部磨耗。III類。		300
222	打斧	Df-42G	完形	11.4	5.6	2.0	167.5	変安	刃部磨耗。III類。		300
223	打斧	Dg-52G	一部欠	12.1	5.4	1.4	132.6	硬泥	基部欠損。III類。		300
224	打斧	58住	完形	11.4	4.9	2.8	140.4	硬泥	刃部磨耗。剥片の形状利用。調整頻度低い。III類。		300
225	打斧	Di-47G	完形	12.6	5.2	2.7	219.9	硬泥	刃部磨耗。III類。		300
226	打斧	De-50G	完形	11.5	5.2	1.9	146.3	変玄	刃部磨耗。III類。		300
227	打斧	Dh-50G	完形	12.7	5.2	1.7	170.8	変玄	III類。		300
228	打斧	De-43G	一部欠	12.2	5.5	2.1	171.8	粗安	刃部磨耗。基部一部欠損。III類。		300
229	打斧	Dg-47G	完形	12.2	4.7	1.9	138.8	硬泥	刃部磨耗切って再調整。III類。		301
230	打斧	De-52G	完形	12.7	5.5	1.3	88.4	変玄	非常に薄手。III類。		301
231	打斧	47住	完形	13.1	4.0	2.5	142.5	硬泥	刃部厚い。側面一部敲打により整形。III類。		301
232	打斧	40住	完形	12.1	4.5	2.3	103.4	硬泥	刃部かなり薄い。III類。		301
233	打斧	43住	完形	11.5	4.8	2.0	145.2	硬泥	刃部磨耗。III類。	483	301
234	打斧	77住	完形	12.0	5.0	2.5	159.4	硬泥	刃部磨耗。III類。		301
235	打斧	69住	完形	11.1	5.2	2.5	155.6	珪頁	器表面かなり風化。III類。		301
236	打斧	55住	完形	11.5	4.8	2.0	129.7	細安	III類。	484	301
237	打斧	Dg-50G	完形	11.5	4.9	1.9	130.5	粗安	刃部磨耗。III類。		301
238	打斧	54住	完形	11.1	4.7	1.8	95.8	硬泥	III類。		301
239	打斧	Df-48G	完形	10.2	4.6	2.0	137.4	変安	刃部磨耗。III類。		301
240	打斧	47住	一部欠	11.5	5.0	2.1	141.1	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。基部わずかに欠損。III類。		301
241	打斧	Dd-52G	完形	10.8	4.8	3.0	169.1	珪頁	刃部磨耗。III類。		301
242	打斧	5溝	完形	10.2	5.4	1.7	107.0	珪頁	刃部先端磨耗。III類。		301
243	打斧	Dg-50G	完形	10.8	5.4	2.5	154.7	細安	刃部磨耗。III類。		301
244	打斧	De-42G	一部欠	10.2	4.3	1.6	70.5	硬泥	刃部一部欠損。III類。		301
245	打斧	Dd-42G	完形	10.1	4.8	2.2	132.7	硬泥	III類。		301
246	打斧	Dg-43G	完形	9.9	4.8	2.3	132.6	細安	刃部磨耗。III類。		301
247	打斧	De-50G	ほぼ完	10.6	5.4	1.5	11.4	変玄	III類。		301
248	打斧	Dg-48G	完形	10.3	5.2	1.9	138.0	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。III類。		301
249	打斧	Dg-49G	一部欠	10.3	4.2	1.8	96.6	細安	刃部欠損。基部に磨耗。III類。		301
250	打斧	De-46G	完形	9.9	4.4	2.0	105.6	粗安	刃部磨耗。基部にも一部磨耗。III類。		301
251	打斧	Dh-48G	完形	9.7	4.6	1.9	83.8	硬泥	III類。		301
252	打斧	Dh-47G	完形	11.9	4.4	2.1	118.5	凝砂	刃部磨耗。III類。		302
253	打斧	54住	完形	10.8	4.9	1.6	92.7	硬泥	刃部ほとんど未調整。III類。		302
254	打斧	198土	完形	11.2	4.8	1.6	110.1	変玄	刃部磨耗。III類。	484	302
255	打斧	Df-52G	完形	12.2	6.6	2.5	196.6	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。III類。	484	302
256	打斧	69住	完形	10.8	4.5	1.7	98.7	硬泥	刃部磨耗。III類。		302
257	打斧	4溝	完形	10.2	4.5	1.9	96.8	硬泥	刃部磨耗。III類。		302
258	打斧	47住	完形	10.4	5.2	2.0	125.1	硬泥	刃部磨耗。III類。		302

第8節 遺構外出土遺物

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
				長さ	幅	厚さ	重量				
259	打斧	Di-48G	一部欠	11.2	4.3	1.7	99.4	細安	刃部磨耗。基部欠損。Ⅲ類。		302
260	打斧	47住	完形	9.6	4.8	2.1	98.1	硬泥	Ⅲ類。		302
261	打斧	186土	完形	10.3	4.3	1.9	107.6	変玄	Ⅲ類。	484	302
262	打斧	Dh-47G	完形	10.2	4.2	1.7	94.7	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
263	打斧	4溝	完形	9.9	4.8	1.9	117.0	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
264	打斧	Dg-48G	完形	9.6	4.3	1.5	73.7	硬泥	刃部先端磨耗。Ⅲ類。		302
265	打斧	5溝	完形	9.4	5.0	1.7	97.0	凝砂	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
266	打斧	De-50G	完形	10.2	4.2	1.5	85.5	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
267	打斧	4溝	完形	10.6	4.8	2.3	130.3	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
268	打斧	36住	完形	10.4	4.4	1.6	87.9	珪頁	Ⅲ類。		302
269	打斧	475土	完形	10.0	4.7	2.1	86.8	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
270	打斧	De-50G	完形	10.8	4.4	2.6	111.3	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
271	打斧	Dh-45G	完形	9.4	4.1	1.9	83.7	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
272	打斧	63住	ほぼ完	8.9	4.6	1.8	88.6	硬泥	両端に磨耗。Ⅲ類。		302
273	打斧	De-47G	完形	8.8	4.4	1.7	75.6	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
274	打斧	4溝	完形	10.3	4.4	2.2	11.4	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		302
275	打斧	Dg-46G	完形	11.8	3.9	1.5	109.7	変玄	Ⅲ類。		303
276	打斧	87住	完形	11.3	2.8	1.2	62.3	変玄	裏面ほぼ全面研磨。Ⅲ類。	484	303
277	打斧	40住	完形	12.1	4.4	2.1	115.3	硬泥	刃部磨耗を切って再調整。Ⅲ類。	484	303
278	打斧	285土	完形	11.1	3.9	1.7	103.8	珪頁	Ⅲ類。		303
279	打斧	44住	完形	10.5	4.2	1.4	79.4	砂頁	Ⅲ類。	484	303
280	打斧	36住	完形	10.3	4.1	1.6	75.7	硬泥	表面磨耗を切って再調整。Ⅲ類。	484	303
281	打斧	Dh-49G	完形	10.9	4.2	2.0	110.4	珪頁	器表面風化激しい。Ⅲ類。		303
282	打斧	Dj-46G	完形	9.2	4.7	1.5	63.7	珪頁	Ⅲ類。		303
283	打斧	39住	一部欠	9.8	4.5	2.4	72.6	硬泥	基部一部欠損。Ⅲ類。		303
284	打斧	39住	3/4	8.8	4.4	1.1	59.8	硬泥	基部欠損。刃部磨耗。Ⅲ類。		303
285	打斧	Dh-47G	完形	9.7	4.5	1.9	100.2	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		303
286	打斧	Df-44G	完形	8.4	4.3	2.0	79.4	細安	刃部磨耗。Ⅲ類。		303
287	打斧	Dg-53G	完形	5.2	3.7	1.8	69.5	緑片	Ⅲ類。		303
288	打斧	39住	完形	8.9	3.9	1.5	62.3	硬泥	Ⅲ類。		303
289	打斧	47住	完形	9.8	3.9	1.6	68.0	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		303
290	打斧	5溝	完形	9.5	3.1	1.6	83.1	緑片	Ⅲ類。		303
291	打斧	Dg-52G	完形	5.7	5.3	2.2	76.3	硬泥	刃部磨耗。Ⅲ類。		303
292	打斧	Df-51G	完形	6.6	2.3	1.2	22.7	硬泥	小形のⅢ類。刃部磨耗。	484	303
293	石鍬	Dg-46G	破片	8.4	9.3	2.0	230.6	硬泥	刃部破片。先端磨耗。	484	303
294	石鍬	20住	1/2	11.2	11.7	2.2	322.2	硬泥	刃部破片。刃部扇状に広がる。裏面先端磨耗。	484	303
295	石鍬	75住	2/3	15.1	7.8	4.5	633.8	硬泥	刃部欠損し形状不明。	484	303
296	磨斧	24住	完形	16.0	8.3	5.6	1031.9	変玄	未製品。剝離・敲打による整形途中。		303
297	磨斧	表採	一部欠	12.0	5.7	2.6	252.2	変玄	刃部熱により黒変。	485	303
298	磨斧	47住	完形	11.1	5.8	2.5	263.3	変玄	全面丁寧に研磨。刃部使用により磨滅。	485	304
299	磨斧	416土	完形	12.1	4.9	2.9	307.8	変玄	右側下半～刃部にかけて敲打痕残る。	485	304
300	磨斧	De-43G	一部欠	11.9	5.0	3.4	305.3	変玄	棒状の円礫研磨し整形。基部に敲打痕。		304
301	磨斧	4溝	3/4	10.6	4.8	3.2	248.9	変玄	基部に整形時の剝離痕残す。刃部欠損。		304
302	磨斧	63住	2/3	15.3	5.0	3.0	396.2	変玄	棒状の円礫研磨し整形。素材形状大きく変えない。	485	304
303	磨斧	Dg-52G	2/3	12.1	4.7	2.9	244.9	変玄	刃部欠損。		304
304	磨斧	67住	2/3	11.7	4.8	3.9	307.0	変玄	刃部欠損。断面形は円形に近い。	485	304
305	磨斧	Df-48G	一部欠	11.7	4.3	1.9	145.8	変玄	刃部左半欠損。研磨全面におよばず、未製品か。		304
306	磨斧	Dg-44G	完形	11.0	4.0	2.1	141.7	変玄	未製品。一部に研磨痕あるが、全面に剝離面残す。		304
307	磨斧	55住	破片	10.7	4.5	1.8	114.6	変玄	両端・裏面欠損。		304
308	磨斧	36住	1/2	8.2	5.4	3.2	260.3	変は	刃部欠損。裏面に敲打痕残す。	485	304
309	磨斧	81住	1/2	7.9	5.9	3.2	215.4	変玄	基部破片。器表面に敲打・剝離痕残す。		304
310	磨斧	Dg-48G	完形	9.3	5.1	3.5	225.5	変玄	未製品。剝離・敲打による整形途中。		304
311	磨斧	4溝	1/2	5.7	4.1	1.3	51.8	変玄	表裏に整形時の剝離・敲打痕残す。刃部欠損。		304
312	打斧	5住	完形	5.3	2.6	0.8	20.1	変玄	小形。表裏に剝離面残す。未製品か。		304
313	磨斧	39住	破片	11.2	7.8	5.1	657.7	変玄	未製品の刃部破片。剝離による整形途中。		304
314	磨斧	Dg-50G	1/2	8.1	6.5	4.5	364.8	変玄	刃部破片。		304
315	磨斧	Di-46G	1/2	7.6	4.6	3.2	173.1	変玄	刃部破片。剝離面残す。		304
316	磨斧	55住	2/3	7.4	4.3	2.5	137.6	変玄	表裏に敲打痕残す。基部欠損。		304
317	石棒	24住	破片	17.3	4.6	4.2	624.7	緑片	敲打による整形後全面研磨。両端欠損。	485	304
318	凹石	47住	完形	22.9	11.1	6.6	2420.0	砂岩	盤状の円礫。表裏に凹み。両端に敲打痕。	485	304

第2章 検出された遺構と遺物

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
				長さ	幅	厚さ	重量				
319	凹石	14住	完形	12.3	5.8	4.0	434.0	凝砂	両側面取り。表裏各2、右側1、左側2個の凹み。	486	305
320	凹石	47住	完形	15.9	9.7	3.3	662.8	変安	表面凹み、裏面敲打・研磨、両端・左側敲打。	486	305
321	凹石	Df-42G	完形	15.0	7.5	4.6	789.5	粗安	表裏浅い凹み各2・研磨、両端・両側に敲打痕。		305
322	凹石	67住	ほぼ完	15.9	6.8	7.0	770.3	変安	棒状の亜円礫。3面凹み各1。下端敲打により面取り。	486	305
323	凹石	Df-52G	完形	13.0	9.0	4.7	695.6	粗安	盤状の円礫。表裏に凹み・敲打痕、両端に敲打痕。		305
324	凹石	47住	完形	12.8	8.5	5.7	937.5	変は	盤状の円礫。表面に凹み、両端に敲打痕。		305
325	凹石	43住	完形	14.6	8.8	3.6	546.8	安凝	盤状の円礫。表裏に凹み、両端・両側に敲打痕。		305
326	凹石	771土	完形	10.3	7.8	3.9	481.3	粗安	両側面取り。表凹み・研磨・敲打、裏研磨、両端敲打。	486	305
327	凹石	56住	完形	7.7	10.7	6.1	518.1	変安	左側面取り。表面凹み・研磨、裏面研磨。両端に敲打。		305
328	凹石	47住	完形	11.2	8.8	4.9	808.8	閃緑	両側面取り。表面・右側凹み、両端敲打。	486	305
329	凹石	43住	完形	11.0	9.6	4.8	647.8	粗安	円盤状の円礫。表裏に凹み。	487	305
330	凹石	850土	完形	11.2	9.1	5.5	657.0	粗安	右側面取り。表面凹み・研磨、裏面敲打・研磨。	487	305
331	凹石	Di-47G	完形	10.8	7.6	4.6	518.6	デイ	右側面取り。表裏に凹み・研磨面。両端に敲打痕。		305
332	凹石	86住	完形	9.2	8.4	3.5	384.2	粗安	円盤状の円礫。表裏凹み・研磨、ほぼ全周敲打痕。		305
333	凹石	692土	完形	11.3	9.9	6.4	915.0	粗安	盤状の円礫。表面凹み。表裏研磨、裏面・両側敲打。		305
334	凹石	331土	完形	10.0	7.9	3.9	367.8	粗安	盤状の円礫。表裏凹み・研磨、両端・両側敲打痕。		305
335	凹石	Dg-48G	完形	10.5	7.2	4.3	446.2	流紋	盤状の円礫。表裏凹み各2個・研磨、両端敲打痕。		305
336	凹石	75住	一部欠	11.9	4.5	2.5	203.1	硬泥	盤状の円礫。表面に凹み、表裏に研磨・敲打痕。		305
337	凹石	Df-48G	完形	13.7	6.2	3.0	79.7	デイ	盤状の円礫。表面に2個の凹み。		305
338	凹石	De-42G	ほぼ完	14.9	6.0	5.5	743.0	変安	両側面取り。表裏・左側凹み・研磨、右側研磨・敲打。	487	305
339	凹石	Dd-51G	ほぼ完	9.6	8.8	4.6	447.9	粗安	円盤状の円礫。表裏凹み・研磨。器表面かなり風化。		305
340	凹石	Dg-44G	完形	9.2	6.7	4.8	403.3	デイ	盤状の円礫。表面に凹み、裏面・両端に敲打痕。		305
341	敲石	67住	完形	24.3	9.2	8.1	2340.0	粗安	棒状の円礫。両端に敲打痕。		305
342	敲石	Dh-49G	完形	23.1	9.6	8.0	2252.0	流紋	棒状の円礫。両端に敲打痕。		305
343	敲石	47住	完形	17.0	9.5	6.0	1407.6	粗安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		305
344	敲石	506土	完形	15.9	6.1	4.8	825.9	石閃	棒状の円礫。両端に敲打痕。		306
345	敲石	表採	完形	14.8	7.5	5.1	912.7	粗安	盤状の円礫。右側面取り。表面・両端に敲打痕。		306
346	敲石	12住	完形	14.5	6.2	5.1	637.2	粗安	棒状の円礫。両側面取り。表面・両端に敲打痕。	487	306
347	敲石	4溝	完形	13.0	5.7	4.6	469.4	砂岩	棒状の円礫。両面・両端に敲打痕。		306
348	敲石	58住	一部欠	14.2	5.8	5.4	486.6	変安	棒状の円礫。表面・両端に敲打痕。		306
349	敲石	12住	完形	13.7	8.9	4.3	774.5	粗安	盤状の円礫。表裏・両側・両端に敲打痕。		306
350	敲石	Di-49G	完形	13.3	9.1	5.9	112.5	閃緑	盤状の円礫。両側面取り。表面・両端に敲打痕。		306
351	敲石	67住	完形	12.2	8.3	5.0	613.8	粗安	盤状の円礫。表面・両端に敲打痕。		306
352	敲石	47住	完形	13.2	8.7	4.1	695.8	変安	盤状の円礫。下端に敲打・敲打による剝離痕。		306
353	敲石	14住	完形	11.8	8.1	3.3	449.5	変安	盤状の円礫。両端に敲打痕。		306
354	敲石	Df-44G	完形	12.8	9.3	5.0	931.2	粗安	盤状の円礫。表面・両端に敲打痕。		306
355	磨石	67住	完形	9.8	8.3	4.6	472.9	デイ	両側面取り。表裏に研磨面、両端に敲打痕。		306
356	敲石	De-46G	完形	11.2	7.5	5.4	647.3	粗安	盤状の円礫。表裏・両端に敲打痕。		306
357	敲石	Dh-46G	完形	7.1	6.0	6.2	367.4	デイ	球状の円礫。両端に敲打痕。		306
358	敲石	Dh-47G	完形	7.5	7.5	6.7	460.0	粗安	球状の円礫。表裏とほぼ全周に敲打痕。		306
359	敲石	Dd-42G	完形	8.4	7.0	6.1	418.8	デイ	球状の円礫。両端に敲打痕。		306
360	敲石	62住	完形	6.8	5.6	4.1	216.5	デイ	球状の円礫。表裏に弱い研磨。		306
361	敲石	47住	完形	11.3	3.8	3.3	182.7	泥岩	棒状の円礫。両端に敲打痕。		306
362	敲石	69住	完形	11.2	5.3	4.0	333.5	変安	棒状の円礫。両端に敲打痕。		306
363	敲石	De-46G	完形	11.0	5.4	2.9	314.2	変玄	盤状の円礫。表裏・両端・両側に敲打痕。		306
364	敲石	Dd-48G	完形	11.8	4.6	3.6	236.3	砂岩	棒状の円礫。表裏上部・両端に敲打痕。		306
365	敲石	69住	一部欠	8.1	3.3	1.5	48.6	ア凝	盤状の円礫。表面・上端に敲打痕。下端欠損。		306
366	磨石	67住	完形	18.3	13.2	4.2	1226.6	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端・両側に敲打痕。		306
367	磨石	36住	完形	20.1	7.2	6.0	1198.6	粗安	棒状の断面三角形の亜円礫。表面と右側に研磨。	487	306
368	磨石	Dg-47G	完形	21.0	7.3	4.3	1046.1	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		306
369	磨石	62住	完形	1.7	8.1	7.0	1304.9	デイ	表面に敲打・研磨により平坦面作る。右側弱い研磨。	487	306
370	磨石	40住	2/3	12.1	7.9	5.3	588.3	安凝	両側面取り。表裏研磨・敲打、上端敲打。下部欠損。		306
371	磨石	47住	完形	15.0	7.9	5.6	1069.3	粗安	右側面取り。表裏研磨。両端敲打、下端に剝離。	488	306
372	磨石	Df-56G	完形	15.8	7.3	4.3	702.8	流紋	両側面取り。表裏に敲打・研磨面。	488	306
373	磨石	Dd-48G	完形	18.8	6.0	4.9	734.4	粗安	両側面取り。表裏に弱い研磨・敲打痕、両端に敲打痕。		306
374	磨石	41住	ほぼ完	14.2	9.5	5.3	810.9	デイ	盤状の円礫。右側面取り、表裏に研磨・敲打痕。		307
375	磨石	43住	完形	13.6	9.7	5.8	1081.8	砂岩	盤状の円礫。表裏に研磨面。		307
376	磨石	67住	完形	12.7	9.1	4.5	790.9	変安	盤状の円礫。表裏に研磨面、右側面取り。	488	307
377	磨石	59住	完形	13.4	4.1	3.2	236.6	デイ	棒状の円礫。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		307
378	磨石	4溝	完形	13.1	11.3	5.0	1050.1	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端・両側に敲打痕。		307

第8節 遺構外出土遺物

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No	PLNo
				長さ	幅	厚さ	重量				
379	磨石	De-53G	完形	14.5	9.1	4.5	862.9	デイ	右側面取り。表裏研磨、両端に敲打痕。		307
380	磨石	67住	ほぼ完	13.0	8.8	6.0	1044.0	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨面、右側を面取り。	488	307
381	磨石	39住	一部欠	14.2	5.2	3.6	444.9	粗安	盤状の円礫。表面に弱い研磨、両側に敲打痕。		307
382	磨石	20住	完形	11.5	9.5	4.9	740.8	変安	円盤状の円礫。表裏に研磨面、上端に敲打痕。	488	307
383	磨石	36住	完形	11.6	8.3	6.7	1059.5	粗安	両側を面取り。表裏に研磨面。右側に弱い研磨。	488	307
384	磨石	Df-52G	完形	13.7	10.2	5.0	1079.0	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		307
385	磨石	Df-48G	一部欠	15.1	6.4	4.6	648.0	粗安	棒状の円礫。表裏に研磨・敲打痕、上端・両側敲打痕。		307
386	磨石	40住	一部欠	11.3	8.0	3.9	435.4	珪頁	盤状の円礫。表面非常に強い研磨、裏面研磨・敲打痕。		307
387	磨石	56住	完形	7.7	9.5	5.1	549.5	粗安	盤状の円礫。表裏に研磨・敲打痕、両側に敲打痕。		307
388	磨石	Dg-46G	完形	11.6	7.9	5.3	739.1	粗安	両側面取り。表面研磨・敲打痕、裏面・両端敲打痕。		307
389	磨石	4溝	完形	13.3	7.6	4.3	556.8	デイ	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		307
390	磨石	692土	完形	11.2	9.0	4.6	704.6	粗安	両側面取り。表裏に研磨面。	489	307
391	磨石	De-42G	一部欠	12.1	8.3	5.0	777.4	粗安	盤状の円礫。表裏研磨・敲打、左側敲打、右側一部欠。		307
392	磨石	Di-49G	完形	12.2	4.8	4.3	525.5	流紋	両側面取り。表裏弱い研磨、裏面・両端敲打。		307
393	磨石	Dh-45G	完形	7.5	2.6	2.5	61.8	泥岩	棒状の円礫。ほぼ全面に研磨面。		307
394	磨石	Dh-50G	完形	10.7	10.2	9.5	1501.5	粗安	球状の円礫。ほぼ全面に弱い磨耗。		307
395	磨石	Dh-47G	完形	11.1	10.4	8.6	1283.0	粗安	円盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		307
396	磨石	63住	完形	10.6	9.2	4.9	594.0	変安	円盤状の円礫。表裏に研磨面。	489	307
397	磨石	Dd-50G	完形	10.7	5.2	3.4	264.5	珪頁	盤状の円礫。表面に研磨・敲打痕。		307
398	磨石	47住	1/2	9.3	9.2	6.5	832.5	変安	両側を面取り、弱い研磨。両面に研磨面。	489	307
399	磨石	De-42G	完形	9.9	10.1	5.0	688.9	変安	円盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		307
400	磨石	75住	完形	8.7	7.4	4.2	310.2	変安	盤状の円礫。表裏に研磨面。		307
401	磨石	Dg-48G	ほぼ完	10.8	7.0	2.5	241.3	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		307
402	磨石	Di-50G	完形	8.8	7.8	5.6	521.6	デイ	円盤状の円礫。両面に弱い研磨。		307
403	磨石	36住	ほぼ完	8.1	7.2	6.2	407.2	デイ	円盤状の円礫。表面研磨。裏面風化によりかなり剥落。		307
404	磨石	5溝	完形	8.6	8.3	6.7	607.0	デイ	球状の円礫。表裏に弱い研磨。		307
405	磨石	Dj-46G	完形	9.8	8.1	4.1	511.1	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨・敲打痕、両側に敲打痕。		307
406	磨石	870土	完形	11.2	8.6	4.1	525.1	粗安	両側面取り、表裏に研磨面。両端敲打による剥離。	489	308
407	磨石	53住	ほぼ完	11.5	7.5	4.6	533.4	粗安	盤状の円礫。左側を面取り。表裏に研磨・敲打痕。	489	308
408	磨石	De-53G	完形	11.7	6.1	4.7	523.7	粗安	棒状の円礫。表裏研磨・敲打。両側・両端敲打痕。		308
409	磨石	Df-51G	完形	10.3	6.0	4.5	415.6	粗安	盤状の円礫。表裏に弱い研磨。		308
410	磨石	Dd-48G	完形	11.3	5.9	2.7	267.7	砂岩	盤状の円礫。表裏に弱い研磨、両端に敲打痕。		308
411	磨石	47住	完形	8.2	7.2	4.7	366.3	デイ	円盤状の円礫。表面に研磨・敲打痕、裏面に研磨。	489	308
412	磨石	355土	完形	9.2	7.4	4.9	446.6	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨面、表面・両端・右側敲打痕。		308
413	磨石	55住	完形	9.5	6.8	4.1	420.0	粗安	両側を面取り。表裏に研磨面、表面・両端に敲打痕。	490	308
414	磨石	5溝	完形	9.5	4.5	3.1	170.4	流紋	棒状の円礫。表面に弱い研磨・敲打痕、下端に敲打痕。		308
415	磨石	Df-48G	完形	6.9	6.4	4.9	331.1	粗安	円盤状の円礫。全面に研磨。		308
416	磨石	Dg-48G	一部欠	7.1	6.8	5.0	278.8	粗安	円盤状の円礫。表裏に研磨面、両端に敲打痕。		308
417	磨石	Dg-56G	完形	7.1	6.9	1.9	137.5	砂岩	円盤状の円礫。表裏に弱い研磨・敲打痕。		308
418	磨石	Dg-48G	完形	7.0	5.8	4.1	211.5	デイ	盤状の円礫。表裏に研磨、両端に敲打痕。		308
419	磨石	5溝	完形	7.1	5.7	4.7	246.1	砂岩	盤状の円礫。表裏に研磨面、両端敲打痕。		308
420	磨石	Dd-50G	完形	5.3	4.2	1.0	28.0	珪頁	円盤状の円礫。表裏・側面に研磨面。		308
421	磨石	Dh-46G	完形	6.7	5.9	5.7	322.1	粗安	球状の円礫。ほぼ全面に弱い研磨。		308
422	磨石	4溝	完形	7.0	6.4	1.9	118.3	変玄	円盤状の円礫。表面に研磨・溝・線状痕、裏面に溝。	490	308
423	磨石	Dd-48G	完形	5.4	5.1	1.8	56.3	粗安	円盤状の円礫。表に弱い研磨。		308
424	磨石	Dd-48G	完形	6.8	4.0	4.3	169.6	デイ	棒状の円礫。表面・両端に敲打痕。		308
425	磨石	Dd-50G	完形	3.8	3.2	3.3	60.6	砂岩	球状の円礫。全面に弱い研磨。		308
426	磨石	5溝	一部欠	6.0	4.1	0.8	16.6	泥岩	薄い盤状の円礫。表・側面研磨、線状痕。裏面欠損。	490	308
427	石皿	36住	一部欠	32.1	25.2	5.5	657.0	緑片	皿部分内面使用により平滑、裏面に大小の凹み。	490	308
428	石皿	Dg-44G	2/3	49.3	19.7	7.8	8500.0	緑片	細長い楕円形。表面皿状にくぼみ、裏面にも使用面。	491	308
429	石皿	20住	1/2	30.3	21.5	10.9	8500.0	砂岩	盤状の円礫。表面浅く皿状にくぼむ。裏面に凹み。	492	308
430	石皿	67住	1/4	15.5	27.2	5.0	2515.0	砂岩	表面浅くくぼみ研磨面あり。裏面に凹み3個。	490	309
431	石皿	41住	破片	30.7	8.5	5.7	1877.9	緑片	皿部分使用により平滑。裏面に大小の凹み。	492	309
432	石皿	14住	完形	25.6	19.5	6.1	5950.0	粗安	自然礫の形状を生かし表面に浅い皿部分作る。	491	309
433	石皿	87住	1/4	24.0	17.0	6.9	3900.0	緑片	石皿破片。内面は使用により平滑、裏面に大小の凹み。	492	309
434	石皿	24住	1/3	28.3	17.4	9.7	5040.0	粗安	丁寧な形作られ皿部分の境明瞭。側面に弧状の浅い溝。	493	309
435	石皿	表採	1/3	24.7	12.6	4.7	1702.7	緑片	皿部内面使用により平滑。表裏に大小の凹み。	493	309
436	石皿	4溝	1/4	26.4	19.5	5.9	4000.5	緑片	側面敲打により整形。破損により形状不明。		309
437	石皿	23住	1/2	26.7	16.2	3.6	2160.0	緑片	盤状の亜円礫。表面ほぼ全面が研磨される。	493	309
438	多孔	59住	1/3	17.5	13.7	7.9	1433.9	凝砂	盤状の亜角礫。表裏に凹み。		310

第2章 検出された遺構と遺物

No.	器種	出土位置	残存状況	計測値 (cm・g)				石材名	特徴	図No.	PLNo.
				長さ	幅	厚さ	重量				
439	多孔	Df-44G	完形	18.0	10.9	4.3	1151.7	砂岩	盤状の垂円礫。表裏に凹み各1個。		310
440	多孔	24住	1/2	26.2	16.3	9.5	4320.0	砂岩	盤状の角礫。表裏に大小の凹み。		310
441	多孔	36住	完形	15.7	13.0	7.0	2002.6	砂岩	盤状の円礫。表面3、裏面1個の凹み。表裏に敲打痕。		310
442	多孔	1溝	完形	23.1	7.9	6.5	1971.1	緑片	棒状の円礫。表裏に凹み。	494	310
443	多孔	26住	完形	30.7	8.7	7.6	2200.0	粗安	棒状の円礫。表面に凹み。		310
444	砥石	5溝	1/2	8.0	6.0	4.9	380.3	砥沢	角柱状に整形。表面・両側に使用面。裏面剥離痕残す。	494	310
445	砥石	Dh-57G	完形	9.4	6.6	2.4	160.2	デイ	表裏・両側に使用面。裏面ほとんど剥落。		310
446	台石	24住	一部欠	33.8	11.7	7.6	4560.0	デイ	盤状の円礫。裏面熱により大きく剥落。		310
447	紡錘	30住	2/3	4.4	4.5	1.9	38.3	砥沢	全面研磨して仕上げ。断面長方形状。		310

土坑出土石器器種組成表

器種	石鏃	石錐	楔	石匙	*1	SS	打斧	磨斧	二次	微細	石核	原石	*2	石錘	石棒	凹石	敲石	磨石	石皿
数量	14	22	19	5	1	43	271	9	236	159	162	3	1	2	6	35	86	136	19
器種	多孔	砥石	台石	礫器	剥片														
数量	20	19	18	1	1742	*1: 異形石器 *2: 「の」字状石製品													



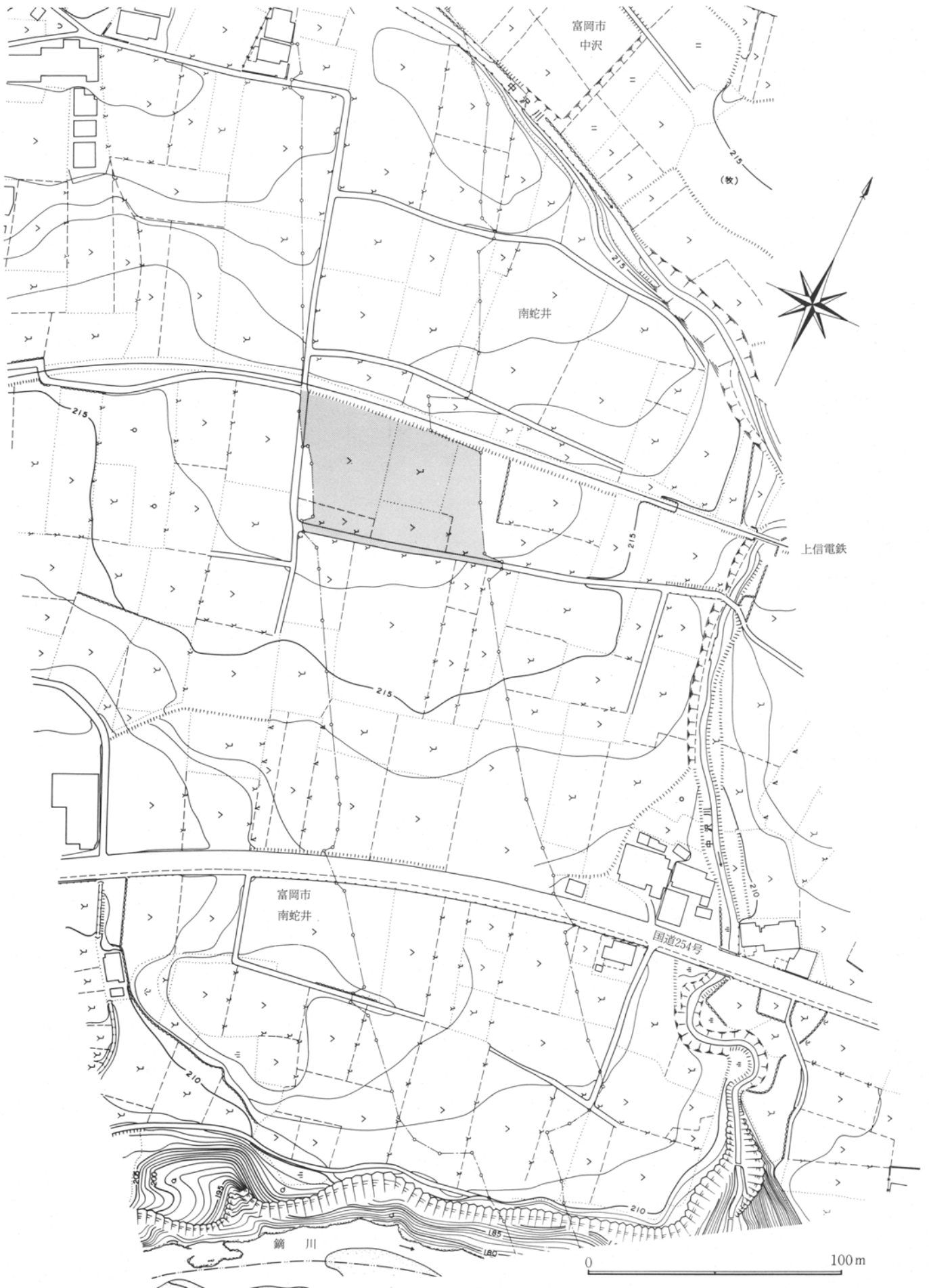
土坑出土石器石材重量組成グラフ

遺構外石器器種組成表

器種	石鏃	尖頭	石錐	ES	楔	石匙	SS	打斧	石鏃	磨斧	二次	微細	石核	原石	石棒	石錘	凹石	敲石	磨石
数量	47	1	13	1	84	8	61	523	12	50	945	622	550	6	2	1	36	73	126
器種	石皿	多孔	砥石	台石	礫器	紡錘	剥片												
数量	21	8	7	5	1	1	6369												



遺構外石器石材重量組成グラフ



第495図 調査区地形図



第496図 遺構全体図



第497図 縄文時代住居跡全体図



第498图 弥生时代住居跡全体图

Dk

Di

Dg

De

Dc

Da



第499図 古墳時代以降住居跡・井戸・溝全体図

Da

58

54

52

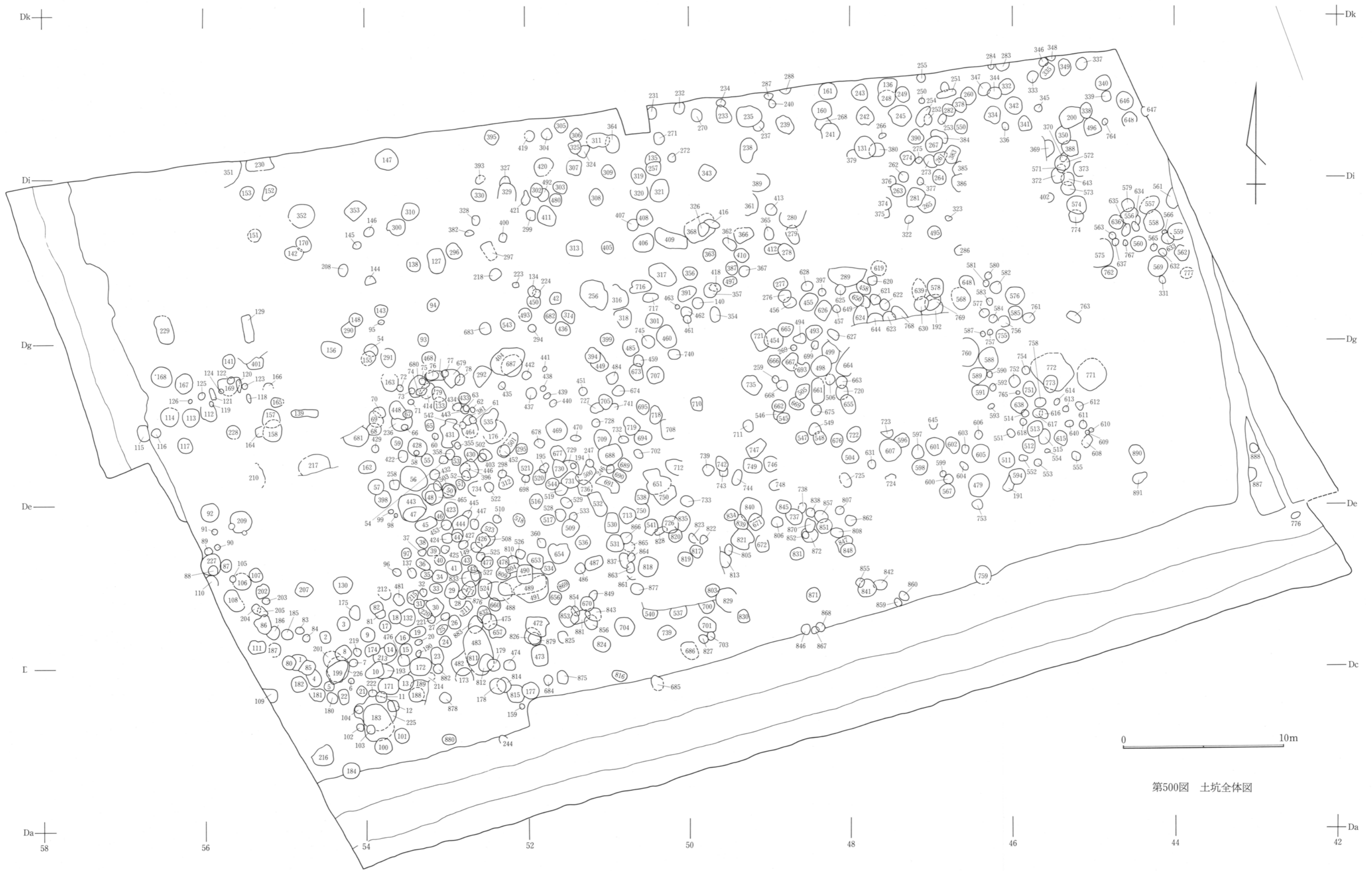
50

48

46

44

42



第500图 土坑全体图



第501図 Pit全体図

付 編

南蛇井増光寺遺跡の黒曜石の分析

立教大学理学部 鈴木正男

〔はじめに〕

南蛇井増光寺遺跡から出土した199点の黒曜石について黒曜石分析を行なった。その結果をここに報告する。

黒曜石は、 SiO_2 に富む溶岩が急冷して生じる天然ガラスであり、その産出地は限られている。黒曜石は先史時代に石器製作のための石材として運搬され交易された。

黒曜石分析は、黒曜石の産地推定と水和層年代測定からなる。すなわち、製作技法と形式、使用痕をはじめとする黒曜石の多様な考古学的属性のうちの一つ、運搬あるいは交易による移動の方向と距離（空間系）とそれが行われた年代（時間系）を同時に明らかにする。

遺跡出土黒曜石の原産地は、熱中性子放射化分析法、X線蛍光分析法、フィッシュトラック年代測定法などによって、原産地と遺跡出土の黒曜石の化学成分や噴出年代を測定し比較することによって推定される。ここでは原産地を熱中性子放射化分析と判別分析(Suzuki & Tomura, 1983; Suzuki et al., 1984a, b)によって推定し、その年代を黒曜石水和層厚測定によって推定した。

〔熱中性子放射化分析〕

産地推定には、黒曜石の産地内で均質でかつ産地間では差がある特徴をとらえることによって行われる。また、そのために用いる機器によっても異なる。

X線蛍光分析法ではケイ素 (Si)、チタン (Ti)、アルミニウム (Al)、鉄 (Fe)、マグネシウム (Mg)、カルシウム (Ca)、ナトリウム (Na)、カリウム (K)、マンガン (Mn)、ストロンチウム (Sr)、ルビジウム (Rb) などが測定できる。

熱中性子放射化分析を用いるとイースター島の黒曜石では、ヒ素 (As)、バリウム (Ba)、セリウム (Ce)、コバルト (Co)、クロム (Cr)、セシウム (Cs)、ユーロピウム (Eu)、鉄 (Fe)、ハフニウム (Hf)、ランタン (La)、ルテチウム (Lu)、ナトリウム (Na)、ネオディウム (Nd)、ルビジウム (Rb)、アンチモン (Sb)、スカンジウム (Sc)、サマリウム (Sm)、タンタル (Ta)、テルビウム (Tb)、トリウム (Th)、ウラン (U)、イッテルビウム (Yb)、亜鉛 (Zn)、ジルコニウム (Zr) などが観察され産地推定に利用できる。

種々の核種に熱中性子を照射するとそれぞれの核種は放射化され、それぞれの核種に固有のエネルギーの γ 線を放出する。放射化された核種はそれぞれに固有の半減期で壊変する。したがって、冷却期間を調節することによって、産地の判別分析に有効な核種の γ 線を選択的に測定することができる。

試料の各元素の含有量は、①試料に、多種類の元素の含有量が知られている標準試料と同時に熱中性子を照射し、② γ 線を計数し、③試料と標準試料の γ 線のカウンント数比、重量比、測定開始時間の差に起因する変動を補正することによって計算される。

付 編

実際の操作は、以下のとおりである。まず、ダイヤモンドカッターを用いて、黒曜石試料の小片を切り出し、その重量を化学天秤で測り、ポリ袋に封入する。これを標準試料とともに照射キャプセルに入れ、立教大学原子力研究所 TRIGA II 型原子炉の回転試料棚 (RSR) の位置に挿入して、出力100kWで12時間熱中性子を照射する。対照する標準試料は NBS278 (Obsidian Rock) である。

約10日間冷却した後、 γ 線スペクトルを1000~3000秒計数し、標準試料との比較から、前掲の24元素中、関東・中部地域の産地推定に有効なサマリウム (Sm)、ウラン (U)、トリウム (Th)、ハフニウム (Hf)、スカンジウム (Sc)、鉄 (Fe)、ランタン (La) の7元素の含有量を測定した。

黒曜石の産地の判別には、日本全国30カ所を超える黒曜石原産地のそれぞれ100点の測定値に基づき、判別分析を用いて行った。その結果は、別表に示した。

南蛇井増光寺遺跡から出土した199点の黒曜石試料の分析結果を表に示した。星ヶ塔産167点、和田峠産23点、男女倉産7点、神津島産1点、不明1点 (No.166) である。

〔黒曜石水和層年代測定法〕

下表に示したように年代測定法には絶対年代測定法と相対年代測定法がある。黒曜石水和層年代測定法は絶対年代測定法に含められるが、地中に埋没している間に石器製作時に生じた新鮮な表面から水が内部に拡散して形成する水和層の厚さが時間の経過とともに増加することを用いている。

拡散は化学変化であるから温度（ここでは地温：効果水和温度）の影響を受ける。過去に約2万年前前後の最終氷期最大亜氷期や縄文海進期の温暖な時期があったことが知られている。この結果、黒曜石水和層年代はある年代範囲で実際の時間経過よりも短くあるいは長く表現されることになる。ただし、石器製作時から現在までの累積的な温度変化のもとで形成されるから、古温度変化の変動幅がそのまま直接水和層形成に作用するわけではない。

黒曜石水和層法で測定される年代には、つぎのようなものがある。

- ① 黒曜石形成年代
- ② 黒曜石剝落年代—たとえば露頭において角柱状に剝落しているもの
- ③ 石器製作年代
- ④ 再使用年代
- ⑤ その他偶発的な剝離年代

遺跡から出土した黒曜石の場合には、①、②、④、⑤は離散値をとることが多い。

このように考えると、黒曜石水和層法による年代の利用の仕方には、

- ① 遺跡の内部構造の解析と確認
- ② 地域内の社会構造の時間的変遷解明の補助
- ③ 地域間の社会関係の時間的変遷解明の補助

黒曜石の水和層の厚さ (L : μm) と、経過した年代 (A : a) との間には、次の関係がある。

年代測定法の種類

測定法の種類	対象試料の種類	測定年代範囲
【絶対年代測定法：壊変定数・平衡定数・速度を利用した方法】 《放射性核種による方法》		
〈閉鎖系試料〉		
カリウム・アルゴン Potassium-argon	溶岩・火砕流堆積物	10 ⁵ ～5×10 ⁹
フィッショントラック Fission Track	タフ・溶岩・火砕流堆積物・ガラス	10 ³ ～3×10 ⁹
放射線性炭素 Radiocarbon	生物遺体	0～6×10 ⁴
〈閉鎖／開放系試料〉		
ウランシリーズ U-series	溶岩・火砕流堆積物・タフ・化石骨 珊瑚・石灰質堆積物・深海底堆積物	10 ⁴ ～3×10 ⁵
〈開放系試料〉		
熱ルミネッセンス Thermoluminescence	タフ・貝化石・土器	10 ³ ～5×10 ⁵
電子スピニング共鳴 Electron Spin Resonance	鍾乳石・タフ・断層・氷河	10 ³ ～3×10 ⁶
《化学変化を利用した方法》		
ラセミ化 Racemization	化石骨・微化石・貝	10 ³ ～5×10 ⁶
黒曜石水和層 Obsidian Hydration	黒曜石	10 ³ ～3×10 ⁴
【相対年代測定法：設定された標準との比較による方法】		
古(考古)地磁気 Palaeo-/Archaeo-magnetism	炉・窯跡・土器・陶器・堆積層	/
火山灰層位学 Tephrostratigraphy	火山灰	
微化石層序 Micropalaeontology	深海底コア	
哺乳動物化石 Palaeontology	動物化石	
花粉分析 Pollen Analysis	湖底堆積物・泥炭	
形(型)式学 Typology	土器・石器	
年輪年代学 Dendrochronology	木材	
氷縞粘土 Varved Clay	氷縞粘土	10 ³ ～10 ⁴
化学分析 Chemical Analysis	化石・鉱物・ガラス	

$$A = 1000 \times \left\{ \frac{L^2}{K \cdot kr} \right\}$$

ここに、 k は効果水和温度 (EHT) が一様と見なしうる地域で設定され、かつ適用される水和速度 $\left(\frac{\mu\text{m}^2}{1000\text{a}} \right)$ である。

関東地方においては、この値は、すでに野川遺跡などを基準にして、次のように設定されている (Suzuki, 1973)。

産地・露頭	WADATOGE	HOSHIGAT	KOZUSHIM	HATAJUKU
水和速度	7.89	5.13	2.69	0.28

HOSHIGAT……HOSHIGATO, OMEGURA, YATSUGATAKE

また、水和速度は気温 (あるいは効果水和温度) によって左右される。この場合は水和速度の補正值 (kr) を用いる。補正值 kr は、東京の気温を K_T (15.3°C , 288.3°K)、遺跡の気温を K として、次式を用いて算出される (Suzuki, 1973)。

$$kr = \exp \left\{ \frac{K - K_T}{K \cdot K_T} \right\} \cdot 8.9 \times 10^3$$

この遺跡の補正值は、前橋と同じ0.88を用いた。

水和速度の推定方法で現在用いられているものには、つぎの2つのものがある。

- ① 検量線法—焼けた黒曜石のフィッシュトラック年代 (あるいはC-14年代) と気温による補正值
- ② 直接法—マイクロリアクターを用いた個々の遺跡出土黒曜石の水和促進実験による水和速度の直接測定と遺跡の地温の直接測定 (1年間; 深さ10cm、25cm、50cm、1 m、2 m……2 mを超えると地温の変化は小さい)

ここでは、①の検量線法によった。

実際の試料の調整は、黒曜石の剝離面に直交して切り出した小片平均約20個を、エポフォームの試料枠に入れ、エポキシ系樹脂エポフィックスと硬化剤を容積比8:1に混合した。硬化完了後、通常の手順にしたがって、厚さ約200 μm 程度の薄片に仕上げた。これを、光学顕微鏡約1,000倍で透過光観察し、その水和層の厚さをビデオプリンターのプリント上で計測した (実測倍率2,517倍)。

[測定結果について]

黒曜石水和層年代測定の結果は試料番号順および産地・年代順にわけて別表に示した。

結果について要約すると、星ヶ塔産黒曜石は約10,000年前 (No.133) から3,700年前 (No.176) まで連続的に用いられている。男女倉産黒曜石は約7,500年前 (No.090) から3,900年前 (No.099) まで、和田峠産黒曜石は約10,000年前 (No.049) から3,200年前 (No.100) まで連続的に使用されていたとみられる。

1万年前を超える年代については、星ヶ塔産で約17,500年前~11,000年前 (No.050、177、109、191、042、063、044) の7点の離散値が観察された。

さらに、3万年前を超える黒曜石原石がもっていたと思われる水和層には星ヶ塔産で、約220,000年前~70,000年前 (No.012、054、038、065、113、004) の6点、和田峠産で約45,000年前のもの1点が観察された。

なお、No.179はただ1点神津島産と判定されたが、再度産地推定を行って確認する必要がある。

参考文献

- Suzuki, M., 1973: Chronology of prehistoric human activity in Kanto, Japan-Part I. J. Fac. Sci., Univ. Tokyo, Sec. V (Anthropology), Vol. IV, 241-318.
- Suzuki, M. and Tomura, K., 1983: Basic data for identifying the geologic source of archaeological obsidian by activation analysis and discriminant analysis. St. Paul's Review of Science, 4, 99-110.
- Suzuki, M., Kanayama, Y., Aoki, Y., and Tomura, K., 1984a: Intrasite obsidian analysis of the Hashimoto site, Sagamihara-shi, Kanagawa-ken, Japan. St. Paul's Review of Science, 4, 121-129.
- Suzuki, M., Kanayama, Y., Ono, A., Tsurumaru, T., Oda, S., and Tomura, K., 1984b: Obsidian analysis: 1974-1984. St. Paul's Review of Science, 4, 131-140.

南蛇井増光寺遺跡の黒曜石分析結果

No.	Sm	U	Th	Hf	Sc	Fe	La	SAS2	水和層厚	試料年代	出土遺構
3	7.97	7.96	26.6	4.37	5.09	0.521	28.7	WADATOGE	7.4	7,675	182号土坑
4	6.00	3.76	11.6	4.15	3.19	0.513	18.6	HOSHIGAT	18.0	70,975	〃
5	5.73	3.48	11.2	3.30	3.24	0.436	17.2	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
6	5.74	4.00	11.1	3.13	3.05	0.443	18.3	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
7	5.64	3.56	11.0	3.50	3.12	0.522	18.4	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
8	5.73	3.36	11.2	2.87	3.15	0.430	18.2	HOSHIGAT	5.4	6,222	〃
9	5.61	3.33	11.3	2.99	2.97	0.405	18.2	HOSHIGAT	6.1	8,242	〃
10	6.01	5.25	19.7	3.38	3.51	0.583	30.0	OMEGURA	5.8	7,196	〃
11	5.87	3.71	11.9	3.50	3.05	0.492	17.9	HOSHIGAT	4.3	3,907	〃
12	5.47	3.83	10.6	3.23	2.89	0.455	16.0	HOSHIGAT	32.3	229,673	〃
13	5.52	3.91	10.7	3.23	2.97	0.488	16.6	HOSHIGAT	5.9	7,710	〃
14	6.99	7.61	26.4	4.18	4.46	0.640	30.7	WADATOGE	5.7	4,679	〃
15	7.65	9.00	30.1	4.41	5.02	0.612	31.7	WADATOGE	5.6	4,516	〃
16	7.42	9.42	30.4	4.12	5.15	0.573	24.4	WADATOGE	4.8	3,181	〃
17	5.76	4.38	10.8	3.35	3.05	0.533	18.2	HOSHIGAT	4.3	3,907	〃
18	5.53	4.08	10.6	2.76	2.80	0.410	16.6	HOSHIGAT	4.4	4,288	〃
19	7.36	8.58	28.9	4.80	4.65	0.593	29.8	WADATOGE	5.9	5,013	〃
20	5.82	4.16	11.3	3.05	3.04	0.485	17.8	HOSHIGAT	6.7	9,943	〃
21	5.69	3.52	11.0	3.35	3.04	0.473	16.8	HOSHIGAT	4.6	4,687	〃
22	5.90	4.03	11.4	3.03	3.13	0.514	17.8	HOSHIGAT	4.7	4,893	〃
23	5.88	3.88	10.8	3.60	3.12	0.410	17.5	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
24	5.91	3.79	11.4	3.54	3.28	0.472	18.6	HOSHIGAT	6.3	8,791	〃
25	6.32	4.65	12.2	3.32	3.33	0.548	18.9	HOSHIGAT	5.8	7,451	〃
26	5.65	3.15	11.2	3.24	3.07	0.481	17.9	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
27	5.81	3.67	10.6	3.27	3.13	0.507	17.3	HOSHIGAT	5.4	6,222	〃
28	5.58	3.95	11.0	3.22	2.92	0.434	17.3	HOSHIGAT	5.4	6,222	〃
29	5.64	3.94	10.9	3.03	3.05	0.435	17.3	HOSHIGAT	5.0	5,318	〃
30	5.47	4.20	10.5	2.95	3.06	0.436	17.9	HOSHIGAT	5.9	7,451	〃
31	5.69	4.14	10.8	2.72	3.10	0.527	19.3	HOSHIGAT	6.1	8,242	〃
32	5.60	3.88	10.5	3.15	3.09	0.455	16.1	HOSHIGAT	5.7	6,946	〃
33	5.47	3.58	10.4	3.39	2.92	0.338	16.3	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
34	5.61	3.80	11.0	2.91	2.99	0.470	17.7	HOSHIGAT	5.6	6,700	〃
35	5.52	3.48	10.7	2.86	2.97	0.395	16.5	HOSHIGAT	4.6	4,485	〃
36	5.40	3.48	10.5	3.10	3.07	0.437	17.5	HOSHIGAT	5.7	6,946	〃
37	5.90	4.43	11.0	3.46	3.05	0.458	18.1	HOSHIGAT	6.0	7,974	〃
38	5.53	3.37	10.9	3.27	3.02	0.494	17.6	HOSHIGAT	29.4	190,167	〃
39	5.76	3.81	11.5	3.66	3.11	0.509	17.8	HOSHIGAT			〃
40	5.48	3.88	10.1	3.60	3.06	0.498	17.3	HOSHIGAT			〃
41	5.71	3.52	11.2	3.63	3.00	0.451	17.4	HOSHIGAT	4.5	4,288	〃
42	5.63	3.46	11.1	3.35	3.08	0.407	16.3	HOSHIGAT	7.4	11,804	〃
43	5.97	4.10	11.6	3.41	3.07	0.503	19.7	HOSHIGAT	4.5	4,288	〃
44	5.46	3.22	10.5	2.91	2.92	0.353	16.2	HOSHIGAT	7.1	11,166	〃
45	5.79	3.87	10.6	3.06	3.02	0.426	18.4	HOSHIGAT	4.3	3,907	〃
46	5.61	3.13	11.1	3.28	2.90	0.417	17.6	HOSHIGAT			〃
47	5.71	4.31	11.3	3.53	3.19	0.461	17.6	HOSHIGAT	5.8	7,451	〃
48	5.45	3.26	10.9	3.05	3.01	0.492	16.7	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
49	8.01	9.01	29.6	3.91	5.37	0.437	25.5	WADATOGE	8.5	10,162	〃
50	5.55	4.31	10.7	3.59	3.10	0.490	17.0	HOSHIGAT	8.9	17,546	〃
51	6.50	5.85	13.1	3.44	3.45	0.562	17.6	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
52	6.17	4.60	11.6	4.21	3.26	0.500	18.0	HOSHIGAT	5.9	7,710	〃
53	6.38	4.19	12.1	4.27	3.26	0.502	17.8	HOSHIGAT	5.2	5,989	193号土坑
54	6.44	4.39	12.9	3.81	3.28	0.536	18.2	HOSHIGAT	30.0	199,362	〃
55	5.57	4.21	11.3	3.86	3.17	0.406	15.5	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
56	6.03	3.96	10.9	3.26	3.29	0.496	17.2	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
57	6.66	4.95	12.7	3.79	3.56	0.527	18.7	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
58	6.10	5.04	12.1	3.89	3.20	0.477	15.5	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
59	7.08	4.51	13.5	4.16	4.02	0.630	18.8	HOSHIGAT	5.4	6,459	〃
60	6.23	3.73	12.2	4.48	3.37	0.607	17.2	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
61	6.06	3.98	12.0	2.80	3.02	0.502	18.7	HOSHIGAT			〃
62	6.22	4.05	11.5	3.74	3.23	0.520	18.5	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃

南蛇井増光寺遺跡の黒曜石の分析

No.	Sm	U	Th	Hf	Sc	Fe	La	SAS2	水和層厚	試料年代	出土遺構
63	6.38	4.41	11.9	3.52	3.35	0.596	16.6	HOSHIGAT	7.4	11,804	193号土坑
64	6.06	4.65	11.5	3.55	3.28	0.582	16.9	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
65	6.11	3.98	11.7	4.03	3.44	0.455	17.8	HOSHIGAT	24.5	131,880	〃
66	6.16	4.85	11.7	3.38	3.27	0.506	18.2	HOSHIGAT	4.9	5,318	〃
67	6.53	4.75	12.7	4.11	3.31	0.582	18.1	HOSHIGAT	4.5	4,288	〃
68	6.42	4.58	12.0	3.91	3.34	0.556	18.3	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
69	6.42	4.59	11.9	3.22	3.37	0.474	16.7	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
70	5.91	3.92	11.7	3.96	3.08	0.530	15.8	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
71	7.39	6.93	27.0	3.60	4.56	0.634	31.1	WADATOGI	6.9	6,857	〃
72	7.87	8.23	30.4	3.91	4.82	0.596	32.3	WADATOGI	5.8	4,845	460号土坑
73	5.98	2.82	11.6	3.70	3.35	0.543	16.8	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
74	6.76	5.57	25.0	4.68	4.38	0.722	27.7	OMEGURA	5.5	6,700	〃
75	7.94	8.34	29.7	4.92	4.99	0.675	31.4	WADATOGI	17.8	45,121	〃
76	6.09	3.62	11.7	3.36	3.20	0.480	17.8	HOSHIGAT	5.5	6,459	〃
77	5.46	3.15	10.7	3.18	2.83	0.494	17.2	HOSHIGAT	6.1	8,242	〃
78	5.64	3.59	10.6	3.08	2.93	0.405	16.3	HOSHIGAT	6.6	9,358	〃
79	5.60	4.28	10.7	3.61	3.10	0.402	15.4	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
80	6.09	3.06	11.1	3.26	2.91	0.427	19.9	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
81	6.32	3.90	12.0	3.56	3.24	0.591	17.4	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
82	7.61	8.58	30.6	4.98	5.11	0.619	27.5	WADATOGI	6.3	5,716	〃
83	7.87	8.33	27.5	4.38	4.39	0.665	32.6	WADATOGI	4.8	3,318	〃
84	7.08	7.75	29.0	4.56	4.75	0.650	28.6	WADATOGI	6.3	5,716	〃
85	6.11	3.51	12.1	3.47	3.14	0.486	17.8	HOSHIGAT	5.6	6,946	〃
86	7.70	7.03	28.7	4.63	4.39	0.689	31.8	WADATOGI	5.6	4,516	〃
87	7.12	7.15	25.7	4.74	4.06	0.736	33.0	OMEGURA	5.4	6,222	〃
88	6.49	6.08	23.1	4.48	3.89	0.628	30.0	OMEGURA	5.4	6,222	〃
89	6.01	4.17	11.0	3.14	3.24	0.493	18.7	HOSHIGAT	5.7	7,196	〃
90	6.89	8.25	23.9	4.13	4.32	0.658	32.6	OMEGURA	5.8	7,451	〃
91	5.84	4.78	11.1	3.37	3.21	0.475	17.0	HOSHIGAT	5.7	7,196	〃
92	7.63	8.48	27.6	4.53	4.82	0.660	31.2	WADATOGI	5.5	4,356	〃
93	6.00	4.20	11.0	3.57	3.40	0.510	18.8	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
94	7.73	9.16	28.0	5.02	4.82	0.780	34.8	WADATOGI	5.6	4,356	〃
95	6.78	8.05	23.6	4.11	4.08	0.727	31.4	OMEGURA	5.6	6,700	〃
96	7.08	8.43	25.4	3.74	4.58	0.594	28.9	WADATOGI	5.5	4,356	〃
97	5.51	3.55	10.8	3.04	3.14	0.476	17.6	HOSHIGAT	6.5	9,358	〃
98	6.01	5.34	10.8	3.13	3.16	0.542	19.6	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
99	6.35	6.34	20.2	4.49	3.66	0.668	29.4	OMEGURA	4.3	3,907	〃
100	7.55	9.73	30.5	4.42	5.16	0.510	28.7	WADATOGI	4.7	3,181	〃
101	7.17	7.46	26.9	4.50	4.57	0.588	29.3	WADATOGI	6.3	5,716	〃
102	5.92	3.62	11.1	3.58	3.28	0.503	17.8	HOSHIGAT	5.1	5,761	524号土坑
103	6.00	3.90	11.1	3.60	3.02	0.503	17.4	HOSHIGAT			〃
104	5.69	3.62	10.8	3.30	3.16	0.524	16.4	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
105	5.92	3.44	11.5	2.82	3.25	0.443	19.3	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
106	5.54	3.89	11.0	2.96	3.05	0.450	16.7	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
107	5.94	3.54	12.0	3.16	3.16	0.491	17.9	HOSHIGAT			〃
108	5.92	4.39	11.4	3.06	3.15	0.445	18.1	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
109	5.82	3.62	10.8	3.27	3.08	0.491	16.4	HOSHIGAT	8.2	14,533	〃
110	5.85	3.43	11.5	3.94	3.27	0.493	17.8	HOSHIGAT	4.8	5,103	〃
111	5.81	3.97	11.1	3.01	3.22	0.503	17.9	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
112	6.06	3.53	11.7	2.98	3.19	0.546	19.1	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
113	6.00	3.55	11.1	3.39	3.33	0.550	18.0	HOSHIGAT	22.0	107,212	〃
114	5.63	3.86	10.4	2.89	2.95	0.468	17.5	HOSHIGAT	5.6	6,946	〃
115	5.99	3.71	10.7	3.37	3.17	0.436	17.6	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
116	6.13	4.10	11.8	3.05	3.09	0.521	17.8	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
117	5.85	3.31	11.2	3.08	2.97	0.507	18.1	HOSHIGAT	4.5	4,288	〃
118	5.64	3.69	10.8	3.15	3.06	0.496	16.5	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
119	5.93	4.12	11.4	3.53	3.20	0.479	18.7	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
120	5.89	3.46	11.6	3.00	3.19	0.501	19.1	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
121	5.73	4.92	11.2	3.49	3.06	0.588	17.9	HOSHIGAT	4.5	4,288	〃
122	5.99	3.89	11.6	2.95	3.13	0.478	16.5	HOSHIGAT	5.2	5,761	〃
123	6.10	4.03	11.6	3.25	3.30	0.517	19.6	HOSHIGAT	4.6	4,485	〃

付 編

No	Sm	U	Th	Hf	Sc	Fe	La	SAS2	水和層厚	試料年代	出土遺構
124	6.95	7.37	25.6	4.27	4.53	0.565	31.8	WADATOGÉ			524号土坑
125	6.16	4.54	11.0	4.04	3.29	0.513	20.1	HOSHIGAT	6.1	8,242	〃
126	5.87	3.72	11.0	3.14	3.22	0.426	18.0	HOSHIGAT	5.5	6,459	〃
127	6.11	3.80	11.4	2.85	3.40	0.574	20.8	HOSHIGAT	4.6	4,687	〃
128	6.19	4.31	11.8	2.55	3.28	0.476	18.3	HOSHIGAT	4.7	4,687	〃
129	6.00	3.02	11.3	3.45	3.13	0.453	18.3	HOSHIGAT	5.4	6,222	〃
130	5.51	3.79	11.1	3.27	3.08	0.522	16.7	HOSHIGAT	4.9	5,318	〃
131	5.79	3.99	11.1	3.14	3.23	0.501	18.9	HOSHIGAT	4.9	5,103	〃
132	5.96	3.05	11.4	3.31	3.07	0.496	18.1	HOSHIGAT	5.9	7,710	〃
133	6.02	3.44	11.8	3.48	3.31	0.439	18.8	HOSHIGAT	6.7	9,943	〃
134	5.96	4.11	11.6	3.74	3.26	0.479	18.2	HOSHIGAT	5.7	6,946	〃
135	5.96	4.45	10.8	3.20	3.12	0.481	18.2	HOSHIGAT	5.9	7,710	〃
136	5.88	4.00	11.5	3.31	3.15	0.468	18.8	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
137	5.93	3.74	11.5	3.87	3.30	0.453	17.0	HOSHIGAT	4.2	3,723	〃
138	6.00	3.48	11.8	3.58	3.18	0.512	19.7	HOSHIGAT	5.3	5,989	〃
139	5.80	3.99	11.0	3.08	3.20	0.538	18.2	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
140	5.89	3.90	10.7	3.28	3.16	0.564	18.5	HOSHIGAT	5.4	6,459	〃
141	6.20	4.54	11.8	3.61	3.35	0.569	19.4	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
142	6.15	4.38	11.9	3.13	3.20	0.512	19.4	HOSHIGAT	4.9	5,318	〃
143	6.38	4.51	12.1	4.33	3.51	0.505	19.6	HOSHIGAT	5.0	5,318	〃
144	6.43	4.36	11.5	3.70	3.29	0.532	18.1	HOSHIGAT	5.6	6,700	〃
145	5.71	3.44	10.9	3.25	3.33	0.502	18.0	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
146	6.03	3.75	11.1	3.13	3.30	0.564	18.3	HOSHIGAT	4.1	3,723	〃
147	5.62	4.91	11.6	3.32	3.07	0.422	18.1	HOSHIGAT	6.5	9,358	〃
148	6.34	3.55	12.1	3.65	3.45	0.404	17.9	HOSHIGAT	5.7	7,196	〃
149	6.20	4.14	11.4	3.58	3.38	0.500	18.5	HOSHIGAT	5.8	7,451	〃
150	6.39	3.18	11.3	3.31	3.25	0.496	19.5	HOSHIGAT	5.8	7,196	〃
151	5.79	3.86	11.2	3.44	3.16	0.459	18.1	HOSHIGAT	4.3	4,095	〃
152	6.23	4.38	12.0	2.89	3.34	0.449	19.0	HOSHIGAT			37号住居
153	6.05	3.74	11.8	3.36	3.28	0.526	18.4	HOSHIGAT	5.3	6,222	〃
154	6.04	4.19	11.5	3.29	3.41	0.475	17.9	HOSHIGAT	5.1	5,761	〃
155	6.31	4.41	12.5	3.82	3.37	0.507	18.5	HOSHIGAT	5.8	7,196	〃
156	5.88	3.62	11.7	3.15	3.14	0.474	18.4	HOSHIGAT	5.5	6,459	〃
157	5.67	3.29	10.9	3.27	3.12	0.488	17.7	HOSHIGAT	6.1	7,974	〃
158	6.58	4.67	12.6	3.47	3.64	0.455	19.7	HOSHIGAT	6.2	8,514	〃
159	5.97	3.96	11.7	3.09	3.24	0.386	17.3	HOSHIGAT	4.9	5,318	〃
160	6.17	3.82	12.0	3.11	3.39	0.507	16.7	HOSHIGAT	4.6	4,485	〃
161	6.40	4.59	12.0	3.55	3.41	0.484	18.5	HOSHIGAT			〃
162	6.29	4.49	12.3	3.98	3.44	0.506	18.7	HOSHIGAT	6.1	8,242	〃
163	6.71	4.56	12.8	3.72	3.54	0.572	20.4	HOSHIGAT	5.7	6,946	〃
164	6.08	4.52	12.0	3.45	3.41	0.477	17.5	HOSHIGAT	4.6	4,485	〃
165	6.30	4.02	11.7	3.42	3.22	0.456	17.8	HOSHIGAT	5.0	5,318	〃
166	1.85	1.61	15.6	8.39	0.00	1.829	0.8	?			〃
167	6.04	3.63	11.8	3.27	3.30	0.479	18.9	HOSHIGAT	5.2	5,989	〃
168	5.97	4.18	11.6	3.25	3.24	0.443	17.7	HOSHIGAT			〃
169	5.95	4.09	11.4	3.31	3.31	0.471	17.4	HOSHIGAT			〃
170	6.25	4.32	12.2	3.56	3.36	0.541	18.6	HOSHIGAT	6.1	7,974	〃
171	8.05	10.12	31.3	5.43	5.35	0.591	32.5	WADATOGÉ	5.6	4,516	〃
172	6.15	4.12	12.2	3.47	3.27	0.489	18.0	HOSHIGAT			〃
173	5.69	4.05	11.3	3.30	3.10	0.458	17.4	HOSHIGAT	5.9	7,451	〃
174	6.24	4.33	12.3	3.74	3.42	0.479	19.3	HOSHIGAT	5.0	5,537	〃
175	6.06	4.14	11.8	4.04	3.49	0.458	18.1	HOSHIGAT	5.0	5,318	〃
176	5.96	4.36	11.7	3.34	3.32	0.491	17.9	HOSHIGAT	4.1	3,723	〃
177	6.53	4.51	12.6	3.62	3.48	0.536	19.3	HOSHIGAT	8.7	16,766	〃
178	6.01	4.08	11.6	3.32	3.32	0.467	18.6	HOSHIGAT	6.3	8,514	〃
179	2.99	1.03	5.1	2.21	3.63	0.556	15.6	KOZUSHIM	6.1	15,718	〃
180	5.94	3.47	11.4	3.38	3.30	0.483	17.7	HOSHIGAT	5.6	6,946	〃
181	4.94	3.49	8.2	2.39	2.30	0.321	14.4	HOSHIGAT	5.7	7,196	〃
182	8.90	10.46	32.9	5.17	6.07	0.528	26.9	WADATOGÉ	6.0	5,184	33号住居
183	6.31	4.57	12.3	4.15	3.39	0.490	18.9	HOSHIGAT	5.6	6,946	〃
184	6.26	3.67	11.8	3.61	3.44	0.510	18.8	HOSHIGAT	5.6	6,700	〃

南蛇井増光寺遺跡の黒曜石の分析

No.	Sm	U	Th	Hf	Sc	Fe	La	SAS2	水和層厚	試料年代	出土遺構
185	5.76	3.39	11.0	3.07	3.29	0.455	17.1	HOSHIGAT	4.8	4,893	33号住居
186	6.24	4.13	11.9	3.06	3.49	0.506	19.3	HOSHIGAT	4.8	4,893	〃
187	5.88	3.78	11.5	2.92	3.32	0.484	18.3	HOSHIGAT	5.5	6,700	〃
188	5.92	4.66	11.3	3.47	3.24	0.437	19.1	HOSHIGAT	5.6	6,700	〃
189	6.39	4.45	12.7	3.96	3.38	0.485	19.7	HOSHIGAT	4.8	5,103	〃
190	7.05	7.87	26.1	4.59	4.69	0.604	29.5	WADATOGI	5.6	4,356	〃
191	5.74	4.00	11.4	3.72	3.16	0.473	18.9	HOSHIGAT	7.7	13,133	〃
192	6.01	3.56	11.4	3.21	3.29	0.498	15.6	HOSHIGAT	6.0	7,710	〃
193	6.07	4.63	12.1	3.59	3.25	0.456	18.7	HOSHIGAT	5.8	7,451	〃
194	5.90	3.55	12.1	3.67	3.18	0.480	19.6	HOSHIGAT	5.4	6,222	〃
195	5.96	3.87	11.8	3.32	3.33	0.429	16.8	HOSHIGAT	6.0	7,974	〃
196	7.69	9.97	30.0	4.58	4.93	0.532	28.5	WADATOGI	5.6	4,356	〃
197	6.09	4.28	12.0	3.27	3.32	0.456	17.7	HOSHIGAT	5.9	7,710	〃
198	6.16	4.57	12.1	3.48	3.29	0.514	18.9	HOSHIGAT	4.1	3,723	〃
199	6.08	5.06	11.9	3.42	3.36	0.453	18.1	HOSHIGAT	5.4	6,222	〃
200	5.74	4.16	11.1	3.05	3.20	0.459	15.9	HOSHIGAT	4.8	5,103	〃
201	6.00	4.55	11.5	3.38	3.31	0.474	19.6	HOSHIGAT	5.1	5,537	〃

南蛇井増光寺 (産地・年代順)

No.	SAS2	試料年代
146	HOSHIGAT	3,723
198	HOSHIGAT	3,723
176	HOSHIGAT	3,723
137	HOSHIGAT	3,723
17	HOSHIGAT	3,907
11	HOSHIGAT	3,907
45	HOSHIGAT	3,907
151	HOSHIGAT	4,095
18	HOSHIGAT	4,288
117	HOSHIGAT	4,288
67	HOSHIGAT	4,288
43	HOSHIGAT	4,288
121	HOSHIGAT	4,288
41	HOSHIGAT	4,288
160	HOSHIGAT	4,485
35	HOSHIGAT	4,485
164	HOSHIGAT	4,485
123	HOSHIGAT	4,485
127	HOSHIGAT	4,687
21	HOSHIGAT	4,687
33	HOSHIGAT	4,687
79	HOSHIGAT	4,687
81	HOSHIGAT	4,687
51	HOSHIGAT	4,687
80	HOSHIGAT	4,687
98	HOSHIGAT	4,687
104	HOSHIGAT	4,687
128	HOSHIGAT	4,687
105	HOSHIGAT	4,687
119	HOSHIGAT	4,687
106	HOSHIGAT	4,687
22	HOSHIGAT	4,893
186	HOSHIGAT	4,893
185	HOSHIGAT	4,893
110	HOSHIGAT	5,103
200	HOSHIGAT	5,103
189	HOSHIGAT	5,103
131	HOSHIGAT	5,103
159	HOSHIGAT	5,318
66	HOSHIGAT	5,318

No.	SAS2	試料年代
130	HOSHIGAT	5,318
142	HOSHIGAT	5,318
175	HOSHIGAT	5,318
165	HOSHIGAT	5,318
29	HOSHIGAT	5,318
143	HOSHIGAT	5,318
174	HOSHIGAT	5,537
201	HOSHIGAT	5,537
154	HOSHIGAT	5,761
141	HOSHIGAT	5,761
102	HOSHIGAT	5,761
116	HOSHIGAT	5,761
136	HOSHIGAT	5,761
26	HOSHIGAT	5,761
48	HOSHIGAT	5,761
73	HOSHIGAT	5,761
112	HOSHIGAT	5,761
122	HOSHIGAT	5,761
139	HOSHIGAT	5,989
70	HOSHIGAT	5,989
167	HOSHIGAT	5,989
93	HOSHIGAT	5,989
68	HOSHIGAT	5,989
64	HOSHIGAT	5,989
60	HOSHIGAT	5,989
53	HOSHIGAT	5,989
138	HOSHIGAT	5,989
5	HOSHIGAT	6,222
7	HOSHIGAT	6,222
120	HOSHIGAT	6,222
108	HOSHIGAT	6,222
58	HOSHIGAT	6,222
153	HOSHIGAT	6,222
57	HOSHIGAT	6,222
62	HOSHIGAT	6,222
56	HOSHIGAT	6,222
55	HOSHIGAT	6,222
27	HOSHIGAT	6,222
28	HOSHIGAT	6,222
199	HOSHIGAT	6,222

No.	SAS2	試料年代
8	HOSHIGAT	6,222
194	HOSHIGAT	6,222
129	HOSHIGAT	6,222
140	HOSHIGAT	6,459
59	HOSHIGAT	6,459
76	HOSHIGAT	6,459
126	HOSHIGAT	6,459
156	HOSHIGAT	6,459
111	HOSHIGAT	6,700
6	HOSHIGAT	6,700
23	HOSHIGAT	6,700
145	HOSHIGAT	6,700
187	HOSHIGAT	6,700
69	HOSHIGAT	6,700
115	HOSHIGAT	6,700
118	HOSHIGAT	6,700
184	HOSHIGAT	6,700
144	HOSHIGAT	6,700
34	HOSHIGAT	6,700
188	HOSHIGAT	6,700
85	HOSHIGAT	6,946
114	HOSHIGAT	6,946
180	HOSHIGAT	6,946
183	HOSHIGAT	6,946
163	HOSHIGAT	6,946
32	HOSHIGAT	6,946
134	HOSHIGAT	6,946
36	HOSHIGAT	6,946
89	HOSHIGAT	7,196
91	HOSHIGAT	7,196
148	HOSHIGAT	7,196
181	HOSHIGAT	7,196
150	HOSHIGAT	7,196
155	HOSHIGAT	7,196
149	HOSHIGAT	7,451
25	HOSHIGAT	7,451
47	HOSHIGAT	7,451
193	HOSHIGAT	7,451
30	HOSHIGAT	7,451
173	HOSHIGAT	7,451

付 編

No	SAS2	試料年代
135	HOSHIGAT	7,710
197	HOSHIGAT	7,710
13	HOSHIGAT	7,710
52	HOSHIGAT	7,710
132	HOSHIGAT	7,710
192	HOSHIGAT	7,710
37	HOSHIGAT	7,974
195	HOSHIGAT	7,974
170	HOSHIGAT	7,974
157	HOSHIGAT	7,974
162	HOSHIGAT	8,242
77	HOSHIGAT	8,242
9	HOSHIGAT	8,242
31	HOSHIGAT	8,242
125	HOSHIGAT	8,242
158	HOSHIGAT	8,514
178	HOSHIGAT	8,514
24	HOSHIGAT	8,791
147	HOSHIGAT	9,358
97	HOSHIGAT	9,358
78	HOSHIGAT	9,358
20	HOSHIGAT	9,943

No	SAS2	試料年代
133	HOSHIGAT	9,943
44	HOSHIGAT	11,166
63	HOSHIGAT	11,804
42	HOSHIGAT	11,804
191	HOSHIGAT	13,133
109	HOSHIGAT	14,533
177	HOSHIGAT	16,766
50	HOSHIGAT	17,546
4	HOSHIGAT	70,975
113	HOSHIGAT	107,212
65	HOSHIGAT	131,880
38	HOSHIGAT	190,167
54	HOSHIGAT	199,362
12	HOSHIGAT	229,673
179	KOZUSHIM	15,718
99	OMEGURA	3,907
88	OMEGURA	6,222
87	OMEGURA	6,222
74	OMEGURA	6,700
95	OMEGURA	6,700
10	OMEGURA	7,196
90	OMEGURA	7,451

No	SAS2	試料年代
100	WADATOGE	3,181
16	WADATOGE	3,181
83	WADATOGE	3,318
92	WADATOGE	4,356
96	WADATOGE	4,356
94	WADATOGE	4,356
196	WADATOGE	4,356
190	WADATOGE	4,356
171	WADATOGE	4,516
15	WADATOGE	4,516
86	WADATOGE	4,516
14	WADATOGE	4,679
72	WADATOGE	4,845
19	WADATOGE	5,013
182	WADATOGE	5,184
101	WADATOGE	5,716
82	WADATOGE	5,716
84	WADATOGE	5,716
71	WADATOGE	6,857
3	WADATOGE	7,675
49	WADATOGE	10,162
75	WADATOGE	45,121

5号溝について

石 守 晃

1 DS区—5号溝と土地区画

DS区に於いて確認された5号溝は、第2章第6節に記されたように上幅6.3m、深さ0.9~1.3m以下を測る箱堀状の形態を有する溝遺構である。この遺構は調査区南端付近で東西走行する部分と調査区北半の西端付近を南北に走行する2条の部分からなり、この2条は調査時点からDS区の西側路線外で直角に接するものと想定されてきたものであるが、地割りの状況から東西走行の溝が更に西に伸びる可能性はないものの、南北走行の溝については第1図に矢印で示したように更に南に伸びる可能性があり、その延長線上の段差のある部分では「▲」で示したように抉れが見られることからこの部分まで伸びていたことが考慮される。また5号溝はその北端付近を除いて現道下、或いは現道沿に遺存していたため、路線外に出るDS区東部分も道路のラインに沿って直線的に中沢川まで伸びているものと想定される。5号溝は上信電鉄線を越えてDN区・E区—2号溝に続き、やがて中沢川に達するが、250m余りの間で延べ200m程を調査している。

これらの点から、5号溝は少なくとも調査時点で認識されていたようにE区の西北西から入って調査区の北東で流路を南に変える中沢川の南或は西側の土地を区画する目的を以て掘削されたものと判断されるのである。この5号溝と中沢川によって画される区画（以下「区画」とする）は南北約200m、東西約180mを測るもので、調査段階では三角形に近い台形様のプランを見せていたが、現代に入って中沢川が改修される以前は第1図に示したように区画北部の西寄りの中沢川がコ字状に蛇行していたのに伴って長方形様の張り出し部分を持っていたものようであり、この張り出し部分は中沢川を挟んで平賀城の主郭推定域と接している。⁽¹⁾この区画の平面形態は館址として一般的な方形のようなプランを示すものではないが、遺構形態からは城館址または環濠集落的性格を持ったものであると想定されるのである。

尚、DS区—5号溝及びDN・E区—2号溝（以下「5号溝」とする）はDN区からE区過半にかけての部分では字久保界戸と字中里の字境に在るが、DS区或いは字増光寺の地内に位置している。また、5号溝からは中世から近代に至る時期の遺物の出土が見られたがその数は少なく、下位層に13世紀の青磁が出土するものの細かい時期特定はできず、覆土の状況から概ね中世の所産として把握されるに過ぎない。

2 南蛇井増光寺遺跡に於ける中世の遺構—溝及び掘立柱建物—

次に“区画”周辺の中世の遺構、特に溝と掘立柱建物跡について見てみたい。初めに上げるのはDS区東部に確認された4号溝である。この溝は幅1.1m、深さ1.1m程を測る薬研の溝であり5号溝と同時期のものと考えられ、5号溝を南端として北側—5号溝の垂直方向—に向けて掘削されているが、DS区の中程で調査区の東側に出ており、現在の地割り等としてもその痕跡は残されていないため全体状況は明らかにはできなかった。しかし、4号溝は区画内を区分するものとして把握されよう。

一方、DN区及びE区に於いては28棟の掘立柱建物が確認されている。⁽²⁾これらは主軸方位の近似や覆土中の含有物の状況から5号溝（DN・E区—2号溝）と同時期の所産として想定されているものである。これらの掘立柱建物は覆土に含むAs-Bの量から、その多いもの一群（第2図の●印）と僅かに含まないもの一群（2図の○印）とに大別されているが、この2群が時期差を示すものであるか否かは特定できていない。また、こうした掘立柱建物のうち5棟は“区画”外に在り、調査面積の比較からも断定はできないが、

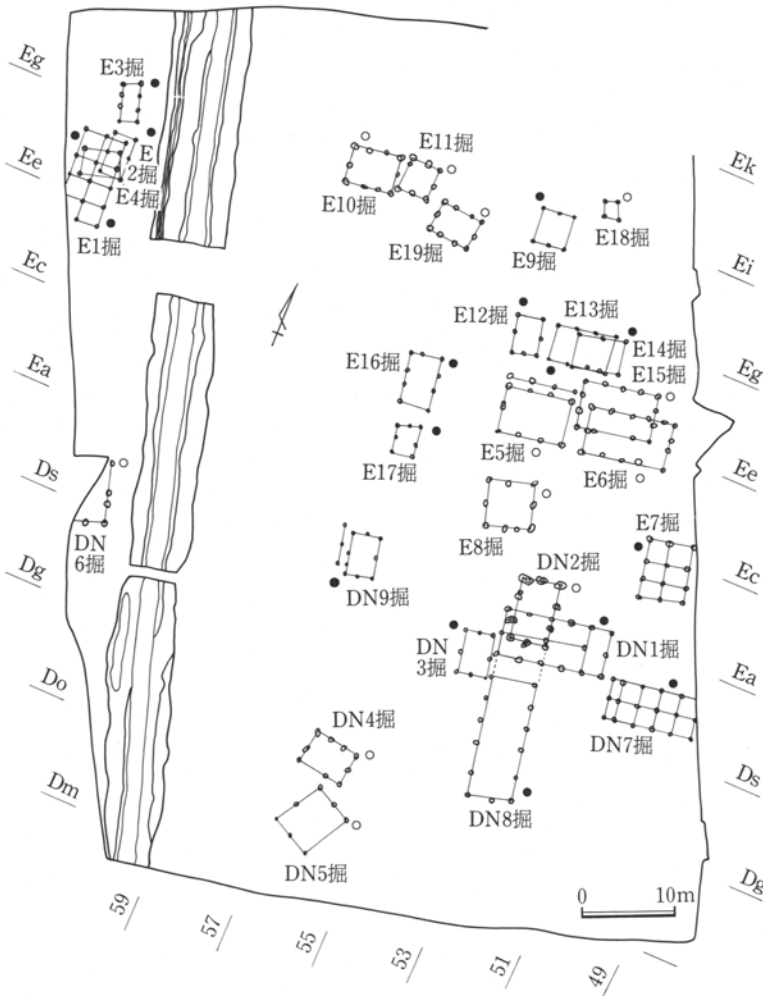


第1図

“区画”内に建てられたものは23棟と多く、区画の「内側」というものが意識されていたことが窺われる。

個々の掘立柱建物は区画の外に於いても南北に主軸を持つ4間×2間の総柱建物であるE区1号掘立のよ

うに比較的大型のもあったが、区画内でも例えばDN区で東西に主軸を持ち5間×2間で通常の掘立柱建物と総柱の建物の中間形態を示すDN1号掘立柱建物、やはり東西に主軸を持つ4間×2間の総柱の建物で西側に庇を持つDN区7号掘立や南北に主軸を持つ5間×2間のDN区8号掘立、主軸を東西方向に持つ3間×2間のE区5号掘立や、やはり東西方向に主軸を持ち東側に入り口のようなものを有する4間×2間のE区6号掘立など特徴的且つ比較的大型のものや、DN8号掘立のような2間×2間の方形プランのものなど特徴的なもの多く見られた。また、DN8号掘立の東西の柱列がDN1号掘立柱建物の西側から第1列と第3列の南北の柱列にライン・柱間共に連続するような位置関係にあり、DN1号掘立の南側の柱列がDN7号の北側の柱列にラインの上で重なり、底部分を除く柱間についても連続するよう



第2図

な位置関係にあり、E区6号掘立と庇を除くE区5号掘立の南北柱列が比較的近似したライン上で且つ連続的な柱間を示すことから区画内部の掘立柱建物は個々単独に建てられていたものではなく、集合体としての要素を持つものと思われる。こうした状況は通常見られる掘立柱建物のあり方とは異なっており、区画の内部の土地利用に何らかの規制のあったことや有力者の存在を窺わせるものである。

さて、区画の外側では比較的5号溝に近い位置に掘立柱建物の遺存が確認されているが、区画の内部に於いては5号溝から11.4m以内に掘立柱建物は発見されていない。且つこのエリア内にはピット等の遺構も概して多くないことから、5号溝から11.4m以内のエリアには元々掘立柱建物は建てられていなかったものと想定される。こうした状況は土塁の存在を示唆するものと思われる。

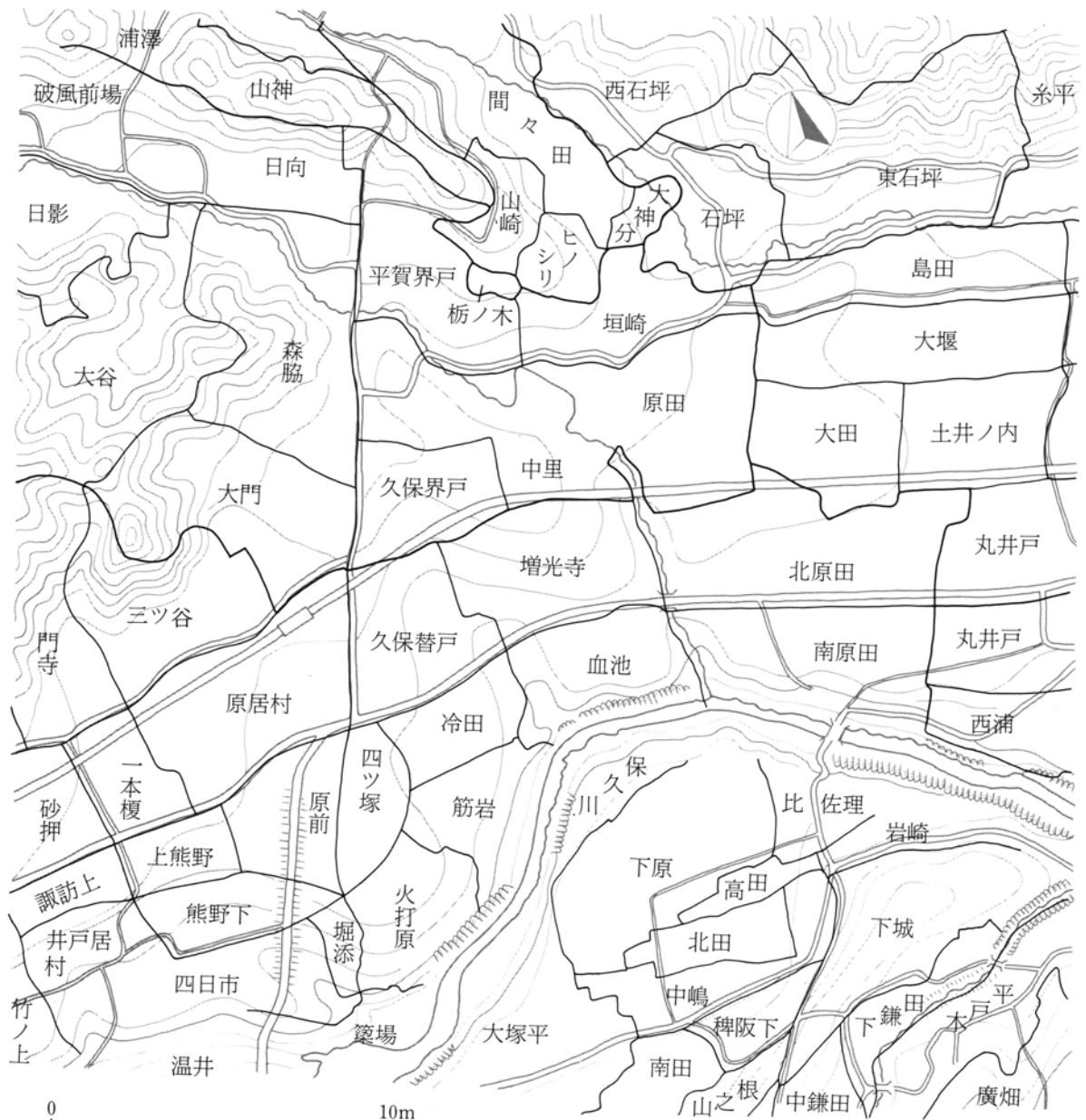
前述のピットの項で述べたように残念乍らDS区に於いては遺構の重なりが激しかったため掘立柱建物を特定することはできなかったのであるが少なくともDN・E区の遺構の状況から5号溝にはこれに沿って土塁が設けられており、5号溝と中沢川に画された区画には非集落的要素を持つ建物の建てられていたことが想

定されるのである。従って5号溝は堀としての機能を持つもので、“区画”は館址的性格を持っていたものと判断される。また、4号溝の存在から区画の内部は少なくとも東西2つ以上の区域に分割されていたことが窺われるのである。

3 5号溝に伴う館的遺構の選地について

上述のように遺構から見ると“区画”は土塁を伴う堀と、概ね規則的配列を示す掘立柱建物遺構から成る館的性格を有するものであるが、次にこの館的遺構の選地や性格について地形や地名から考えてみたい。

大きく見ると周辺地域の地形は西は戌岩山・稲荷沢山、北西は日向山、北は太郎山・神成山等の山地、南は鑄川という大きな河川に画されるものの、遺跡周辺以東は比較的平坦な地形を呈している。しかし細かく見ると平坦部にも凹凸が見られ、遺跡北西の向山の北側を東流する蚊沼川や南を東流する中沢川による谷地



第3図

形とその中間に東西に入る谷地形と、これらに画される微高地が見られる。“区画”はこのうち中沢川と遺跡地西側の谷地形とに画された微高地上のピークに当たる付近に在る。この位置は富岡市西南部の神農原から南蛇井にかけての平坦部の西端部の中程に当たり、東側の耕作地帯に接し、これを見渡せる位置にある。また“区画”の南150m程を東西に走る国道254号線の旧道は古くは鎌倉街道或は中山道の脇往還で、明治年間には県道として富岡方面から簗川左岸を進み、山越えて下仁田町に抜けていたものである⁽⁴⁾。遺跡南西方に位置する南蛇井氏の居城とされる原城（第3図の字「火打原」「堀添」）は神農原～南蛇井間の平坦部の西端を押えるものであるが、“区画”もそれに近い位置に在る。こうした点に於いて“区画”は付近では館や集落等の適地であって水田等や非居住地域としては認識されないものである。

一方地名から見ると本遺跡の乗る微高地部は北から「中里」「増光寺」「血池」という小字名を持つが、「血池」は前2者に対し若干低くなっている。また、遺跡西側の谷地形は北から「久保界戸」「久保替戸」「冷田」「筋岩」、中沢川左岸部分は西から「平賀界戸」「垣崎」、更に南に向かって「原田」「北原田」「南原田」である。このうち“区画”内の地名はDS区では「増光寺」、DN区・E区は「中里」であり、文字からすると前者と「血池」は寺院、後者は集落に関係する可能性が想定されるが、これらに関する伝承等は残されていないようである。また遺跡地西側の地名では近世の中沢村に属する「久保界戸」と同じく南蛇井村に属する「久保替戸」は異なった文字と読みを持つが、江戸時代の早い段階以前は「くぼかいと」として一つの地域であったと推定される。この「かいと」は地形から所謂「垣内」の「かいと」ではなく「峡」から来る「かいと」と判断され⁽⁵⁾、「冷田」も低地を示すものと思われる。尚、前記の南蛇井・中沢両村で「北境川」と呼ばれた中沢川対岸の「平賀界戸」は「久保界戸」との関係からやはり「峡」から来るものと判断され、「垣崎」は「垣内」に関係し、「原田」以下は低地に伴う水田或は非居住地を示すものと思われる。このように本遺跡に係る地名は、周辺部が低地や耕作等を示すものに対し、DS・DN・E区に拘わるものは居住域、或は寺院を示すものであって周辺部とは異なったものとして認識されていたものと思われる。

尚、5号溝には流水の痕跡が見られたが、これが水濠等導水を意図したものか、単に中沢川のオーバーフローによるものであるかは特定できなかった。しかし中沢川の水量調節を意図したものであるにしては下流部の距離が短か過ぎ、水濠とするには底面が整い過ぎていように思われるため偶発的なものと思われる。

6 小 結

以上述べてきたように5号溝と中沢川に画された“区画”は周辺の谷地形或は低地に囲まれた舌状の微高地の中程に設定されたもので、位置的に神農原から南蛇井に至る平坦部の西端にあつてこれを見通す位置に当たるものであり、館、環濠集落或は寺院といった性格が想定されるものである。残念乍ら、その性格を明瞭にすることはできなかったが、少なくとも5号溝（及びDN・E区-2号溝）は土塁を伴う中世の堀として認識されるものである。今後、その性格等については北接する平賀城の遺構との関係を含め、更に検討を加えていく必要があるものと思われるのである。

【註】

- (1) 山崎一「418 平賀城」『群馬県古城址の研究 下巻』1980 147頁
- (2) 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団「南蛇井増光寺遺跡II」本文編 222～248頁
- (3) 小字については、群馬県知事官房「北甘楽郡小字名調査」「明治14年地理雑件」を参考にし、振り仮名は現代仮名使いに改めた。
- (4) 群馬県教育委員会『鎌倉街道』1983、国土地理院1/5000図『富岡』（大正3年発行）等を参考とした。
- (5) 『上野國北甘楽郡村誌巻五』明治8年（群馬県文化振興会『上野国郡村誌 8 甘楽郡1』昭和58年 154～177頁 等を参

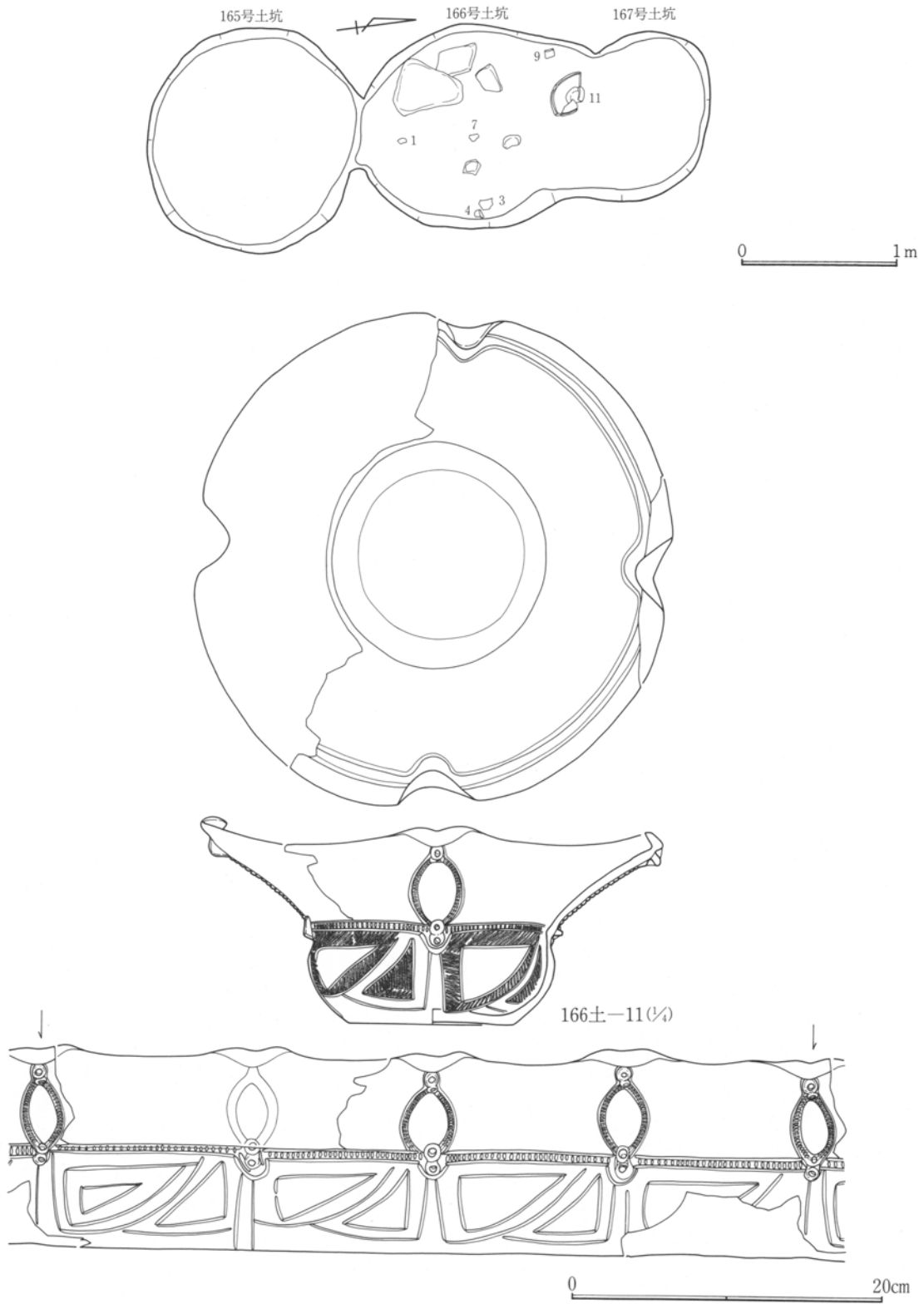
付 編

考とした。

- (6) 「かいと」の種類については、都丸十九一『地名研究入門』1995 83頁 を参考にした。
- (7) 平賀城については発掘調査の結果（財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団『中沢平賀界戸遺跡』1996）、堀が小規模であったり不明瞭である等、従来想定されていたのとは異なった形態を呈しており、筆者は城域が西側へ広がる可能性を考えている。

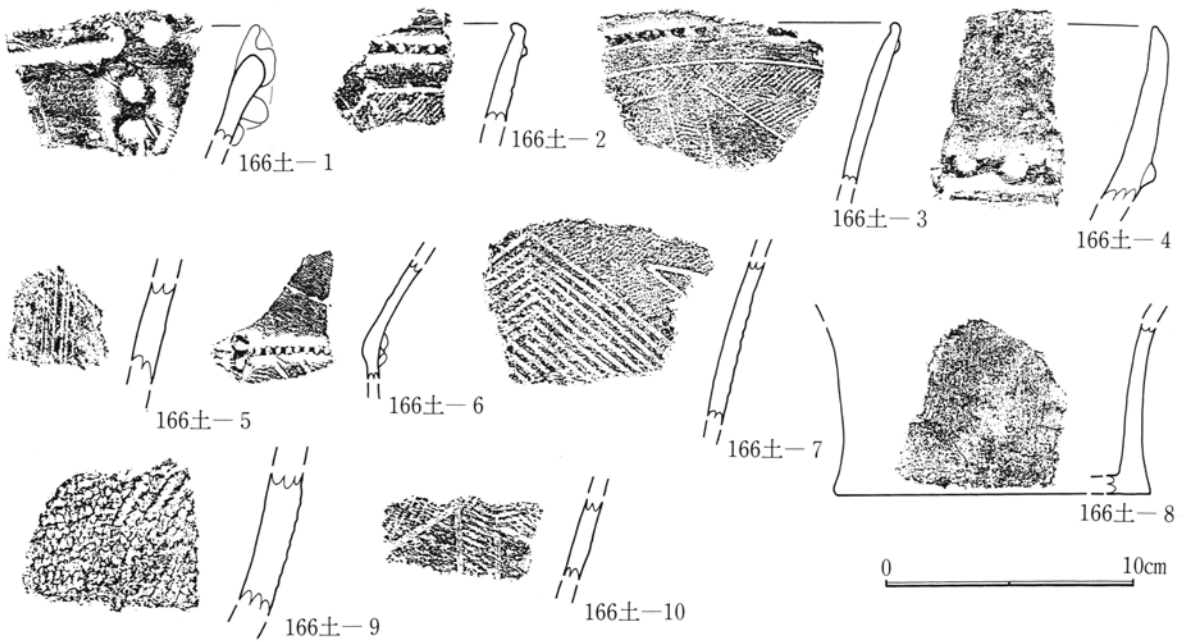
（石守 晃 群馬県埋蔵文化財調査事業団 主幹兼専門員）

E区166号土坑出土繩文土器追加報告



第1图 E区166号土坑(1)

付 編



第2図 E区166土坑(2)

ここに掲載したE区166号土坑出土の土器(第1図11)については、「南蛇井増光寺遺跡II 1993」において掲載すべきものであったが、不手際により記載漏れとなってしまったものである。付編として遺構図、同伴土器(第2図)とともに記載しておきたい。なお、遺構図、同伴土器については南蛇井増光寺遺跡IIの報文中に記載済みである、遺構説明等についても同報告書を併読頂きたい。

E166号土坑11(第1図)

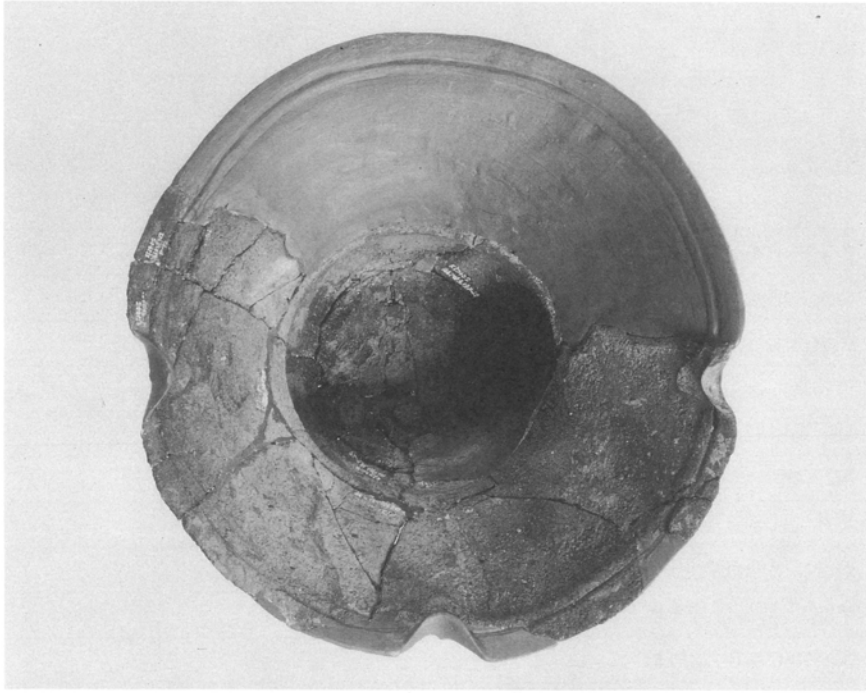
ほぼ完形の鉢型土器である。口径29.0cm、器高12.2cm、底径10.5cm。平底で、丸みを持つやや小振りの体部に、大きく開く幅広の口縁部が付く。薄手の作りで黒味を帯びた色調を呈す。4単位の波状を呈し、波頂部は内側に折り返される。直下には突起状に盛り上がった「8」字状文が付され、そこから刻みを持った隆帯が対弧文状に垂下し、下にも「8」字状文が付される。頸部横位に刻みを有す隆帯で「8」字文間を連結し、胴部には三角文をモチーフとした磨り消し縄文。縄文はLRが施文される。堀之内2式である。



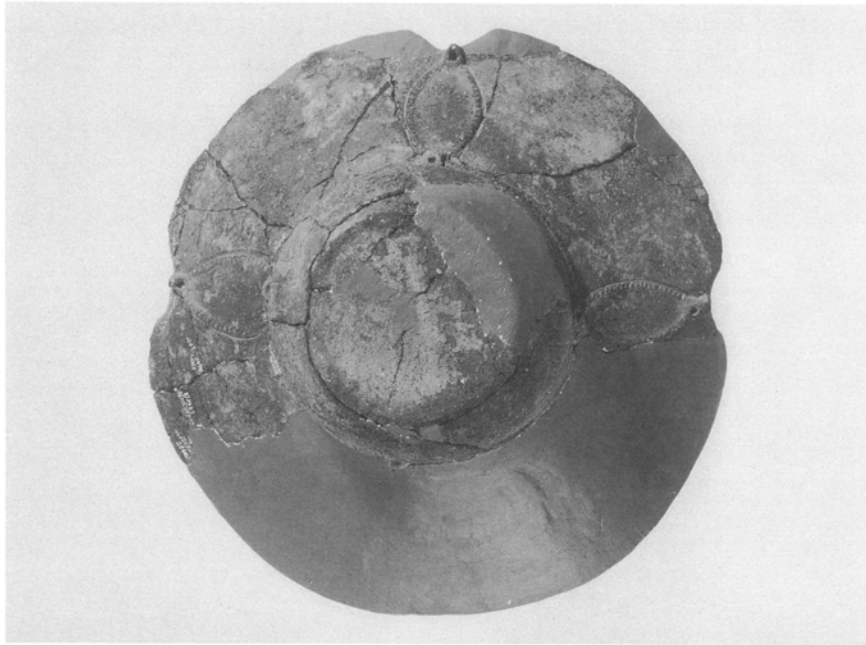
E区166号土坑下位遺物出土状況 西南より



遺物出土状況 北より



E区166土一下位 1



報告書抄録

フリガナ	ナンジャイゾウコウジイセキ
書名	南蛇井増光寺遺跡Ⅵ
副書名	関越自動車道（上越線）地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第48集
シリーズ名	（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告
シリーズ番号	第227集
編集者名	新井 仁・飯塚卓二
編集機関	（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒377 群馬県勢多郡北橘村大字下箱田784-2
発行年月日	西暦1997年3月25日

フリガナ 所収遺跡	フリガナ 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ナンジャイゾウコウジ 南蛇井増光寺	グンマケントミオカシオキアザ 群馬県富岡市大字 ナンジャイゾウコウジ 南蛇井字増光寺	10210	10005— 00270	36°14'18"	138°49'21"	19890401- 19900912	2,760	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
南蛇井増光寺	集落遺跡	縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 平安時代 中世～近世	住居跡 87 土坑 838 井戸 6 溝 5 Pit 147	当該期の土器と石器	本書はDS区のうち、5号溝北側の遺構・遺物について報告

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第227集

南蛇井増光寺遺跡 VI
(本文編)

関越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第48集

平成9年3月18日印刷
平成9年3月25日発行

編集/群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橋村大字下箱田784-2
電話(0279)52-2511(代表)

発行/群馬県考古資料普及会
勢多郡北橋村大字下箱田784-2
電話(0279)52-2511(代表)

印刷/朝日印刷工業株式会社